

ISSN 1344-7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第 4 卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2001

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第4巻の刊行によせて

名古屋大学医学部保健学科長

伊藤 隆之

名古屋大学医学部保健学科は平成9年10月に創設され、平成10年4月より第一期生200名を受け入れ現在4学年まで進行した。昨年度よりは3年次編入生30名の受け入れも開始し、本年4月には全学年が揃い学生860名、教官97名の保健学科が完成した。さらに平成14年度には大学院修士課程、平成16年度には大学院博士課程の設置を予定し、昨年度より全教官・職員で医学系研究科修士課程（看護学専攻、医療技術学専攻、リハビリテーション学専攻）の申請に取り組み本年8月の設置審査を通過した。来春には大学院生も加わりキャンパスは更に賑やかになることであろう。切望されていた建物の整備も現在保健学科南館（一階の西側に大幸医療センターを併設）が改修中であり秋には立派な研究室、図書室に生まれ変わるであろう。

さて、年報第4巻では平成12年（2000年1～12月）の1年間の教育・研究の歩みがまとめられている。看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学の5専攻での専攻毎の運営、教育活動、研究活動、対外的な社会との関わりある活動など創設3年目の歩みをみることができ、運営面では各専攻毎の円滑な運営への努力が評価されよう。教育面では、保健学科教官は全員強い熱意を持って授業、実習に取り組み、同時に人間関係の構築にも配慮しているので、明年3月には医学的専門的知識・技術とともに豊かな人間性と的確な判断力を有する第一期の卒業生を世に送り出せることと信じている。研究面では、保健学科の教官はその出身母体を異にし医師、看護婦（士）、保健婦（士）、助産婦、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、薬剤師等の専門職を有する方が多く、卒業の学部も多岐にわたり多能、多彩な才能を有した医療人、職能人より構成されている。その研究内容もそれぞれの背景分野を反映し広範囲におよんでいる。この特性を長所とし共同研究、良い意味での競い合い、新たな研究分野を創造することにより一歩ずつ医学、医療の分野で名古屋大学医学部保健学科の業績と後世の方々より評価を受けるような堅実な足跡を残せることを祈念する。最後に、本年報の充実にご尽力された委員長の小林邦彦教授に感謝し、本誌が名古屋大学医学部保健学科発展の一里塚となり、本学科のさらなる飛翔を望む。

目 次

1. 各専攻の教育・研究活動	1
2. 公開講座	17
3. 業績	21
看護学専攻	23
放射線技術科学専攻	49
検査技術科学専攻	67
理学療法学専攻	89
作業療法学専攻	101

凡 例

◎業績の収録期間は平成12年（2000）年1月～12月とした。

◎業績は下記の種別に分類した。

- * 著者
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会
- * 公開講座・講演会

◎掲載順位は ①専攻名，②論文種別，③著者のアルファベット順 とした。

1. 各専攻の教育・研究活動

看護学専攻

看護学専攻は人々の健康の維持・増進に寄与し、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と判断力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏づけられた豊かな人間性を備えた看護婦（士）、保健婦（士）、助産婦を育成することを目的に1997年10月に設置された。2000年4月には、最高学年が3年生となり、3年次編入生も加わって、学生数250名弱を数えるまでになった。教官数も増加し、教授13名、助教授8名、講師1名および助手11名の計33名となっている。勢い、教育・研究活動は広範囲にわたり活発となってきている。

ところで、本学における助産婦教育の歴史は、100年余におよぶ長いものである。この助産婦教育も学部教育に組み込まれ、2001年3月の短期大学部専攻科助産学特別専攻の閉校に伴い、すべて学部教育で行われることになった。

1. 運営

本専攻の運営は、月2回行われる専攻会議を通して行われる。専攻会議の構成員は、講師以上の教官で、予算、カリキュラム、実習運営、学生指導全般にわたる問題について討議し、共通認識をもちながら円滑な運営が行われるよう努力している。本専攻は基礎看護学講座、臨床看護学講座、発達看護学講座、地域・在宅看護学講座の4講座があり、構成員は総勢33名のため、専攻主任を補佐する副主任をおき、また、それぞれの講座に講座長をおいている。各講座では、助手を含んだ講座会議を行い、専攻の方針が全員の意志を反映しかつ全員に浸透するようにはかっている。

2. 教育活動

まず、新生には愛知県青少年公園を使用して、例年通り4月に入学時のガイダンスを行った。本年は、基礎看護学講座の教官が中心となって内容を企画、運営した。

教育活動として本年度に新たに始まったこととして、まず、本格的な実習の開始があげられよう。初年度には基礎看護学実習A、2年生には看護診断学実習Aが行われてきたが、入門的な実習であった。今年度からは本格的な実習となり、基礎看護学実習B、看護診断学実習B、臨床看護学実習AおよびB、精神看護学実習、発達看護学実習AおよびB、地域・在宅看護学実習A、BおよびCと、3年生では授業時間の半分以上が臨地実習で占められるようになった。教官たちもまた講義に加え臨地で実習指導にあたる時間が大幅に増加した。この実習は来年度前期まで継続して行われる予定である。

次に、助産婦免許取得を希望する学生の選抜がある。本来、助産婦免許取得を希望する者すべてに履修の機会を与えたいところであるが、今日の出産数の減少と担当教官および実習施設の確保を考慮すると、現実には学生数を限定せざるを得ない。そこで、3年生（編入生を含む）を対象に、4月初旬に科目および面接の試験を行い、15名の学生に履修の機会を与えることになった。これらの学生は、規定の学科履修に加えて、助産婦免許取得のための講義と来年度行われる予定の助産学実習を履修する。

第三に、4年次に行う看護学研究法（卒論）の導入部となる看護学特論の開講である。学生は、研究法についてのガイダンスを受け各教官の指導テーマと自分の学びたいテーマをすりあわせ、希望を提出した。希望者数を協議調整ののち、学生は各教官に少人数配置され、研究計画を立てはじめている。

最後に、カリキュラムの見直しの問題である。学年進行に伴って、検討すべき課題も出てきた。例えば、講義の進行順序や重複内容の整理などである。来年度の完成年次を待って、翌年度から見直しの案で進行できるよう検討しようとの動きが出てきている。

3. 研究活動

看護学専攻では、それぞれの教官の研究課題は下記のとおり多岐多様で、かつ講座も4講座に分かれているため、前年まで行われていた専攻科内のセミナーは閉じることになった。引き続き、臨床看護学講座、発達看護学講座では講座会議の際に講座構成員全員が順番に担当して研究報告会を行い、相互の情報交換と研鑽に励んでいる。

なお、本専攻が中心となって近隣大学の協力のもとに、昨年度設立した日本看護医療学会は、より活発な活動を行

っており、6月と12月の2回、学会誌が発行された。

以下に看護学専攻教官の専門分野と研究課題を示す。

- 1) 後藤節子教授：専門分野は婦人科腫瘍学、生殖免疫学。研究課題は、1) 婦人科腫瘍の薬剤耐性機序に関する研究である。
- 2) 中木高夫教授：専門分野は医療情報学、家庭医療学。研究課題は、1) 看護診断学、2) 看護介入学、3) 病院医療情報システムに関する研究である。
- 3) 河津芳子教授：専門分野は看護学。研究課題は、1) 病気への対処行動と生活史について、2) 看護学教育方法についてである。
- 4) 森島恒雄教授：専門分野は小児科学、ウイルス学、消化器内科学である。研究課題は、1) ヘルペスウイルス感染症の診断と治療、2) ウイルス性肝炎の発症機序、3) ウイルス性脳炎の発症機序の解明である。
- 5) 安田道子教授：専門分野は臨床心理学、心理療法。研究課題は、1) 分離個体化期に問題を持つ事例への心理療法、2) 「きれる」子どもの親子関係に関する研究、3) 看護場面におけるカウンセリング的接近についての研究である。
- 6) 水浜雅子教授：専門分野は精神看護、生体リズム、終末期看護である。研究課題は、1) 終末期看護とインフォームドコンセント、2) 血漿ビオプテリンによる生体リズムの研究、3) ボディイメージと健康管理である。
- 7) 松村悠子教授：専門分野は慢性期看護学、看護過程理論、医学生理、解剖学一般（含組織学・発生学）。研究課題は、1) 慢性期看護に関する内容、特に意識障害患者の生活レベル向上のための味覚に関する研究、2) 看護過程理論（患者の意志決定尊重のための理論構築）である。
- 8) 石黒彩子教授：専門分野は看護学、医真菌学。研究課題は、1) 喘息児の環境調整、2) アレルギー小児のQOLの向上、3) カンジダアルビカンスのアレゲン分析である。
- 9) 森田せつ子教授：専門分野は臨床看護学（助産学）。研究課題は、1) 分娩期における産婦の体温推移に関する研究、2) 乳房温と乳汁分泌に関する研究、3) 助産婦の継続教育の検討である。
- 10) 伊藤隆之教授：専門分野は内科学、循環器内科学。研究課題は、1) 内皮由来収縮因子と内皮由来弛緩因子である。
- 11) 榊原久孝教授：専門分野は公衆衛生学・健康科学、衛生学。研究課題は、1) 生活習慣病の健康管理に関する研究、2) 高齢者の機能低下と介護要求に関連する研究、3) 振動障害における末梢神経障害に関する研究である。
- 12) 渡邊順子助教授：専門分野は基礎看護学、環境生理学（体力医学）。研究課題は、1) 褥瘡好発部位における循環血流動態に関する研究、2) 看護学生の職業意識と職業志向、3) 看護職の職業意識と入院患者の満足度との関連である。
- 13) 任和子助教授：専門分野は基礎看護学。研究課題は、1) 療養行動に関連して生じるストレスとコーピングに関する研究、2) 糖尿病など慢性疾患を持つ患者のセルフケア行動に影響を及ぼす要因、3) 自律的な健康行動を促す方法に関する研究である。
- 14) 安藤詳子助教授：専門分野は臨床看護学、がん看護学。研究課題は、1) 看護職員の筋骨格系障害と作業負担感及びリスク要因との関連、2) 入院患者と看護職員の病院環境評価、3) 新しく開設された緩和ケア病棟の患者・家族向け調査と看護者向け調査、4) 癌性疼痛コントロールに関する医療関係者の認識に関する研究である。
- 15) 浅野みどり助教授：専門分野は小児看護学、家族看護学。研究課題は、1) 現代における母子関係を中心にした家族関係及び社会的支援、2) ADの乳幼児をもつ母親の育児困難感、3) 喘息児のQOLである。
- 16) 前川厚子助教授：専門分野は地域・在宅看護学、創傷・オストミー・失禁ケア。研究課題は、1) ストーマ保有者の自己適応と関連要因、2) 内部障害者のケアマネジメントの開発、3) 終末期に褥創を有していた後期高齢者の在宅ケア分析である。
- 17) 藤井千恵助手：専門分野は地域看護学。研究課題は、1) 若年男性の高尿酸血症等、生活習慣病の保健管理に関する研究、2) 児童・生徒の生活習慣病に関する研究、3) 在宅療養者の支援システムに関する研究である。

4. 対外的な社会と関わりのある活動

- 1) 看護相談外来：1999年6月に看護教官有志によって開設された看護相談外来は、活動が定着し、毎週火曜日に実施している。その内容は、第一週は子ども健康相談、第二週は成人健康相談、第三週は女性健康相談、第四週は在宅看護相談とし、各教官の専門を生かしたものとなっている。相談例数は平均すると毎週1-2例、内容は成人健康相談が最も多く、相談回数は1回の相談で終了したケースが大半であるが、継続して相談にのっている例もある。これらの具体的な内容の報告は、前述の日本看護医療学会誌第2巻第2号に掲載されている。
- 2) 前述の通り、「日本看護医療学会」は本専攻が運営の中心となっており、本会を通じて主に東海地区の大学との連携をはかっている。また、日本看護系大学協議会、愛知県看護協会ほか各種関連団体を通して多様な対外的な活動を行っている。個人的な社会的活動の例をあげると、森田教授は、愛知県周産期医療医療協議会委員として母子健康手帳の活用状況、妊産婦死亡の把握、浅野みどり助教授は、日本子どもの虐待防止研究会の第6回学術集会あいち大会（2000年）において実行委員、引き続き、「あいち子どもの虐待防止研究会」で世話人をしている。

（主任：河津芳子）

放射線技術科学専攻

レントゲンが19世紀末にX線を発見して以来、放射線が工業や医療などにおいて人類に貢献してきたのは周知の事実である。高齢化社会に突入した今日の日本において医療で放射線技術の果たす役割は非常に重要であり、その放射線に関わる業務は多岐に及んでいる。20、21世紀における科学技術の発展はめざましくそれが日常生活にも反映されている。科学技術にあわせて医療における放射線技術が進歩しており、今後さらなる発展が目に見えており、当専攻の果たす役割とその責任が増してきている。現在、医療で用いられている画像描画する方法はX線CT等の放射線医療機器、磁気共鳴画像診断装置、超音波画像診断装置のような方法が主流である。さらに、科学技術の進歩にあわせて日本で技術が発展したと言える新しい概念のX線撮影装置が実用化されようとしており、21世紀当初の技術開発の成果が人類に貢献するのも時間の問題となっている。これらをふまえて当専攻では社会の要求や科学の進歩にあわせて高度な医療を行うために、医療現場での問題を解決する能力を備えて応用力があり、医療人としての心構えを持った診療放射線技師、企業や研究機関で医療機器の研究開発に携わる診療放射線技師、さらに後進への指導者・教育者等の育成を目指しており、これに答えるべき学生が入学して学んでいる。

1. 運営

平成12年度の本専攻の教官総数は17名であり、そのうちの約半数が4年制への移行に伴い赴任した教官である。そのなかには当専攻の前身である短大を卒業して戻った教官も数名おり、学生達の良きアドバイザーとなっている。本専攻は基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの大講座によって構成しているが、活動は講座ごとでなく専攻として行っている。

1) 基礎放射線技術学講座

医療の対象となる人体の構造・機能、健康障害時の人間の反応、医療と社会との関係、臨床画像の人体構造との対応、放射線等の測定法、医療で使われる機器の原理・構造、医用機器のコンピュータ制御、医用情報の解析方法等、放射線技術を医学・医療に応用する上の基礎となる事項について教育・研究を行う。

2) 医用放射線技術学講座

放射線の医学・医療への主な応用分野である画像診断（放射線による画像の形成と画像の評価・解析と画像処理技術を含む）、核医学診断及び放射線治療に対応する技術学と放射線の障害を最小限に防ぐ方法について教育・研究を行う。

2. 教育活動

放射線技術科学専攻の第3期生としては41名の入学生を迎え入れた。入学生の内訳は男子21名で女子20名であった。推薦入学7名、前期日程試験入学23名、後期日程入学11名であった。男女比は1対1であるが4年制発足当時は3対1位であった。初めて受け入れた3年次編入生（4名は当短大卒）は5名であり、編入生全員が診療放射線技師の資格をもっている。教育では正規のカリキュラムを基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座で別れることなく専攻全体で分担している。それ以外に教育の効果を高めるために以下のような活動を加えている。

新入生ガイダンス：4月22日

新入生は今までの高校とは環境の大きく異なる大学に入学して、不安や色々とまどいがある。主として医療現場で働く診療放射線技師という専門職については、入学生は詳しい事を知らないで臨床経験の豊かな教官が説明した。また入学生の中には、高校で物理を受講していないことが大きな支障になると心配している学生が多くみられたのでその不安を取り除く必要があった。1・2年の間は全学共通教育のため東山で受講することが多く放射線技術科学専攻の教官と接触する機会が少ない。そのため専攻の教官との懇談をかねて専門科目の授業内容の説明や国家試験などについてガイダンスを行うとともにドッジボールなどのスポーツを通じて教官と学生との交流を先輩の学生を交えて行った。

臨床教育のあり方検討会：概ね1月に1回で計10回開催

4年制の最初の臨床実習を有効に実施するため、専攻側から6名と実習を担当する附属病院側の先生7名程で実習の

項目や日程などの実習計画や実習学生の評価などの実習内容について相談した。臨床実習の受け入れについて、短大から4年制への移行で附属病院側はかなり慎重な対応をしたので、相当厳しい局面もあったが最終的には学生を暖かく迎えてもらえた。臨床実習で指導をして頂くので、当専攻として臨床教授制度の早期確立を望んでいたがそれが実現したことが喜ばしい。

特別講義

12月21日 「マルチスライスCTの技術的解説と新しいCTの技術について」

当短大を卒業して東芝メディカルに勤務している伊藤恭子さんがCT関係についての最新の事柄を3年生に講義した。

1月22日 「マンモグラフィーの技術的解説」

同じく当短大を卒業してGEに勤務している中島京子さんがマンモグラフィーについて3年生に講義した。

これらは講義の中で十分に扱うことのできなかつた項目、新しい分野で講義の中にまだ取り込めていない項目などについて特別講義として実施した。

施設見学

7月1日 中部電力浜岡原子力発電所見学

小資源国である我が国では電力の3～4割を原子力発電に頼っている。比較的近いところの中部電力浜岡原子力発電所を放射線管理学の授業の一環として見学した。使用済み燃料棒が水中で保管されており、チェレンコフ光が直接観察でき学生の興味をひいた。原子炉を管理する仕事に今後当専攻の卒業生が働くこともあり得るが、実際に興味を持った女子学生がいた。

EGS4（モンテカルロシミュレーション）講習会

8月10日～12日に高エネルギー物理学研究所でEGS4研究会の一環として行われモンテカルロシミュレーションの講習会に学生4名を参加させた。線量分布測定の補助手段として、今後増々モンテカルロシミュレーションが必要になると思われるので発表会を兼ねた講習会に引率した。この講習会は毎年行われており、従来は工学系の大学院生の参加が多かったが、ここ2年間は診療放射線技術学科関係の学生や教官が多く参加したとのことであった。

大学説明会

8月4日 豊田講堂

高校生に対し当専攻の概要と放射線の有効利用について説明した。

個々の専攻に分かれた時間帯では、放射線に興味のある高校2年生が本人の進路を決定するにあたり、かなり熱心に質問してきた。不安を持っている3年生に放射線について説明すると安心したようであった。

教官研修

8月4日～6日 愛知県美浜少年自然の家

教育を改善するためのワークショップが泊まりがけで行われ、放射線技術科学専攻の教官の約半数が参加した。このワークショップは2年にわたり行われたので半々に分かれて参加した。

編入試験

9月2日に試験を行い、本学以外から6名が合格した。

3. 研究活動

個々の専攻教官独自の研究活動に加え以下のような専攻以外との共同の研究活動を行っている。

東海画像ゼミ

第6回：9月15～16日

第7回：12月17日

画像の評価、処理などを目的とした放射線画像に関する研究を行っている東海地区の研究者を中心に集まり、お互いの研究内容の発表や意見交換を行い、論文化を目指している。

放射線技術科学専攻：小寺、小山

放射線治療技術学

12月16日：名古屋大学医学部附属病院放射線治療棟にて実験

コリメータ散乱係数（空中出力係数）測定用ミニファントムを用いて、リニアックからのX線の線量測定を行った。
この実験結果を解析して不整形照射野における線量計算法を確立するのが目的である。

放射線技術科学専攻：小幡、田伏、（手塚、坂倉）

放射線計測学

6月28日～29日：高エネルギー物理学研究所で単色X線による実験

エネルギーが単一だと解析が容易となるので放射光から得た単色X線で蛍光ガラス線量計、フィルムバッジ、ルクセルバッジを照射してその特性を製造メーカーと共同で調べた。

放射線技術科学専攻：田宮、田伏、小山

7月11日、9月4日：名古屋掖済会病院においてX線CT検査による患者被曝線量の計測実験

X線CTスキャナの新旧機種の違いによる患者被曝線量の違いを調べるため、新開発のフォトダイオード・ポイント線量計と人体ファントムを使用し、CT検査における被曝線量の計測を名古屋掖済会病院放射線科と共同で行った。

放射線技術科学専攻：青山、小山、川浦

9月1日：名古屋大学医学部附属病院においてX線CTスキャナの線量計測実験

マルチスライスCTでの可変電流方式の撮影における線量可変性能を調べる実験を名古屋大学医学部附属病院放射線部と共同で行った。

放射線技術科学専攻：伊藤、青山、小山、川浦

（主任：田伏勝義）

検査技術科学専攻

検査技術科学専攻は、昭和54年に併設された名古屋大学医療短期大学部衛生技術学科（3年制）の歴史を継いで、平成9年10月に発展的に改組された。高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理故に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追求する教育・研究者を育成することを設置の目的としている。

1. 構成・運営

本専攻は基礎検査学講座と病因・病態検査学講座との2つの大講座によって構成されている。本専攻では講座の壁をなくし、一丸となって運営されている。

4月には専任教官として病理組織細胞検査学担当の橋本克訓助手と免疫検査学担当の杜 軍助手を迎え、教官の総数は17名となった。

専攻の運営は全教官が参加する専攻会議の決定に従って行なわれた。専攻会議は第2と第3水曜日の12時からおよび第1と第4水曜日の5時から開催された。

2. 教育

4月に第3期の入学生40名を迎えた。4月の新入生ガイダンスには専攻の教官と学生が全員参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンスが行われた。4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教官と共に新入生歓迎会を開催し、バーベキューパーティを楽しんだ。

学年進行に伴い、3年生の教育として臨床生理検査学Ⅱ、病理組織細胞検査学、血液検査学Ⅱ、実験動物学、病原微生物検査学Ⅱ、免疫検査学Ⅱ、臨床病理学Ⅰ、遺伝子検査学などの専門科目の教育を開始した。

全学共通教育の総合科目「生体情報と健康」を昨年度に引き続き放射線技術科学専攻の教官と共同して担当した。

保健学科主催で教官の教育方法の改善のためにFD講習会が8月に2泊3日間かけて開催され、検査技術科学専攻から5名の教官が参加し、有意義な体験をした。

9月に第2回の3年次編入試験を行ない、6名の合格者を決定した（名古屋大学医療技術短期大学部2名と他大学医療技術短期大学部4名）。

3. 研究

平成12年度の特徴は来年度から始る卒業研究に対応すべく、各系が研究計画を始動したことが挙げられる。

以下は、各系が開始した研究課題の一部である。

【分析系（病態化学解析学および環境病因解析学）】

担当教官：高木健三、長谷川高明、高木健次、柴田英治、北市清幸

A) 気管支喘息の病態について

- 1) 喘息発症メカニズムの探索
- 2) 肥満細胞からのヒスタミン遊離のメカニズムの解析

B) 病因・病態薬物動態学、及びP糖蛋白による多剤耐性癌細胞の克服薬の探索

- 1) P糖蛋白による多剤耐性癌細胞の克服薬の探索排泄機構に及ぼす克服薬の影響
- 2) 薬物輸送蛋白を介する腎排泄機構に及ぼすペロ毒素の影響
- 3) 血液脳関門および消化管吸収におけるエンドトキシンの影響
- 4) 胆汁酸およびビリルビンに及ぼすエンドトキシンの影響
- 5) 抗癌薬と抗生物質との併用による多剤耐性癌細胞の促進について
- 6) エンドトキシンによる生体内各組織における薬物輸送蛋白の発現について
- 7) キノロン系抗菌薬と抗てんかん薬の相互関連

C) 生体中微量成分で未だ分析法の開発研究およびその臨床応用の研究

- 1) 環境ホルモンの毛髪内濃度測定確立とそのリスク評価に関する研究
- 2) ポリアミン分析と臨床応用の研究
- D) 環境要因が人間の健康に及ぼす影響
 - 1) 病院における室内環境化学物質の現状と医療スタッフの心理的・身体的影響
 - 2) 殺虫剤散布作業者の有機リン曝露と生殖機能への影響
 - 3) プロモプロパン曝露ラットの変化

【生理系（生体生理解析学）】

担当教官：古池保雄、岩瀬三紀、野田明子

- A) 臨床睡眠医学研究
 - 1) 睡眠時の皮膚交感神経活動（SSNA）の変動
 - 2) 睡眠時無呼吸症候群（SAS）の臨床生理学的研究
- B) 生活習慣病の運動療法に関する研究
 - 1) トレッドミルおよびエルゴメーターによる多段階運動負荷時の心機能評価
 - 2) 運動時心肺機能の多角的な評価および代謝的アプローチ
 - 3) 心拍変動解析による運動時及び回復期の自律神経活動についての検討
- C) 基礎実験的研究：交感神経による心機能制御
 - 1) β アドレナージック交感神経の慢性刺激および慢性抑制の生理学的意義
 - 2) モノクローリン誘発肺高血圧モデルにおける交感神経の関与

【免疫系（病因病態解析学）】

担当教官：長瀬文彦、杜 軍

- A) ストレスによるリン酸化シグナルとアポトーシスの誘導機構
- B) レドックス反応とT細胞の分化・活性化機構

【病理系（病理細胞形態学）】

担当教官：横井豊治、倉科正徳、橋本克訓

- 1) 診断を誤りやすい細胞像の検討
- 2) 浸潤性癌の再発例の解析と再発の危険性予測の検討
- 3) 細胞診材料のFISH染色および蛍光抗体二重染色標本条件の検討
- 4) パソコンを用いた遠隔細胞診断法の基礎的条件的検討
- 5) in situ hybridization法による消化器癌、肺癌の検討
- 6) 膀胱癌培養細胞株に対するモノクローナル抗体の免疫組織学的特性の検討

【血液系（分子病態解析学）】

担当教官：村手 隆、小嶋哲人、高木 明

- 1) 巨核球系分化におけるスフィンゴシンキナーゼの誘導機序の解析
- 2) スフィンゴシンキナーゼプロモーター領域の解析
- 3) アポトーシスの誘導機序の解析
- 4) 巨核球系の分化におけるETS関連遺伝子の意義
- 5) 遺伝子発現を不活化するDNA methylation の解析
- 6) 血液凝固異常症の分子病態解析と遺伝子診断および検査法の開発、評価
- 7) naked DNA法による特異的凝固因子抗体作成
- 8) 止血血栓関連因子の遺伝子多型解析および血管・分子細胞生物学

【微生物系（病因病態解析学）】

担当教官：伊藤秀郎

- 1) 臨床分離グラム陰性桿菌からの bla_{IMP} の検出と解析
- 2) メルカプト化合物を用いたIMP-1型メタロ β -ラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌簡易検出法とPCR法 (bla_{IMP} 遺

伝子の検出)との比較

3) 臨床分離MRSAからのVRSA検出と耐性化機構の解析

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

A) 国際交流

長谷川高明教授は、財団法人平和中島財団の外国人招聘助成金および中富健康科学振興財団の国際研究交流助成金により中国の華西医科大学からWang Li教授を迎え、多剤耐性癌細胞の克服薬の探索に関する共同研究を行った。同教授は、華西医科大学創立90周年記念大会（平成12年10月5日～10日）に招待された。また、平成12年11月～12月の2ヶ月間、華西医科大学国家漢方薬安全性研究所のCen XiaoBo助教授および四川省薬品监督管理局のChen Yong副局長が、華西医科大学国家漢方薬安全性研究所を運営するための専門的技術・知識修得を目的として、本学科検査技術科学専攻を訪問した。さらに、同教授は中国貴州省貴州市民病院のZhao Yin Lan内科医を本学科外国人特別研究員として迎えた。同研究員は「各病態時における薬物の生体膜輸送機構の変化に関する研究」を行うために病態分析解析学研究室に3年間在籍する予定である。

B) 大学間交流－国立大学検査技師教育施設協議会

平成12年度は大阪大学を主幹校にして、5月に開催された。検査技師養成資格を持つ国立大学が文部省指定校でない現状に対して、「文部省指定校になるべきでは？」という提案がなされ、今後の課題となった。どのような大学（専攻）を目指すのか？という問題とも係わっており、全国的に交流を進めつつ結論を得たいと考えている。

C) 地域の病院との連携

1) 呼吸器病理コンサルテーション

横井豊治教授は専門の呼吸器疾患の病理診断学の知識と経験を生かし、日本病理学会の呼吸器コンサルタントとして、東海地方を中心とする多数の医療施設より病理診断のコンサルテーションを受け入れている。平成12年度は約70例のコンサルテーション症例を検討・報告し、各施設における呼吸器領域の診療・研究に貢献した。また、病理、検査、臨床の諸学会・団体より招かれ、呼吸器疾患の病理診断学の講演を行い、専門知識の啓蒙普及に努めた。

2) 睡眠呼吸障害外来（いびき外来）

古池保雄教授、高木健三教授、野田明子助手により大幸医療センターに平成11年4月より開設された睡眠呼吸障害外来（いびき外来）は在宅医療部との連携を強め、平成12年4月より、鶴舞キャンパスの病棟（10E）において入院検査も開始し、一層の検査機能の向上を図っている。将来、地域の睡眠障害センターを目指すとともに、本学学生が高度医療技術を修得するための教育および研究の場として発展するように努力している。

（主任：古池保雄）

理学療法学専攻

本専攻は、東海地区では唯一の学士過程を有する理学療法士の教育・研究機関である。本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して、体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつあるスポーツ障害リハビリテーションや生涯スポーツ医科学領域への道を開き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指している。開設以降、こうした理念・目標を理解した有能な学生が入学してきている。

1. 運営

本専攻は教官総数10名により以下の2大講座から構成されているが、運営は講座の壁をはずし、全教官による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議の決定にしたがい進められている。

(1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能を関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的な教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。

(2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りがちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

2. 教育活動

4月に保健学科理学療法学専攻第3期生として22名の入学生を迎え入れた。内訳は推薦入学6名、前期日程試験入学11名、後期日程試験入学5名であった。男子学生12名、女子学生10名で、前身の医療技術短期大学部理学療法学科時代を含めて、初めて男子学生入学者数が女子学生入学者数を上回った。その時点での保健学科としての学生数は、第1期生20名、第2期生18名、第3期生22名、3年次編入生5名であった。

4月15日（土）に新入生ガイダンスを行った。年度の始めに在校生、新入生、教官が全員参加し、編入生1名による講演（なぜ編入学を選択したか）、自己紹介、スポーツリクレーション、懇親会を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。

5月24日（水）、3年次編入生5名と指導教官2名で編入学後の状況把握と相互理解のための話し合いを持った。内容はおもに教科履修、研究テーマ、学生生活についてであり、現況および将来構想、大学への要望など活発に話し合った。今後も毎年開催する予定にしている。

5月27日（土）～28日（日）にかけて、1年生22名、2年生17名、3年生18名、教官6名、職員1名、講師1名の参加のもとに、中津川東海地区国立大学研修センターにおいて厚生補導特別企画が実施された。この企画は、新入生がスムーズに快適で充実した大学生活を送れるようにするための導入部としての研修旅行であり、教官・職員・学生・先輩・後輩が寝食を共に生活することにより、縦と横の強い人間関係を構築することを目的として、短期大学部時代か

ら毎年実施されてきたものである。今年度は1日目は豊橋市民病院理学療法士・太田進氏（名古屋大学医療技術短期大学部理学療法学科第4期生）の講演、スポーツ活動、懇親会を開いた。とくに太田氏の講演と懇談は理学療法士としての医療現場の生の活動状況が伝わるものであり、学生には強烈な印象を与えた。2日目は愛知万国博覧会の会場に予定されている海上の森へのバスハイクを行い、万博会場設営のために消えゆく最後の森の自然を満喫した。企画の目的は十分に達成し得た。

6月7日（水）の名大祭第1日目の夕刻、保健学科別館周辺において、理学療法学・作業療法学両専攻の学生・教官を交えて、バーベキューパーティーを開催し両専攻の交流を図った。

8月4日（金）に開催された名古屋大学説明会では、近隣の高校生が多数参加し多くの質問と回答が交わされた。本専攻への質問も鋭くかつ多く、高校生の興味の深さが示された。

8月4日（金）～6日（日）に開かれたファカルティーディベロップメント研修に本専攻から4名が参加した。

9月2日（土）に編入学試験を実施した。今年度から専門学校出身者の受験も可能になった。5名の受験者のうち4名の合格を決定したが最終的には3名が編入の意志を示した。いずれも他学出身者であった。

前期定期試験最終週の9月25日（月）～29日（金）の間、夏期特別実習（人体解剖実習）が開催され、理学・作業両専攻の多数の学生が参加した。指導は両専攻の教官が共同で行った。医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖された遺体が提供された。学生にとっては、人体構造と機能の理解を深めるとともに、遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

後期授業からは3年生の臨床実習が始まった。基本的検査技術を行う導入部として、臨床実習指導者の指導のもとに、偏りなく各疾患、各病期、各年齢層の患者の観察・問診などを行うことを目的としている。3年生18名が、15施設において2日間、3期の実習を行った。また、同じく3年生の卒業研究の前半部分が始まり、2月28日（水）に本館大講義室において、中間発表がされた。編入生を含め20題の発表があり、活発な討論がなされた。研究テーマは動物の炎症モデル実験5題、動物脳出血モデル実験3題、動物関節拘縮モデル実験1題、疼痛生理関連実験3題、自律神経系研究2題、筋生理関連研究2題、リハビリテーション臨床関連研究4題であった。この発表会には1、2年生もほぼ全員参加し、将来の自身の研究の参考になったと思われた。

今年度中に開催された特別講義は以下の如くであった。

1. 「結合組織の可塑性変化」講師：Chukuka Enwemeka（カンザス大学医学部教授）、平成12年11月17日（金）
2. 「能と体の動き－能の歴史をふまえての演技・表現法－」講師：泉嘉夫（能楽観世流シテ方、社団法人能楽協会理事）、平成12年12月8日（金）
3. 「動作筋電図」講師：伊橋光二（山形県立保健医療大学）、平成13年1月12日（金）
4. 「呼吸リハビリテーションの啓蒙活動を通じて」講師：平山ふみ（帝人在宅医療中部（株）静岡営業所、平成13年2月2日（金）

3. 研究活動

前述の通り本専攻は、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的にあわせ持つように努力し、研究を進めている。各教官の研究テーマは、以下の通りである。

猪田邦雄教授：「関節の生理・バイオメカニクス・病態とリハビリテーション」、「関節の拘縮と軟骨代謝」、「高齢者の関節疾患と医療経済」

小林邦彦教授：「関節拘縮の病態と微細構造」、「コラーゲンの分子解剖学－分子レベルの可視化－」、「結合組織と運動器の肉眼および微細構造」

辻井洋一郎教授：「外力刺激と炎症のメカニズム」、「筋痛症候群の病態と治療」、「徒手療法の臨床的効果」

河村守雄教授：「実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係」、「骨形成因子の特性と臨床応用」、「高齢者脊椎手術とリハビリテーション」

鈴木重行教授：「実験的炎症モデル動物を用いての理学療法的治療への応用」、「女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法」、「筋・関節ストレッチングの臨床的効果」

木山喬博助教授：「超音波の皮膚・筋・骨における反射・吸収・透過」、「物理療法機器の特性と臨床効果」

講武芳英講師：「交感神経と微細循環動態」

河上敬介助手：「機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明」、「筋・筋膜連結の形態と臨床的意義」、「老人保健施設におけるリハビリテーション」

肥田朋子助手：「炎症時における交感神経機能と皮膚血流動態」、「筋痛と筋硬度」

石田和人助手：「脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化」、「脳出血モデル動物を用いた運動療法の効果」、「ニューロンの最初期障害像の解析とその予後に関する研究」、「地域リハビリテーションと理学療法士の役割」

現在は、これらの研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法の機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築して、それぞれの研究室を整備・充実している過程である。

5) 対外的な、または社会と関わりのある活動

今年度から臨床実習が本格的に開始されることに基づいて、従来年1回開催されていた臨床実習指導者連絡協議会（スーパーバイザー会議）を今年度は2回開催した。第1回は平成12年6月28日（水）に行い、本学の臨床実習の理念と流れについてとおもに3年生の臨床実習の実施に関して協議を行った。第2回は平成13年2月8日（木）に開催し、臨床実習の反省と次期に始まる臨床実習および理学療法コミュニケーションの実施方法について協議を行った。

専攻代表が今年度出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会（6月2日および11月10日、会場：東名古屋リハビリテーション学院）、全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会（5月13日、会場：日本理学療法士協会会館）、第3回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会（10月19日、20日、担当：広島大学）であった。

その他の対外活動としては、隣接する大幸医療センターにおいて、河村守雄教授は毎月第1木曜日に腰痛相談外来を開き、日頃腰痛に悩む地域住民の問題解決に当たった。今後、猪田邦雄教授の転倒予防・骨粗鬆症外来と鈴木重行教授の女性尿失禁対策の外来が開設される予定である。

（主任：河村守雄）

作業療法学専攻

作業療法学専攻は、作業療法を実践するために、生命と人間性を尊重した論理的学問体系を確立し、作業療法学特定領域のスペシャリストの育成及び教育・研究者の育成を目的として1997年10月に設置された。本専攻は基礎作業療法学講座と病態作業療法学講座の二つの大講座から構成されている。基礎作業療法学講座では人体機能学、精神機能学、障害分析学・評価学など作業療法の基礎学という視点から構成され、一方、病態作業療法学では、作業療法学理論、作業療法評価学、作業治療学、地域作業療法学など作業療法の実践という視点から構成されている。また、本専攻の教官は、それぞれ専門領域の医学と作業療法学をもつ両分野の教官から編成され、各背景分野を生かした研究活動を通して、ともに作業療法学の発展に資することを目的としている。

作業療法における研究分野は、対象とする疾患や障害の種類により、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域を分けることができるが、包括的に人間を把握するという作業療法学の理念からすれば、必ずしもこうした領域の細分にとらわれる必要はないと考えている。現に領域を越えた総合的な視点からの研究も要請されている。近年、重要視されている高齢者障害あるいは地域を対象とした作業療法学などはそうした特性をもつものである。

障害の予防という観点から、障害発生の早期から作業療法が活用されることは当然のことながら、介護保険導入の年度にあたって、高齢化社会の進展と共に、地域リハビリテーション活動や老年期障害に対する作業療法にも注目が集まっている。

1. 運営

本専攻の運営は、全員が参加する月二回（水曜日）開催される専攻会議を通して行われ、これを補う形で理学療法学専攻と共同の両専攻会議を月に一回開催している。予算委員会、教育委員会、学生生活委員会など学科全体の委員会への参加は、少人数教官（教官総数11名）の専攻であるだけに、全教官が何らかの委員として関与する形となっている。また、専攻内で、就職委員、実習委員、卒業研究委員、卒後研修委員などいくつかの独自の委員を作り、細部にわたる円滑な運営を企図している。

平成12年度の人事上の動きとしては、平成12年4月に田川義勝教授および向文緒教務職員（後に助手）を迎え、平成10年4月より創設された医学部保健学科作業療法学専攻の最終的な陣容が完成に至った。また、平成12年10月1日、寶珠山稔講師が助教授、美和千尋講師が助教授に昇格した。

また、4年次の臨床実習が平成13年度から開始されることで、その準備として平成12年度第1回および第2回理学・作業療学科臨床実習連絡協議会が開催され、特に第2回協議会においては、学外の42実習施設の協力を得て、最終年次の臨床実習が効果的に運営実施されるよう会議が開催された。

2. 教育

平成12年3月に医療技術短期大学部最後の学年が卒業し、平成13年3月29日短期大学部は閉学となった。それまで3年間の短期大学部と保健学科の並存状態が終了し、保健学科単独の形態となった。また、平成12年度には初めて3年次編入学が導入され、本学短期大学部卒業生2名を含む編入学生6名を受け入れた。平成12年6月には、恒例の新入生および編入生ガイダンスを2、3年生の参加も促して、犬山ユースホステルにて一泊研修という形で実施した。本専攻全教官の参加のもと、学生と教官、また学年間相互の交流を図ることができた。

平成12年度は学部教育の3年目として、新たな授業科目が開講された。3年次はほとんどが必修による作業療法の専門科目で編成されている。

平成12年度については、最終年次（4年生）が在籍していないため、卒業研究、就職、国家試験受験に関しては、直接的な活動はなかったが、卒業研究や臨床実習の準備的期間としての活動があった。

完成年度となる平成13年度に向けて、現行のカリキュラム内容を更に高度化し、新しい時代の要請に応えるよう作業療法学専攻のカリキュラム改革を実施する予定である。履修する学生の立場から、教育内容をより効果的に理解できるように、教育科目の内容の検討だけでなく、開講時期の順序性、他選考との共通性、最新の医学分野の進歩に応える新設教科目の検討、講義と臨床実習のバランス、学部と大学院教育の連携を考慮したカリキュラムへと計画実施の

運びとなっている。

3. 研究

冒頭で述べたように、作業療法学専攻は医師と作業療法士の教官によって構成されている。そのため、研究分野も医学的基礎研究から作業療法の応用的研究まで極めて幅広く、また、方法においても多様である。その研究テーマの一端を紹介する。

- 1) 精神医学的研究（鈴木ら）
- 2) 分裂病の精神病理学的研究（鈴木ら）
- 3) 大脳機能の生理学的研究（寶珠山）
- 4) 身体機能の生理学的研究（美和）
- 5) 精神障害に対する作業療法介入の効果に関する研究（美和、向ら）
- 6) 障害者の日常生活活動の援助、自立に関する研究（原、清水）
- 7) 地域作業療法研究（山田ら）
- 8) 老年痴呆の障害分析的研究（杉村ら）
- 9) 神経難病のリハビリテーションに関する研究（杉村ら）
- 10) 老年痴呆の行動評価法に関する研究（杉村）
- 11) 介護老人保健施設等における作業療法の効果に関する研究（田川）
- 12) 老年痴呆の問題処理能力等の定量的評価に関する研究（田川）
- 13) 動物介在療法に関する研究（原）
- 14) リハビリテーションにおける補装具、福祉機器に関する研究開発（原、伊藤ら）
- 15) 作業療法の理論、歴史に関する研究（加賀谷）

現在のところ、教官同士の研究内容がそれほど有効に連携されず、一人ひとりが経験的に独自のテーマを抱える形の研究体制であるが、将来的には大学院新設に伴い、お互いの持てる方法論、興味を有機的に連携させて、作業療法学専攻として、共同して発展する研究活動も増やしていきたいと考えている。学部学生、大学院生が自然な形で研究活動に入っていけるような教育研究的環境の整備にはこのような活動が不可欠となるであろう。

4. 対外的な、また社会との関わりのある活動

教育面については、国立大学理学療法士作業療法士教育施設協議会総会および作業療法部会（平成12年10月：広島）、全国理学療法士作業療法士養成施設連絡協議会および部会（平成12年7月：広島）に参加し、作業療法教育実習に関わる諸問題、学校教育機材などの関する問題について意見交換した。

また、地域リハビリテーションの支援として市町村が行う機能訓練事業やヘルパー養成のための教育に関わった。介護保険について重要な役割を持つ介護認定審査会委員、介護支援専門員の指導員などに教員を派遣し、この分野の発展に寄与した。その他、公開講座や各種講演会などの講師として本専攻の教官が活動した。

その他短期大学部卒業生を対象に、卒業後2年間、体系化された卒後教育プログラムを定期的実施してきた。12年度もこれを継続し、社会人、医療従事者として全体をカバーする体系的な包括的な教育内容の研修を実施した。同時に作業療法の専門領域ごとに更に複雑で高度な内容の問題について、症例検討を中心とした卒後研修会を6回開催した。

現代社会においては、生涯学習の機会と内容によって、その職種への信頼度や精神的成熟度が評価されるといわれる。作業療法分野においても、全国レベルの職能団体としての生涯教育が実施されているが、それに加え名古屋大学保健学科としての建学の精神を追求するためにも、教育、研究、それに臨地においても役立ち信頼される大学であることを目指したい。

（主任：田川義勝）

2. 公開講座

放射線と人間 一人に役立つ放射線

名古屋大学医学部保健学科では、昭和58年以来、健康問題や医療問題を中心に人間生活に関する公開講座を開催し、多くの一般市民の皆様に参加して頂いてまいりました。今回は、放射線技術科学専攻が中心になり、このところ新聞やテレビを賑わせています「放射線」について、「放射線と人間 一人に役立つ放射線」をテーマとして、平成12年9月9日と30日の土曜日の2回に分けて名古屋大学医学部保健学科大講義室において開催いたしました。また、“目に見えない”放射線を見るための簡単な実験も講義室で行い、参加者に身近で観察していただきました。

実施要綱

主 催 名古屋大学医学部保健学科
後 援 愛知県、名古屋市、名古屋大学医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、名古屋市教育委員会
開 催 日 平成12年9月9日（土）14：00～16：00
 9月30日（土）14：00～16：00
開催場所 名古屋大学医学部保健学科大講義室
募集人員 150名
受 講 料 4,500円
修 了 書 3回以上出席の受講者に修了書を授与

講義題目（講義内容）と講師

第1回 9月9日 「放射線と放射能」（宮原 洋教授）

放射線と呼ばれる概念は1895年のレントゲンによるX線の発見に始まります。そしてこのことは錬金術に見られるように元素を変えようとする試みが成功せず、元素は変わらないものとする19世紀まで続いてきた概念を変えることになりました。しかし、放射能とか放射線ほど正しく理解されていない言葉はありません。放射線と放射能の関係を野球のピッチャーにたとえるならば、ピッチャーが投げる色々の球種が放射線で、ピッチャーによって一試合で何球投げられるかが放射能のようなものです。すなわち、ある物質から放射されているのが放射線で、どれだけの放射線を出すことができるかが放射能です。この放射線、放射能に関する基礎的なことについて聞いて頂きました。

第2回 9月9日 「放射線で体内を覗く」（伊藤茂樹助教授）

X線撮影は人体を透過したX線をフィルムで受けるものであり、肺と心臓や肋骨などが重なった画像となり診断の妨げになります。この重なりがない像として、人体の輪切り、即ち、横断像を撮影する先駆的な試みは、名古屋大学放射線医学教室の初代教授である高橋信次先生によりなされました。このX線による回転横断撮影は、原理的にはX線CTと非常によく似たものでしたが体内の構造を鮮明に表現できるものではありませんでした。今日のX線CTは目を見張るほど発展しており、これらによる画像は診断に非常に有益な情報をもたらしていることをお話ししました。

第3回 9月30日 「放射線の利用と人体への影響」（田宮 正助教授）

放射線の利用は主としてトレーサ利用と照射利用に大別されます。利用にあたり放射線による人体への影響をより少なくする必要があります。そのための基本原則を検討して、国際放射線医学会議によって創設され、純

粹な学術会議である国際放射線防護委員会（ICRP）が勧告・報告書を公表してきました。我が国をはじめ、各国は基本的にICRP勧告を遵守する姿勢をとっています。現在1990年（ICRP Pub. 60）の新勧告を法令等に繰り入れるための作業が行われています。放射線の利用と管理についてお話ししました。

第4回 9月30日 「放射線で癌を治す」（小幡康範教授）

癌の治療方法は、外科的な手術療法、放射線療法、抗癌剤による化学療法や免疫療法といった内科的治療に分けられます。それぞれに得失があり、癌の種類・部位・進行度によって有効な治療法が選択され、またいくつかが集学的治療として組み合わせられます。放射線治療の目的は、原発癌に対する根治治療、準根治治療から始息治療また癌の転移に対する症状軽減（寛解）などに分けられ、癌の状態に合わせた放射線治療が施行されています。これらと癌が放射線治療で治る仕組み及び最近の治療成績向上の試みについて聞いて頂きました。

今回の公開講座では、39名の方が受講されました。受講者の年齢別の内訳は、40歳代と50歳代の方が多く、10歳代から70歳代の方まで幅広い年齢層におよんでいます。職業別では、教員など教育関係者と高校生の参加が最も多く、続いて会社員、医療関係者、自営業の方々となっています。公開講座受講者のアンケートを、1) 参加の動機、2) 本公開講座を知った経緯、3) 受講後の感想、4) 開設時期、曜日、時間、場所、受講料等気づいた点、5) 今後、希望するテーマで集計しています。

その結果を簡単に紹介します。

1) 参加の動機

興味・関心をもった人が44%で、生活上の知識向上のための26%、職業上の知識・理解を増すための24%、残りは余暇の有効利用であった。

2) 本公開講座を知った経緯

本学科からの案内が42%、区役所、社会教育センターに置いてあった募集要項などが25%、中日新聞が17%で残りは会社の研修案内やホームページとなっている。

3) 受講後の感想

具体的な映像を交えた説明で解りやすく放射線のよい部分と良くない部分を客観的に知ることができ、放射線に対する見方が変わり、医療面でも工学面でもまたエネルギー源としてでも人間がコントロールできる範囲で利用してゆけば、雲をつかむような放射線が役に立つということがよく理解できた。

4) 開設時期、曜日、時間、場所、受講料等気づいた点

受講料が高く、講義時間が短いので少なくとも3時間以上のものにして欲しいという意見が多い。仕事を持っている人にとって土曜の午後ということは嬉しいという人と午前中を希望する人がおり、時間については現状どうりでもよいと思われる。

5) 今後、希望するテーマ

幅広い年齢層の人が、生活習慣病、癌、もの忘れなど、高齢社会に特徴的なことについて、10代男性が身近にあって誤った見方をされている様なことを取り上げることを、20代女性がこれから生活してゆく上で人間の生活に欠かせないが有害であるものとどうつきあえば良いのかについて、また高齢層の人が、磁気の生体への影響や進歩の甚だしい医療技術の紹介を希望している。さらにアレルギー体質、レーザー、気功、内的要因の皮膚への影響をテーマに望む受講者もみられた。

平成12年度名古屋大学医学部保健学科公開講座「放射線と人間 -一人に役立つ放射線-」は、開かれた大学をめざして、健康問題や医療問題をテーマとする一般市民向けの公開講座として、放射線が人間生活に有効に利用されることが理解され、その成果をあげることができました。

（放射線技術科学専攻 主任：田伏勝義 平成12年度公開講座委員会 委員長：高木健三）

3. 業 績

看護学専攻

〔著書〕

浅野みどり

C 家族アセスメント D ケア計画の実際

『小児看護叢書3 病と共に生きる子どもの看護』（及川郁子監修、村田恵子編著）メヂカルフレンド社，2000. pp 126-135

石黒彩子

A 健康歴 B フィジカルアセスメント

『小児看護叢書3 病と共に生きる子どもの看護』（及川郁子監修、村田恵子編著）メヂカルフレンド社，2000. pp 118-125

片岡秋子，高橋章子

第3章 主要徴候に基づく選択的・重点的アセスメント G 栄養・消化

『急性期の患者のフィジカルアセスメント』（高橋章子，中村恵子，田口吉子編集）南江堂，2000. pp 126-143

片岡秋子

熱傷

『救急看護Q & A』（高橋章子編著）照林社，2000. pp 221-226

片岡秋子，中田さよ里，蒲沢さゆり

排泄介助処置について

『救急看護の手技&ケア』（鶴飼 卓編集）メディカ出版，2000. pp 42-47

前川厚子，榊原久孝

排泄機能障害者援助技術の現状と将来

『技術予測レポート：21世紀に期待される技術－その将来展望 第3巻 医療・健康・高齢化社会への対応技術』日本ビジネスレポート社，2000. pp 77-85

前川厚子

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル（身体障害者編）』（身体障害者ケアマネジメント研究会監修）

中央法規，2000. pp 81-82, pp 99-102, pp 128-133, pp 146, pp 161-163

中木高夫

医療改善の鍵はナースが握っている－ほんの20年ちょっとのお付き合いですが

『2000年に、看護を語る－急いでしかし着実に責務を果たす時が来た』（草刈淳子，見藤隆子，小玉香津子編集）日本看護協会出版会，2000. pp 183-190

任 和子，安田道子

入院病室で

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 40

任 和子，安田道子

診察室で

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 82

任 和子，安田道子

待合室で

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 139

任 和子，安田道子

検査室で

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 171

任 和子，安田道子

手術の前に

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 214

任 和子，安田道子

ターミナルケアの場で

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. p 237

任 和子

その人の苦しみに目を向け、ありのままに受け容れる

『看護に生かす臨床心理学』（菅 佐和子編著）朱鷺書房，2000. pp 210-213

SAKAKIBARA Hisataka, LUO Jin, ZHU San-Kuan, HIRATA Mamoru, ABE Mitsuru

Cardiac autonomic nervous activity in response to cold in VWF patients

LUNDSTROM Ronnie and Lindmark Asta (eds): 8th International Conference on Hand-Arm Vibration 9-12 June 1988, Umea, Sweden, Proceedings. Umea, National Institute for Working Life, 2000. pp 95-97

HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**, TOIBANA Norikuni

Medial plantar nerve conduction velocities among patients with vibration syndrome due to chain saw work

LUNDSTROM Ronnie and Lindmark Asta (eds): 8th International Conference on Hand-Arm Vibration 9-12 June 1988, Umea, Sweden, Proceedings. Umea, National Institute for Working Life, 2000. pp 409-417

TOIBANA Norikuni, HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**

Warm and cold thermal thresholds in vibration syndrome patients compared with healthy controls

LUNDSTROM Ronnie and Lindmark Asta (eds): 8th International Conference on Hand-Arm Vibration 9-12 June 1988, Umea, Sweden, Proceedings. Umea, National Institute for Working Life, 2000. pp 473-476

榊原久孝，豊嶋英明

肝内結石症・疫学

『難病の最新情報，疫学から臨床・ケアまで』（大野良之，田中平三，中谷比呂樹，黒川清，斎藤英彦編集）南山堂，2000. pp 320-321

榊原久孝

研究における統計学の基礎知識と検定の方法

『これからの看護研究－基礎と応用－』（松木光子，小笠原知枝編集）廣川書店，2000. pp 123-133

渡邊順子

第4章 実験研究

『これからの看護研究－基礎と応用－』（松木光子，小笠原知枝編集）廣川書店，2000. pp 41-55

渡邊順子

第1章 レポートって何だろう?!

『看護学生のためのレポートRule Book 課題・演習レポート編』（渡邊順子監修）プチナース 2000・5臨時増刊号
照林社，2000. pp 3-12

渡邊順子

『看護学生のためのレポートRule Book 実習記録・研究レポート編』（渡邊順子監修）プチナース 2000・6臨時増刊号
照林社，2000. 99p

安田道子

養護教諭の行う相談活動の特徴と臨床心理士の援助

『人間援助の諸領域－そのころ・実践・研究－』（幸 順子，緒賀郷志，長野友里，佐藤明美編集）ナカニシヤ出版，
2000. pp 49-57

〔原著論文〕

小野雄一郎，今枝敏彦，栗田秀樹，巽 あさみ，山本恵申，蛭田秀一，島岡みどり，**安藤詳子**，堀 文子，服部洋兒，
山田 宏，吉田 勉，谷脇弘茂，長岡 芳
上肢作業における筋負担に関する生理学的検討－近赤外線分光法による僧帽筋領域の血流動態の測定
総合保健体育科学 23：33-38, 2000

堀 文子，小野雄一郎，今枝敏彦，蛭田秀一，島岡みどり，**安藤詳子**，巽 あさみ，山田 宏，服部洋兒
ベッドから車椅子への移動介助に関する実験的検討－介助者と患者役の自覚的評価－
総合保健体育科学 23：39-42, 2000

小野雄一郎，今枝敏彦，**安藤詳子**，堀 文子，巽 あさみ，蛭田秀一，島岡みどり，服部洋兒，山田 宏，吉田 勉，
谷脇弘茂，長岡 芳，栗田秀樹
介護に関わる労働衛生の動向と課題
総合保健体育科学 23：55-61, 2000

佐脇真由美，**安藤詳子**，藤井千恵，市川幸枝，前川厚子

患者の心とターミナルケア

エキスパートナース 16：126-130, 2000

ANDO Shoko, ONO Yuichiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, HATTORI Yoji, HORI Fumiko, TAKEUCHI Yasuhiro

Associations of self-estimated workloads with musculoskeletal symptoms among hospital nurses
Occup Environ Med 57 : 211-216, 2000

ANDO Shoko, ONO Yuichiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, HATTORI Yoji, HORI Fumiko, IMAEDA Toshihiko, TAKEUCHI Yasuhiro
Strength and perceived exertion in isometric and dynamic lifting with three different hand locations
J Occup Health 42 : 315-320, 2000

HATTORI Yoji, ONO Yuichiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, SHIBATA Eiji, **ANDO Shoko**, HORI Fumiko, TAKEUCHI Yasuhiro
Effects of box weight, vertical location and symmetry on lifting capacities and rating on category scale in Japanese female workers
Ergonomics 43 : 2031-2042, 2000

江藤真紀, 久保田新
在宅健常高齢者の転倒に影響する身体的要因と心理的要因
日本看護研究学会雑誌 23(4) : 43-58, 2000

藤井千恵, **石黒彩子**, 巽 あさみ, 鬼頭信子, **浅野みどり**, **三浦清世美**, 村瀬敏子
心身障害児の家族ニーズと看護職の役割－アンケート調査および意見交換会からの考察－
看護技術 46(12) : 94-99, 2000

飯田美代子, **森田せつ子**, **後藤節子**, 宮里和子
更年期女性の自己健康管理の試み
愛知母性衛生学会誌 18 : 25-29, 2000

小山知来, 神戸俊夫, **石黒彩子**, 菊池韶彦, 富田 靖
アトピー性皮膚炎患者血清中のMalassezia種に対する特異IgE抗体の検出
皮膚 42 : 18-23, 2000

KOYAMA Tomoki, KANBE Toshio, **ISHIGURO Ayako**, KIKUCHI Akihiko, TOMIDA Yasushi
Isolation and characterization of a major antigenic component of Malassezia globosa to IgE antibodies in sera of patients with atopic dermatitis
Microbiol Immunol 44 : 373-379, 2000

石黒彩子, 杉浦太一, 塩見美幸, **三浦清世美**, **浅野みどり**
臨床実習前の事例学習(第1報)－白血病児の事例学習における看護アセスメントの傾向－
日本看護医療学会雑誌 2(2) : 35-42, 2000

OSANAI Hiroyuki, OKUMURA Kenji, HAYAKAWA Makoto, HARADA Mitsunori, NUMAGUCHI Yasushi, MOKUNO Shinji, MURASE Kichiro, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, **ITO Takayuki**, HAYAKAWA Tetsuo
Ascorbic acid improves postischemic vasodilatation impaired by infusion of soybean oil into canine iliac artery
J Cardiovasc Pharmacol 36 : 687-92, 2000

MITANI Yukio, OKUMURA Kenji, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, HASHIMOTO Hidekazu, **ITO Takayuki**,
HAYAKAWA Tetsuo
Insulin alters cardiac muscle creatine kinase activity
Heart Vessels 15 : 23-9, 2000

KAMIYA Hiroki, OKUMURA Kenji, SONE Takahito, TSUBOI Hideyuki, KONDO Junnichi, MUKAWA Hiroaki,
MATSUI Hideo, TOKI Yukio, **ITO Takayuki**, HAYAKAWA Tetsuo
Plasma adrenomedullin levels in the coronary circulation in vasospastic angina pectoris
Am J Cardiol 85 : 656-8, 2000

HAYAKAWA Makoto, **ITO Takayuki**, OSANAI Hiroyuki, HARADA Mitsunori, NUMAGUCHI Yasushi, MOKUNO
Shinji, MURASE Kichiro, MATSUI Hideo, HAYAKAWA Tetsuo
Simultaneous intravascular two-dimensional plus Doppler ultrasound is useful for evaluation of postischemic
vasodilatation: plasma NOx - levels determined by the Griess method may not reflect the extent of postischemic
NO-induced vasodilatation
Hypertens Res 23 : 331-8, 2000

MORISHIMA Itsuro, SONE Takahito, OKUMURA Kenji, TSUBOI Hideyuki, KONDO Junnichi, MUKAWA
Hiroaki, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, **ITO Takayuki**, HAYAKAWA Tetsuo
Angiographic no-reflow phenomenon as a predictor of adverse long-term outcome in patients treated with
percutaneous transluminal coronary angioplasty for first acute myocardial infarction
J Am Coll Cardiol 36 : 1202-9, 2000

KANEKO Shinji, OKUMURA Kenji, NUMAGUCHI Yasushi, MATSUI Hideo, MURASE Kichiro, MOKUNO Shinji,
MORISHIMA Itsuro, HIRA Kenji, TOKI Yukio, **ITO Takayuki**, HAYAKAWA Tetsuo
Melatonin scavenges hydroxyl radical and protects isolated rat hearts from ischemic reperfusion injury
Life Sci 67 : 101-12, 2000

MURASE Kichiro, OKUMURA Kenji, HAYASHI Kazunori, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, **ITO Takayuki**,
HAYAKAWA Tetsuo
Measurements of 1,2-diacylglycerol and ceramide in hearts subjected to ischemic preconditioning
Life Sci 66 : 1491-500, 2000

片岡秋子, 北川裕子, 渡邊憲子, 榊原久孝
足部マッサージと腹式呼吸併用の生理的効果
日本看護医療学会雑誌 2(1) : 17-24, 2000

片岡秋子, 北川裕子, 渡邊憲子
ICUにおける患者の心のケアのために - 足部マッサージの生理学的比較検討
ハートナーシング 13 : 39-44, 2000

河津芳子, 清水みどり, 丹羽さゆり
ケアの概念 - その使われ方からの考察
日本看護医療学会誌 2(2) : 43-46, 2000

河津芳子, 任 和子

看護婦に求められる資質－ 一般人、医師、看護婦、看護教師への意識調査をふまえて
日本看護医療学会誌 2(1) : 9-15, 2000

前川厚子

ストーマ保有者の自己適応とその関連要因
お茶の水医学雑誌 48 : 13-22, 2000

前川厚子, 吉田和枝

オストミーライフスパンにおけるストーマ装具代金の推計
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 20 : 1-6, 2000

吉田和枝, 前川厚子

仙骨巨細胞腫切除患者の退院計画
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 20 : 39-42, 2000

前川厚子, 吉田和枝, 中里博昭

東海ストーマリハビリテーション研究会誌論文のメタ分析
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 20 : 99-104, 2000

古川久美子, 前川厚子, 作間久美, 佐野正子

東海地区における非粘着式ストーマ装具使用者の実態調査
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 20 : 119-124, 2000

吉田和枝, 前川厚子

ストーマ保有1年以上の相談者の継時的心理
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 20 : 195-200, 2000

前川厚子, 古澤恭子, 伊藤美智子, 積 美保子, 吉田和枝, 安藤詳子, 吉田久美子, 渡邊憲子

Purpose in Life-A テストにみるオストメイトの生きがいスコア
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 4 : 17-21, 2000

古川久美子, 前川厚子, 作間久美, 佐奈明彦, 江上直美, 吉田和枝, 後藤美和子, 近藤貴代, 松原明美, 神谷紀子, 大川恵美, 松岡 薫, 広本佐都美, 祖父江正代

非粘着式ストーマ装具を愛用するオストメイト18人の現況
日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 4 : 35-40, 2000

森島恒雄, 富樫武弘, 横田俊平, 奥野良信, 宮崎千明, 田代真人, 岡部信彦, 葛西 健

インフルエンザに合併する脳炎・脳症に関する全国調査
日本醫事新報 3953 : 26-28, 2000

KASAI Takeshi, TOGASHI Takehiro, MORISHIMA Tsuneo

Encephalopathy associated with influenza epidemics
Lancet 355 : 1558, 2000

ITO Yoshinori, KIMURA Hiroshi, YABUTA Yumi, ANDO Yoshihiro, MURAKAMI T, SHIOMI Masashi,
MORISHIMA Tsuneo

Subsequent exacerbation of herpes simplex encephalitis after successful treatment with acyclovir
Clin Infect Dis 30 : 185-187, 2000

TANAKA Naoko, KIMURA Hiroshi, IIDA K, SAITO Y, TSUGE Ikuya, YOSHIMI A, MATSUYAMA T,
MORISHIMA Tsuneo

Quantitative analysis of cytomegalovirus load using real-time PCR assay
J Med Virol 60 : 455-462, 2000

KIMURA Hiroshi, NISHIKAWA Kazuo, HOSHINO Yo, SOBUE A, NISHIYAMA Y, **MORISHIMA Tsuneo**
Monitoring of cell-free viral DNA in primary Epstein-Barr virus infection
Med Microbiol Immunol 188 : 197-202, 2000

KIMURA Hiroshi, KIDO S, OZAKI Takao, TANAKA Naoko, ITO Yoshinori, WILLIAMS R K, **MORISHIMA Tsuneo**

Comparison of quantitations of viral load in varicella and zoster
J Clin Microbiol 38 : 2447-9, 2000

HONDA K, KANEGANE Hirokazu, EGUCHI M, KIMURA Hiroshi, **MORISHIMA Tsuneo**, MASAKI K, TOSATO G,
MIYAWAKI T, ISHII E

Large deletion of the X-linked lymphoproliferative disease gene detected by fluorescence in situ hybridization
Am J Hematol 64 : 128-32, 2000

HOSHINO Yo, KIMURA Hiroshi, KUZUSHIMA Kiyotaka, TSURUMI Tatsuya, NEMOTO K, KIKUTA A,
NISHIYAMA Y, KOJIMA Seiji, MATSUYAMA T, **MORISHIMA Tsuneo**

Early intervention in post-transplant lymphoproliferative disorders based on Epstein-Barr viral load
Bone Marrow Transplant 26 : 199-201, 2000

KUZUSHIMA Kiyotaka, KIMURA H, HOSHINO Yo, YOSHIMI A, TSUGE Ikuya, HORIBE Keizo, **MORISHIMA Tsuneo**, TSURUMI Tatsuya, KOJIMA Seiji

Longitudinal dynamics of Epstein-Barr virus-specific cytotoxic T lymphocytes during post transplant lymphoproliferative disorder
J Infect Dis 182 : 937-940, 2000

TANAKA Naoko, KIMURA Hiroshi, HOSHINO Yo, YOSHIKAWA T, ASANO Y, HORIBE Keizo, KOJIMA Seiji,
MORISHIMA Tsuneo

Monitoring of four herpesviruses in unrelated cord blood transplantation.
Bone Marrow Transplant 26 : 1193-1197, 2000

TANAKA Naoko, KIMURA Hiroshi, IIDA K, SAITO Y, TSUGE Ikuya, Yoshimi A, Matsuyama T, **Morishima Tsuneo**.

Quantitative analysis of cytomegalovirus load using a real-time PCR assay.
J Med Virol 60 : 455-462, 2000

林 直美, 星野 洋, 田中直子, 伊藤嘉規, 杵山正浩, 木村 宏, 森 英一, 葛島清隆, 長坂徹郎, **森島恒雄**
EBウイルスによる重症肝障害例におけるウイルスゲノム定量解析
小児感染免疫 12 : 179-89, 2000

森田せつ子

愛知県内市町村における母子健康手帳交付時の対応
愛知母性衛生学会誌 18 : 11-17, 2000

森田せつ子

世代の相違による母親間の育児ストレスの検討
日本家政学会家族関係部会セミナー集録集 1 : 11-18, 2000

任 和子, 中井義勝, 森本昌親

糖尿病に関連した日常生活のストレス原因と燃えつき状態について
糖尿病 43 : 983-987, 2000

ZHU Shan-Kuan, KONDO Takaaki, **SAKAKIBARA Hisataka**, TAMAKOSHI Koji, MIYANISHI Kunio, SEKI Nao,
TANABE Naohito, TOYOSHIMA Hideaki

Influence of life-related examination on mortality in a 4.5 year follow-up of a rural cohort
Environ Health Prev Med 5 : 66-71, 2000

LUO Jin, **SAKAKIBARA Hisataka**, Zhu Shan-Kuan, KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki

Effect of vibration magnitude and repetitive exposure on finger blood flow in healthy subjects
Int Arch Occup Environ Health 73 : 281-284, 2000

TOIBANA Norikuni, **SAKAKIBARA Hisataka**, HIRATA Mamoru, KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki

Thermal perception threshold testing for the evaluation of small sensory nerve fiber injury in patients with hand-arm vibration syndrome
Ind Health 38 : 366-371, 2000

小木曾みよこ, 新実房子, 澤野香代子, 岩田勝子, 塚田やす子, **玉里八重子**, 鈴木和代

分娩所要時間を数理的に考える
第56回日本助産婦学会集録 56 : 12-22, 2000

〔総説・解説・その他〕

浅野みどり

育児不安と子どもの虐待－最近の育児事情を考える
健康文化振興財団紀要 27 : 9-13, 2000

浅野みどり

症例研究レポートのポイント
プチナース 9(8) : 39-62, 2000

浅野みどり

研究論文のポイント

プチナース 9(8)：63-99, 2000

江藤真紀

第3章演習・基礎実習レポートのポイント

プチナース 9(6)：54-95, 2000

飯田美代子

月経をバロメーターに展開する閉経前後の保健指導

生活教育 44：7-13, 2000

飯田美代子, 前川厚子, 安藤詳子, 藤井知恵, 榊原久孝, 石黒彩子, 玉里八重子, 任 和子, 奥村太志, 水溪雅子, 安田道子, 渡邊憲子, 永田量子, 浅野みどり, 吉田久美子, 鈴木和代, 北川裕子, 渡邊あゆみ, 前嶋七海, 渋谷菜穂子, 西川晶子, 三浦清世美

大学教員による看護相談の実践

日本看護医療学会雑誌 2(2)：25-33, 2000

石黒彩子, 浅野みどり

小さくて表情が乏しい乳児とその母親への看護介入

クリニカルスタディ 21(1)：41-48, 2000

北川裕子, 渡邊あゆみ

実習記録のポイント

プチナース 9(8)：4-37, 2000

前川厚子

オストメイトの継続ケア

山梨ストーマリハビリテーション研究会誌 3：20-25, 2000

松岡 薫, 吉田和枝, 前川厚子

東海ストーマリハビリテーション研究会誌に占める小児領域のレビュー

日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 4：48-51, 2000

積 美保子, 伊藤美智子, 前川厚子, 高橋アツ子, 高添正和, 佐原力三郎

妊娠, 帝王切開と一時的横行結腸ストーマ保有を体験したクローン病患者の心理

日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌 4：52-56, 2000

前川厚子, 沼田美幸

褥瘡アセスメントツールの評価－その批判的吟味(翻訳・コメント)

臨床看護 26：1152-1156, 2000

前川厚子

褥瘡－在宅療養患者の褥瘡マネジメント

Nutrition Support Journal 1 : 10-11, 2000

前川厚子, 安藤詳子, 山本絵美子, 神里みどり, 渋谷優子

がん看護学-の未来への掛け橋を

月刊ナーシング 20(12) : 48-51, 2000

前川厚子

看護におけるスペシャリストとジェネラリスト

主任&中堅 10 : 5-7, 2000

森島恒雄

インフルエンザ脳炎・脳症

CURRENT THERAPY 18 : 2041-2045, 2000

森島恒雄

単純ヘルペス脳炎の診療上の問題点

医学のあゆみ 194 : 909-913, 2000

森島恒雄

ヘルペスウイルス感染症：本邦臨床統計

日本臨牀 58 : 845-850, 2000

森島恒雄

インフルエンザ脳炎・脳症

治療学 34(1) : 54-57, 2000

森島恒雄

インフルエンザ脳炎・脳症の病態と戦略

総合臨牀 49 : 300-305, 2000

森島恒雄

小児に多発した脳炎・脳症-厚生省研究班全国調査

小児科診療 12 : 2065-2068, 2000

中木高夫

「新世紀前夜 いまこそ21世紀の看護を語ろう」私にとっての看護の3大課題 (1)看護の〈知〉の体系化 (2)ナースの仕事に対する世間の認知 (3)看護実践能力のアップデート

看護学雑誌 64 : 1111-1116, 2000

中木高夫

読者に推薦された人がつづる私にとって100年この時「看護に興味を持たせ、一緒に探求し、いまでも刺激してくれる人たち」

看護教育 41 : 672-673, 2000

黒田裕子, 酒井詠美, 本庄恵子, 船山美和子, 濱田悦子, 川島みどり, **中木高夫**, 木村 義, 武田岳雪, 岡田光弘
看護職者の推論構造に関する研究 蓄積される情報との関連に焦点をあてて
日本看護学教育学会誌 10:96, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って《交換パターン》をじっくりと読み解く(その7)
月刊ナーシング 20(2):68-71, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 番外編 新しく提案されたNANDAの《分類法II》を読み解く
月刊ナーシング 20(2):70-73, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 《伝達パターン》をじっくりと読み解く
月刊ナーシング 20(3):86-89, 2000

中木高夫

【医療情報公開時代 私たちの記録は開示できるのか】診療記録の情報公開に関する医療者と患者・市民の感覚
月刊ナーシング 20(4):18-22, 2000

中木高夫

看護診断への誘い 看護診断とケースマネジメント・バイ・ナース
月刊ナーシング 20(4):76-79, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く(その1)
月刊ナーシング 20(4):86-89, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く(その2)
月刊ナーシング 20(6):82-85 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って NANDAの第14回大会へ行って来ました
月刊ナーシング 20(7):72-75, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く(その3)
月刊ナーシング 20(8):58-61, 2000

中木高夫

なあ〜んだ!看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く(その4)
月刊ナーシング 20(9):46-51, 2000

中木高夫

なあ〜んだ！看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く（その5）
月刊ナーシング 20(10)：36-39, 2000

中木高夫

なあ〜んだ！看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く（その6）
月刊ナーシング 20(11)：64-67, 2000

中木高夫

なあ〜んだ！看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く（その7）
月刊ナーシング 20(12)：56-59, 2000

中木高夫

なあ〜んだ！看護診断って 《関係パターン》をじっくりと読み解く（その8）
月刊ナーシング 20(13)：68-71, 2000

中木高夫

ケアをインテグレートするPOS
POS医療学会雑誌 5(1)：11-16, 2000

中木高夫

POSのよさを生かすためにー初歩的解説として
POS医療学会雑誌 5(1)：22-29, 2000

中木高夫

POSによるケアインテグレーションーワークショップファシリテーター揃い踏み
POS医療学会雑誌 5(1)：44, 2000

任 和子

インスリン注射をしなければならないことにショックを受けている患者への看護介入
クリニカルスタディ 21(14)：60-65, 2000

任 和子

21世紀に輝くナースになろう
プチナース 9(11)：23-25, 2000

任 和子

看護学生のためのレポートRule Bookー科目別課題レポートのポイント
プチナース 9(6)：13-51, 2000

任 和子

実習に役立つポケットリーフー略語
クリニカルスタディ 21(6)：97-100, 2000

渡邊あゆみ, 森島恒雄
脳炎・脳症、Reye症候群
治療 82(11)：28-32, 2000

安田道子
スクールカウンセラー
健康教室 51：30, 2000

安田道子
養護教諭とスクールカウンセラーの連携をめぐって
学校保健研究 41：511, 2000

[科研費・班研究等]

蛭田秀一, 小野雄一郎, 島岡みどり, **安藤詳子**, 竹内康浩
高齢者介護作業者の介護負担軽減をめざした人間工学的実験研究
平成9・10・11年度文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書 1冊, 2000

森島恒雄
インフルエンザ脳炎・脳症に関する研究(主任研究者)
新興・再興感染症研究事業平成11年度研究成果報告書 1冊, 2000

森島恒雄, 木村 宏, 杵山正浩, 伊藤嘉規, 西川和夫, 布井博幸
インフルエンザ脳炎・脳症の病態に関する研究-血管内皮細胞の傷害と病態について
予防接種の効果的実施と副反応に関する総合的研究平成11年度研究成果報告書 1冊, 2000

岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 小谷野康子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, 豊増佳子, **中木高夫**, 樋口範雄, 小林洋子, **勝山貴美子**, 下谷恵美, 別府千恵
医療への患者参加を促進する情報公開と従事者教育の基盤整備に関する研究
平成11年度厚生省政策科学推進研究事業報告書 pp 3-13, 2000

[その他の印刷物]

杉浦太一, **安藤詳子**, 松村悠子
腎疾患患者の自己管理行動を促進するための教育的アプローチに関する研究
平成10年度財団法人慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団研究助成研究成果報告書 1冊, 2000

藤井千恵, **榊原久孝**
消防団の健康診断結果と食生活習慣の解析
平成11年度長野県松川町総合健康指導事業報告書 1冊, 2000

前川厚子

褥瘡患者の栄養の注意点

ALmedia 4：8-11, 2000

益満留美, 林 るみ子, 浅井普久子, 河合亮子, 水野智恵子, 三浦清世美, 山口倫子, 宮沢裕子, 神谷やす子, 山下一味

小児病棟における快適な入院環境作り (I) - 5 W病棟の現状調査 -

名古屋大学医学部附属病院看護研究集録 pp 149-152, 2000

河合亮子, 林 るみ子, 浅井普久子, 益満留美, 水野智恵子, 三浦清世美, 山口倫子, 宮沢裕子, 神谷やす子, 山下一味

小児病棟における快適な入院環境作り (II) - 環境改善の実際と効果 -

名古屋大学医学部附属病院看護研究集録 pp 153-157, 2000

榊原久孝, 藤井千恵

住民健康診断結果からみた生活習慣病の実態

平成11年度長野県松川町国保総合健康指導事業報告書 1冊, 2000

榊原久孝, 吉田久美子, 藤井千恵

住民健康診査での血糖およびHbA1c検査結果と75g OGTT検査結果についての解析

平成11年度長野県松川町国保総合健康指導事業報告書 1冊, 2000

渡邊憲子

看護学生に名声会の見学をさせていただいたお礼

名古屋市名声会, 30：18-19, 2000

〔学会発表〕

安藤詳子, 渡邊あゆみ, 松村悠子, 青山裕子

病院改築による環境改善 - 空気清浄度 - (抄録集 p 21, 2000)

第4回日本看護研究学会東海地方会, 2000. 1 (横浜)

田中美由紀, 松浦恵子, 山口政江, 安藤詳子, 松村悠子

腎疾患をもつ人々の自己管理行動支援に関する検討 (抄録集 p 12, 2000)

第4回日本看護研究学会東海地方会, 2000. 1 (横浜)

加藤経子, 安藤幸子, 安藤詳子

看護婦の治験コーディネーターに期待される役割 - 医師を対象としたアンケート調査より - (抄録集 p 22, 2000)

第4回日本看護研究学会東海地方会, 2000. 1 (横浜)

安藤詳子, 前川厚子, 渡邊あゆみ, 吉田和枝, 吉田久美子, 神里みどり, 安田道子

がんの認識をもつ結腸ストーマ保有者の心理 (日本がん看護学会誌 14：36, 2000)

第14回日本がん看護学会学術集会, 2000. 2 (神戸)

堀 文子, 小野雄一郎, 今枝敏彦, 蛭田秀一, 島岡みどり, **安藤詳子**, 巽 あさみ, 山田 宏, 服部洋児
車椅子からベッドへの移乗介助における介助者役と患者役の自覚的評価 (産業衛生学雑誌 42: 294, 2000)
第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (東京)

蛭田秀一, 島岡みどり, 堀 文子, 小野雄一郎, 今枝敏彦, **安藤詳子**, 巽 あさみ, 山田 宏, 服部洋児
介助条件の違いによる移乗作業時の床反力荷重値の比較 (産業衛生学雑誌 42: 295, 2000)
第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (東京)

服部洋児, 小野雄一郎, 島岡みどり, 蛭田秀一, **安藤詳子**, 竹内康浩, 堀 文子
女性労働者の挙上能力とR P Eに及ぼす角度・高さ及び取扱い重量の影響 (産業衛生学雑誌 42: 519, 2000)
第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (東京)

安藤詳子, 前川厚子, 吉田和枝, 松岡 薫, 渡邊憲子
N市在住オストメイトの自己適応
第41回東海ストーマリハビリテーション研究会, 2000. 6 (名古屋)

安藤詳子, 松村悠子, 青山裕子
病院改築による環境改善-温熱条件- (日本看護研究学会誌 23: 289, 2000)
第26回日本看護研究学会, 2000. 7 (千葉)

田中美由紀, 松浦恵子, 山口政江, **安藤詳子**, 松村悠子
腎疾患をもつ人々の自己管理行動と関連要因腎 (日本看護研究学会誌 23: 103, 2000)
第26回日本看護研究学会, 2000. 7 (千葉)

加藤経子, 安藤幸子, **安藤詳子**
治療コーディネーターに期待される役割とその対応策-医師を対象としたアンケート調査より- (日本看護研究学会誌 23: 367, 2000)
第26回日本看護研究学会, 2000. 7 (千葉)

ANDO Shoko, MAEKAWA Atsuko, KAMIZATO Midori
Psychological aspect of patients with ostomy due to cancer. (Abstract. p 145, 2000)
11th International Conference on Cancer Nursing, 2000. 8 (Oslo, Norway)

杉浦太一, 浅野みどり, 石黒彩子
喘息児のQOL測定の試み-第1報-質問紙を用いたQOL得点の評価 (日本看護研究学会雑誌 23: 341, 2000)
第26回日本看護研究学会学術集会, 2000. 7 (千葉)

浅野みどり, 石黒彩子, 杉浦太一
喘息児のQOL測定の試み-第2報-質問項目ごとの回答傾向 (日本看護研究学会雑誌 23: 342, 2000)
第26回日本看護研究学会学術集会, 2000. 7 (千葉)

杉浦太一, 浅野みどり, 山田知子, 三浦清世美, 石黒彩子, 鳥居新平
質問紙を用いた気管支喘息児と健常児のQOLの比較 (講演集 pp 742-743, 2000)
第47回日本小児保健学会, 2000. 11 (高知)

高橋昌久, 浅野みどり, 長嶋正實, 吉田 京, 長田泰子, 近藤夏子, 根来民子, 市川みどり
新生児・乳児の命を守るネットワーク-妊娠・出産・育児の場面で- (抄録集 pp 72-73, 2000)
日本子どもの虐待防止研究会第6回学術集会あいち大会, 2000. 12 (名古屋)

浅野みどり, 今西洋子, 岡田由香, 三浦清世美, 野崎祐子, 島田 静, 友田尋子
子どものサインへの感受性と援助-子どもの視点から- (抄録集 pp 166-167, 2000)
日本子どもの虐待防止研究会第6回学術集会あいち大会, 2000. 12 (名古屋)

浅野みどり, 杉浦太一, 石黒彩子
気管支喘息児のQOL評価票-信頼性・妥当性の検討- (講演集 p 303, 2000)
第20回看護科学学会学術集会, 2000. 12 (東京)

石黒彩子, 浅野みどり, 三浦清世美, 土井まつ子, 杉浦太一
在宅療養中の気管支喘息学童のQOL調査-低得点群の状況を中心に- (日本小児看護学会誌 9: 148-149, 2000)
第10回日本小児看護学会, 2000. 7 (東京)

長内宏之, 早川 誠, 土岐幸生, 伊藤隆之, 奥村健二
アスコルビン酸は, イヌ腸骨動脈において, イントラリピッド投与による虚血後血管拡張障害を改善する
第29回日本心脈管作動物質学会 2000. 2 (名古屋)

MATSUI Hideo, HAYASHI Kazunori, KAMIYA Hiroki, SABURI Yoshinori, TOKI Yukio, ITO Takayuki,
OKUMURA Kenji
Adverse effects of dietary fish oil supplementation against doxorubicin-induced cardiomyopathy
49th Annual Scientific Session of American College of Cardiology 2000. 3 (Anaheim, USA)

SUZUKI Tomonori, TOMIDA Takahito, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki, OKUMURA Kenji, SONE
Takahito, TSUBOI Hideyuki, KONDO Junnichi, KOSOKABE Tai
Endothelial nitric oxide synthase gene polymorphism is positively associated with in-stent restenosis
49th Annual Scientific Session of American College of Cardiology 2000. 3 (Anaheim, USA)

松井英夫, 奥村健二, 鈴木智理, 林 和徳, 土岐幸生, 伊藤隆之
LDL粒子サイズに対するコレステロールエステル転送蛋白(CETP)1450V 遺伝子多型の関与
第64回日本循環器学会総会・学術集会 2000. 3 (大阪)

奥村健二, 神谷宏樹, 山田道治, 間渕由紀夫, 平 健司, 松井英夫, 土岐幸生, 伊藤隆之
 β 3 アドレナリン受容体, Plasminogen activator inhibitor (PAI)-1の遺伝子多型とLDL粒子サイズとの関連
第64回日本循環器学会総会・学術集会 2000. 4 (大阪)

原田光徳, 長内宏之, 富田崇仁, 土岐幸生, 奥村健二, 沼口 靖, 伊藤隆之
プロスタサイクリン合成酵素遺伝子導入は家兎動脈硬化モデルにおけるin-stent restenosisを抑制する-管内皮再生に
対する効果-
第64回日本循環器学会総会・学術集会 2000. 4 (大阪)

片岡秋子, 北川裕子, 渡邊憲子

ICUにおける患者の心のケアのために－足部マッサージの生理学的比較検討－（収録集 p 136, 2000）
第27回日本集中治療医学会，2000. 3（名古屋）

片岡秋子

ICUにおける患者の精神面へのケア－モニタリングと看護的ツールの活用（収録集 p 103, 2000）
第27回日本集中治療医学会，2000. 3（名古屋）

片岡秋子

気道熱傷患者の重症度判定法の考案（収録集 p 112, 2000）
第2回日本救急看護学会学術集会，2000. 11（東京）

前川厚子，吉田和枝，吉田久美子，渡邊あゆみ，神里みどり，安藤詳子，安田道子
がんの認識をもつウロストミー保有者の心理（抄録集 p 37, 2000）
第14回日本がん看護学会 2000. 2（大阪）

吉田和枝，前川厚子，安藤詳子，渡邊憲子

ストーマ閉鎖後に消化管外瘻が出現したクローン病患者の管理（抄録集 p 44, 2000）
第17回ストーマリハビリテーション学会 2000. 2（新潟）

伊藤美智子，積 美保子，太田啓子，富田真佐子，前川厚子

医療不信が強く、看護依存度が高いオストメイトの在宅療養支援（抄録集 pp 135-136, 2000）
東京ストーマリハビリテーション研究会 2000. 3（東京）

古澤恭子，前川厚子，水堀利絵，渡邊裕子，畑尾正彦

障害老人日常生活自立度による高齢オストメイトの生活状況（抄録集 pp 132-133, 2000）
東京ストーマリハビリテーション研究会 2000. 3（東京）

MAEKAWA Atsuko, YOSHIDA Kazue, ANDO Shoko, ITO Michiko, SEKI Mihoko, TAKAZO Masakazu

Psychological aspects of patients with ostomy/fistula due to Chron's Disease. (Abstract, p 42, 2000)
13th Biennial Congress of the World Council of Enterostomal Therapists. 2000. 6 (Singapore)

MAEKAWA Atsuko, KAMIZATO Midori, SHIBUYA Masako

Development of ostomate's self adjustment scale (Abstract, p 74, 2000)
11th International Society of Nurses in Cancer care. 2000. 8 (Oslo, Norway)

塩見美幸，堀 文子，内海みよ子，三浦清世美，藤井千恵，浅野みどり，石黒彩子

小児臨床実習における遊びの援助の実態と学生の学び 第二報 遊びの援助から学んだこと（日本小児看護学会誌
9：180-181, 2000）
第10回日本小児看護学会，2000. 7（東京）

堀 文子，塩見美幸，内海みよ子，三浦清世美，藤井千恵，浅野みどり，石黒彩子

小児臨床実習における遊びの援助の実態と学生の学び 第一報 受持患児への遊びの援助の実態（日本小児看護学会
誌 9：178-179, 2000）
第10回日本小児看護学会，2000. 7（東京）

鈴木堅一, 渡辺芳夫, 山下一味, 神谷やす子, 林 るみ子, 浅井普久子, 宮沢裕子, 河合亮子, 益満留美, **三浦清世美**, 水野智恵子, 坂戸尚子, 永利紀美子

名大小児外科病棟における環境改善の試み (抄録集 p 9, 2000)

第1回子ども療養環境研究発表会, 2000. 6 (名古屋)

田中直子, 原 紳也, 林 直美, 星野 洋, 伊藤嘉規, 杵山正浩, 木村 宏, 西川和夫, **森島恒雄**

baculovirusにより発現したcytomegalovirus(CMV)pp65 CMV特異的免疫能の検討

第103回日本小児科学会, 2000. 4 (和歌山)

木村 宏, 星野 洋, 柘植郁哉, **森島恒雄**

慢性活動性EBV感染症29例のウイルス学的・臨床学的解析

第10回ヘルペスウイルス研究会, 2000. 5 (東京)

原 紳也, 林 直美, 星野 洋, 田中直子, 木村 宏, 西川和夫, **森島恒雄**

小児血清中 α ヘルペス属DNAの検出について

第15回ヘルペスウイルス研究会, 2000. 6 (札幌)

森島恒雄

ワークショップ: ウイルスから見た急性脳炎・脳症 - 現状と展望 -

第42回日本小児神経学会, 2000. 6 (大阪)

林 直美, 原 紳也, 星野 洋, 田中直子, 伊藤嘉規, 杵山正浩, 木村 宏, 森 英一, 葛島清隆, 長坂徹郎, **森島恒雄**

EBウイルスによる重症肝障害の一例

小児肝臓研究会, 2000. 7 (名古屋)

KIMURA Hiroshi, HOSHINO Yo, TSUGE Ikuya, **MORISHIMA Tsuneo**

Virological and clinical analyses of severe chronic active Epstein-Barr virus infection

25th International Herpes Virus Workshop, 2000. 7 (Portland, USA)

HARA Sinya, TANAKA Naoko, KIMURA Hiroshi H, HOSHINO Yo, KATO Koji, Horibe Keizo, KOJIMA Seiji,

MORISHIMA Tsuneo, Asano Yosizo, Yoshikawa Tetsushi

Monitoring four herpes viruses in unrelated cord blood transplantation

25th International Herpes Virus Workshop, 2000. 7 (Portland, USA)

MORISHIMA Tsuneo

Hepatitis A

Symposium: Viral Hepatitis. 1st World Congress of Pediatric Gastroenterology and Nutrition. S, 2000. 8 (Boston, USA)

川田潤一, 星野 洋, 原 紳也, 田中直子, 杵山正浩, 木村 宏, **森島恒雄**, 葛島清隆, 鶴見達也, 関根暉彬

慢性活動性ウイルス感染症における活性化T細胞療法の検討

第36回中部日本小児科学会, 2000. 8 (名古屋)

田中直子, 林 直美, 原 紳也, 星野 洋, 木村 宏, 瀬尾孝彦, 安藤久實, 小林孝彰, 横山逸男, 中尾昭公, **森島恒雄**

生体肝移植に伴うウイルス感染症のモニタリングについて
第6回東海小児肝疾患研究会, 2000. 9 (東京)

星野 洋, 木村 宏, 葛島清隆, 田中直子, 鶴見達也, **森島恒雄**
慢性活動性EBV感染症におけるEBV特異的CD8+Tcellの解析
第48回日本ウイルス学会, 2000. 10 (津)

田中直子, 原 紳也, 星野 洋, 杵山正浩, 木村 宏, 西川和夫, **森島恒雄**
baculovirusにより発現したcytomegalovirus(CMV)pp65蛋白を用いたCMV特異的免疫能の検討
第48回日本ウイルス学会学術集会, 2000. 10 (津)

森島恒雄, 他 厚生省インフルエンザ脳炎・脳症研究班
インフルエンザ脳炎・脳症全国調査
第48回日本ウイルス学会, 2000. 10 (津)

原 紳也, 林 直美, 星野 洋, 田中直子, 木村 宏, 西川和夫, 吉川哲史, 大橋正博, 浅野喜造, **森島恒雄**
小児血清中のヘルペス属ウイルスDNAの検出について
第32回日本小児感染症学会, 2000. 11 (東京)

林 直美, 原 紳也, 星野 洋, 田中直子, 木村 宏, **森島恒雄**
生体肝移植におけるreal-time PCR法によるヘルペス属ウイルス感染のモニタリング
第32回日本小児感染症学会, 2000. 11 (東京)

森田せつ子
母子健康手帳交付時における市町村の対応 (抄録集 p 8, 2000)
第18回愛知県母性衛生学会, 2000. 5 (名古屋)

森田せつ子, 片島智子, 野田みや子
母親教室が及ぼす出産後の友好関係 (抄録集 p 41, 2000)
日本母性衛生学会, 2000. 9 (岐阜)

森田せつ子
月経周期に伴う自覚的睡眠感の変動 (抄録集 p 41, 2000)
日本母性衛生学会, 2000. 9 (岐阜)

森田せつ子
世代の相違による母親間の育児ストレスの検討 (抄録集 p 1, 2000)
日本家政学会家族関係部会セミナー, 2000. 9 (名古屋)

KOYANO Yasuko, IWAI Ikuko, ISHIDA Masahiro, KAHALU Chie, SATO Noriko, TSUJIMOTO Yoshiko, TOBA Katuko, TOYOMASU Keiko, **NAKAKI Takao**, HIGUCHI Norio, **KATSUYAMA Kimiko**, SHITAYA Emi
A comparison of cognition among nurse working in psychiatric wards with nurse in other clinical wards as to the

provision of medical information to patients(Annual report. St.Luke's College of Nursing, WHO Collaborating Centre for Nursing Development in Primary Health Care 1: 20, 2000)
22nd Academic Conference, Japan Society for POS Health Care, 2000. 3 (Yokohama)

豊増佳子, 岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 小谷野康子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, **中木高夫**, 樋口範雄, **勝山貴美子**, 下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－国民／患者（非医療従事者）を対象として（抄録集 p 57, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

中木高夫, 岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 小谷野康子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, 豊増佳子, 樋口範雄, **勝山貴美子**, 下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－医師・歯科医師を対象として（抄録集 p 58, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

石田昌宏, 岩井郁子, 豊増佳子, 香春知永, 小谷野康子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, **中木高夫**, 樋口範雄, **勝山貴美子**, 下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－薬剤師を対象として（抄録集 p 59, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

佐藤紀子, 岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 小谷野康子, 豊増佳子, 辻本好子, 鳥羽克子, **中木高夫**, 樋口範雄, **勝山貴美子**, 下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－看護婦・士を対象として（抄録集 p 60, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

小谷野康子, 岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 豊増佳子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, **中木高夫**, 樋口範雄, **勝山貴美子**, 下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－精神科看護婦・士を対象として（抄録集 p 61, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

下谷恵美, 岩井郁子, 石田昌宏, 香春知永, 小谷野康子, 佐藤紀子, 辻本好子, 鳥羽克子, **中木高夫**, 樋口範雄, 豊増佳子, **勝山貴美子**
医療への患者参加を促進する情報提供に関する実態調査－診療情報管理士を対象として（抄録集 p 62, 2000）
第22回日本POS医療学会大会, 2000. 3（横浜）

大村いづみ, 古田恵子, 松下美恵, **中木高夫**, **渡邊順子**, **飯田美代子**
母性看護学実習における産褥期アセスメントツールの検討（抄録集 p 19, 2000）
第4回日本看護研究学会東海地方会学術集会, 2000. 1（横浜）

任 和子, 津田謹輔, 中井義勝, 谷口 中, 酒井正彦, 福島光夫
糖尿病の療養に関する困難へのコーピングについて（糖尿病 43(Suppl.): s 233, 2000）
第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000. 5（名古屋）

任 和子, 中井義勝, 森本昌親

糖尿病に関連した日常生活のストレスと糖尿病燃えつき状態について (心身医学 41(2) : 137, 2000)
第41回日本心身医学会総会シンポジウム, 2000. 6 (東京)

藤崎 郁, 任 和子, 頼田奈津子

現任教育における模擬患者を使った参加型学習方略の教育効果 (看護診断 5(2) : 83-84, 2000)
第6回日本看護診断学会学術大会, 2000. 6 (大津)

任 和子, 中木高夫, 江藤真紀, 藤井千恵

基礎看護学における Bedside Learning の新しい方法 (日本看護教育学会誌 10(2) : 126, 2000)
第10回日本看護教育学会学術集会, 2000. 8 (神戸)

任 和子, 津田謹輔, 谷口 中, 中井義勝, 酒井正彦, 奥村裕英, 福島光夫

2型糖尿病患者のストレス コーピングと血糖コントロールの関連
第37回日本糖尿病学会近畿地方会, 2000. 11 (大津)

西川晶子, 安藤詳子, 前川厚子

看護職員の喫煙行動が健康に及ぼす影響 (講演集 pp 72-73, 2000)
第20回日本看護科学学会学術集会, 2000. 12 (東京)

YAMADA Shin'ya, **SAKAKIBARA Hisataka**

Occupational disease by hand-arm vibration – Relation between characteristics of case and kind of tool –.
(Proceedings. pp 211-220, 2000)
9th International Meeting of Low Frequency Noise and Vibration, 2000. 5 (Aalborg, Denmark)

SAKAKIBARA Hisataka, LUO Jin, ZHU Shan-Kuan

Physiological effect of vibration intensity and repetitive exposure on finger blood flow. (Proceedings. pp 175-183, 2000)
8th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2000. 8 (Naha)

YAMADA Shin'ya, **SAKAKIBARA Hisataka**

Characteristics of clinical feature in vibration disease in the course of duty by kind of tool. (Proceedings. pp 164-174, 2000)
8th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2000. 8 (Naha)

MAEDA Setsuo, **SAKAKIBARA Hisataka**, YONEKAWA Yoshiharu

Thermotactile threshold testing – Part 1: measurement conditions. (Abstract. pp 29-30, 2000)
International Workshop: Diagnosis of Injuries Caused by Hand-transmitted Vibration, 2000. 9 (Southampton, England)

SAKAKIBARA Hisataka, MAEDA Setsuo, YONEKAWA Yoshiharu

Thermotactile threshold testing – Part 2: screening of vibration-induced neuropathy. (Abstract. pp 31-32, 2000)
International Workshop: Diagnosis of Injuries Caused by Hand-transmitted Vibration, 2000. 9 (Southampton, England)

YAMADA Shin'ya, FUTATSUKA Makoto, HARADA Noriaki, **SAKAKIBARA Hisataka**

Clinical symptoms from exposure to hand-transmitted vibration taking age and vibration exposure into consideration. (Abstract. pp 9-10, 2000)

International Workshop: Diagnosis of Injuries Caused by Hand-transmitted Vibration, 2000. 9 (Southampton, England)

TOIBANA Norikuni, ISHIKAWA Nobuhide, **SAKAKIBARA Hisataka**

Measurement of manipulative dexterity in patients with hand-arm vibration syndrome. (Abstract. pp 55-56, 2000)

International Workshop: Diagnosis of Injuries Caused by Hand-transmitted Vibration, 2000. 9 (Southampton, England)

榊原久孝, 近藤高明

振動強度の手指血流に与える影響 (産業衛生学雑誌 42 (特別増刊号) : 530, 2000)

第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (北九州)

榊原久孝, 樋端規邦

振動障害患者の手指巧緻性と末梢神経障害 (抄録集 p 46-47, 2000)

平成12年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2000. 11 (岐阜)

玉里八重子, 森田せつ子, 飯田美代子, 前嶋七海, 美濃祐紀子

インターネットによるツインの情報に関する検討 (抄録集 p 282, 2000)

第41回日本母性衛生学会, 2000. 9 (岐阜)

平柳 要, 渡邊順子, 岩崎賢一, 山口喜久, 宮本 晃, 谷島一嘉

14日間の6°ヘッドダウンベッドレストにおける自覚症状とパフォーマンスについて (抄録集 pp 464-465, 2000)

第41回日本人間工学会, 2000. 6 (東京)

渡邊順子

連続14日間のベッドレストにおける体圧分布状況-6度ヘッドダウン測定と比較- (抄録集 p 383, 2000)

第26回日本護研究学会, 2000. 7 (千葉)

西村広美, **吉田久美子**

虐待防止ネットワーク構築における保健婦の役割-彦根市虐待防止ネットワーク委員会活動を通して- (講演集 pp 256-257, 2000)

第22回全国地域保健婦学術研究会, 2000. 9 (青森)

[公開講座・講演会]

浅野みどり

家族看護学の理論と今後の展望

愛知県看護協会平成12年度家族看護研修会, 2000. 7 (名古屋)

浅野みどり

新生児・乳児と親への発達援助－看護職としてどう関わるか－（平成12年度初産婦訪問指導のための研修会資料集 pp 2-12, 2000）

愛知県平成12年度初産婦訪問指導のための研修会，2000. 8（名古屋）

伊藤隆之

生活習慣病と健康

桑名市生涯学習講座「タウンカレッジ」，2000. 10（桑名）

伊藤隆之

高血圧とその予防

JICA研修コース「生活習慣病予防対策」，2000. 10（名古屋）

伊藤隆之

高血圧の治療－最新的话题を中心に－

名古屋市名東区医師会学術講演会，2000. 3（名古屋）

森島恒雄

教育講演：乳幼児期の肝障害とウイルス

第103回日本小児科学会，2000. 4（和歌山）

森島恒雄

教育講演：インフルエンザ脳炎・脳症に取り組む

第30回日本小児科学会セミナー，2000. 10（大阪）

森田せつ子

母性・小児看護学について

愛知県看護協会進学支援講座，2000. 8（名古屋）

任 和子

生活習慣病予防とストレス

健康管理自己啓発講座，2000. 7（大阪）

榊原久孝

振動障害対策の最近の動向について

高知振動障害研究会，2000. 3（中村）

榊原久孝

生活習慣病について

蛭川村はつらつ健康セミナー，2000. 8（岐阜県蛭川村）

榊原久孝

みんなで支える健康づくり

江南市健康ボランティア養成講座，2000. 10（江南）

榊原久孝

健康21について

飯田下伊那地区国保事務・衛生事務・保健業務三者合同研修会，2000.11（飯田）

渡邊順子

皮膚統合性障害

第6回日本看護診断学会学術大会ワークショップ，2000.6（大津）

渡邊順子

やってなるほど！ポジショニングスキルの基本と実際

創傷ケアワークショップ スミス・アンド・ネフュー，2000.9（大阪）

渡邊順子

やってなるほど！ポジショニングスキルの基本と実際

創傷ケアワークショップ スミス・アンド・ネフュー，2000.9（東京）

吉田久美子

幼児虐待と子どもの人権

滋賀県保育協議会 保育園長研修会，2000.4（大津）

吉田久美子

幼児虐待と子どもの人権

滋賀県保育協議会 主任保育士研修会，2000.5（大津）

放射線技術科学専攻

〔著書〕

金澤寛明

呼吸器系

『ロス&ウィルソン健康と病気のしくみがわかる解剖生理学』西村書店，2000．pp 258-287（原書 WILSON Kathleen J.W. and WAUGH Anne: Anatomy and physiology in health and illness, 8th ed, New York, Churchill Livingstone, 1996）

前田尚利

核医学手法による局所心筋収縮の測定

『技術予測レポート：21世紀に期待される技術－その将来展望 第4巻 バイオテクノロジー編』日本ビジネスレポート，2000．pp 197-206

小幡康範

放射線治療技術の進歩と将来の可能性

『技術予測レポート：21世紀に期待される技術－その将来展望 第3巻 医療・健康・高齢化社会への対応技術』日本ビジネスレポート，2000．pp 217-225

田伏勝義，中村 譲

小線源治療の線源位置取得

放射線治療における小線源の吸収線量の標準測定法（佐方周防，都丸禎三，速水昭宗，西台武弘編集）通商産業研究社，2000．pp 31-40

〔原著論文〕

青山隆彦，小山修司，成田憲彦，伊藤茂樹，阿知波正剛，野口由美子

P I Nフォトダイオード線量計を使用したマルチスライスX線CT検査における胸部被曝線量の測定

日本放射線技術学会雑誌 56：1437-1446, 2000

青山隆彦，小山修司，前越 久

シンチレーション・ポイント線量計によるX線CT被曝線量の精密測定

日本放射線技術学会雑誌 56：87-94, 2000

ITOH Shigeki, IKEDA Mituru, ARAHATA Shoji, KODAIRA Takeshi, ISOMURA Takayuki, KATOH Takashi,

YAMAKAWA Kouji, MARUYAMA Kunihiro, ISHIGAKI Takeo

Lung cancer screening: minimum tube current required for helical CT

Radiology 215：175-183, 2000

IWANO Shingo, MAKINO Naoki, IKEDA Mitsuru, ITOH Shigeki, ISHIHARA Shunichi, TADAKORO Masanori,

ISHIGAKI Takeo

Videotaped helical CT images for lung cancer screening

J Comput Assist Tomogr 24：242-246, 2000

MARUYAMA Kunihiro, ISHIGUCHI Tsuneo, KATO Kayoko, **ITOH Shigeki**, SAKURAI Tsunehisa, ISHIGAKI Takeo

Stent-graft placement for pseudoaneurysm of the aorta

Radiat Med 18 : 177-185, 2000

五十嵐英夫, 三栗谷久敏, **金澤寛明**, 藤田恒夫, 松木則夫

ブドウ球菌エンテロトキシンの催吐および腸液分泌の作用機序に関する研究

国際学院埼玉短期大学研究紀要 21 : 53-61, 2000

QIAN Su, KAWACHI Hiroshi, **KANAZAWA Hiroaki**, ORIKASA Michiaki, TAKAMIYA Haruo, SHIMIZU Fujio
Renal interstitial cell infiltration in rats induced by immune reactions around proximal tubular basement membrane

Clin Exp Nephrol 4 : 201-206, 2000

KAWAURA Chiyo, HASEGAWA Seiji, HIRASHIMA Naohide, NAKANISHI Mamoru

Monosialoganglioside containing cationic liposomes with a cationic cholesterol derivative promote the efficiency of gene transfection in mammalian culture cells

Biol Pharm Bull 23 : 778-780, 2000

児玉直樹, 樋渡 圭, **小林嘉雄**, 島田哲雄, 日吉 功, 渋谷 真, 川瀬康裕, 岡本浩一郎, 福本一朗

頭部MR画像を用いたアルツハイマー型痴呆客観的診断法の基礎研究

電気通信学会技術研究報告MBE2000-55 100(330) : 17-22, 2000

SHIRAIISHI Junji, KATSURAGAWA Shigehiko, IKEZOE Junpei, MATSUMOTO Tsuneo, KOBAYASHI Takeshi, KOMATSU Kenichi, MATSUI Mitate, FUJITA Hiroshi, **KODERA Yoshie**, DOI Kunio

Development of a digital image database for chest radiographs with and without a lung nodule : Receiver operating characteristic analysis of radiologists' detection of pulmonary nodules

Am J Roentgenol 74 : 71-74, 2000

片倉俊彦, 村松禎久, **小山修司**, 大久敏弘, 佐々木清昭, 鈴木憲二, **津坂昌利**, 前越 久, 村上克彦, 清野真也

X線CTの撮像線量<その1>

コニカX-レイ写真研究 254 : 56-67, 2000

片倉俊彦, 村松禎久, **小山修司**, 大久敏弘, 佐々木清昭, 鈴木憲二, **津坂昌利**, 前越 久, 村上克彦, 清野真也

X線CTの撮像線量<その2>

コニカX-レイ写真研究 255 : 88-97, 2000

小山修司, **青山隆彦**, 前越 久, **伊藤茂樹**

長尺シンチレーションファイバ線量計によるX線CT検査時における積分線量飽和値の測定

日本放射線技術学会雑誌 56 : 819-825, 2000

KOYAMA Shuji, **AOYAMA Takahiko**, MAEKOSHI Hisashi

Development of a scintillating fiber dosimeter for X-ray CT devices

Jpn Radiol Technol Selected Reserch Papers by Editorial Board 18 : 1-8, 2000

石口恒男, 中村仁信, 岡崎正敏, 澤田 敏, 高安幸生, 橋本 統, 林 信成, 古井 滋, 小山修司, 前越 久
肝細胞癌の動脈塞栓療法における患者と術者の被曝測定
日本医学放射線学会雑誌 60 : 15-20, 2000

HAYASHI Nobuo, **MIYAHARA Hiroshi**, MORI Chizuo
Highly precise measurement of the relative gamma-ray detection efficiency curve
J Nucl Sci and Technol 37 : 139-143, 2000

MIYAHARA Hiroshi, GATOT WURDIYANTO, NAGATA Hideaki, YOSHIDA Atsushi, YANAGIDA Katsuo, MORI Chizuo
Precise measurements of the gamma-ray emission probabilities of ¹⁸⁶Re and ¹⁸⁸Re
Appl Radiat Isotopes 52 : 573-579, 2000

HAYASHI Nobuo, **MIYAHARA Hiroshi**, MORI Chizuo, TAKEUCHI Norio, IWAMOTO Seikichi, ISHIKAWA Isamu
High accuracy measurement of the relative efficiency curve and determination of gamma-ray relative intensity for ³⁸Cl
Appl Radiat Isotopes 52 : 733-737, 2000

NADA MARNADA, **MIYAHARA Hiroshi**, UEDA Naoyoshi, HAYASHI Nobuo, IKEDA Keiichi
Precise emission probability measurement of principal gamma-rays for ⁷⁶As
Nucl Instrum Meth A450 : 270-276, 2000

宮原 洋, 成田憲彦, 富田憲一, 加藤義親, 森 千鶴夫, 百瀬琢磨, 篠原邦彦
体内放射能を想定したγ線サムピーク法による崩壊率測定とその応用
Radioisotopes 49 : 253-259, 2000

成田憲彦, 小山修司, 津坂昌利, 川浦稚代, 小林嘉雄, 田宮 正, 田伏勝義, 青山隆彦, 前越 久
骨密度測定装置における被検者の被曝線量評価法の検討
医学物理 20 : 260-263, 2000

KATO Katsuhiko, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, ISHIGAKI Takeo, NIIMI Rie, ISHIGUCHI Tsuneo, MIMURA Takeo, YAMAUCHI Kazunobu, IKEDA Mitsuru, IWATA Akira
An experimental teleradiology transmission system using a high-speed ATM backbone network
J Telemed Telecare 6 : 114-118, 2000

SATAKE Hiroko, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, SAWAKI Akiko, NIIMI Rie, ANDO Yoko, ISHIGAKI Takeo, NAGASAKA Tetsuro, FUNAHASHI Hiroomi
Role of ultrasonography in the detection of intraductal spread of breast cancer: correlation with pathologic finding and MR imaging
Eur Radiol 10 : 1726-1732, 2000

SHIMOZATO Tomohiro, **TAMIYA Tadashi**, **TABUSHI Katsuyoshi**, **KOYAMA Shuji**, YOSHIOKA Setsu, **OBATA Yasunori**, **TSUZAKA Masatoshi**, **NARITA Norihiko**, URUGA Tomoya, BAN Shuichi, NAMITO Yoshihito, IKEGAMI Toru

Evaluation of linearity for the radiophotoluminescence glass dosimeter based on monochromatic X-rays
Medical Physics (Igaku Butsuri) 20 : 151-158, 2000

田宮 正, 田伏勝義, 小山修司, 成田憲彦, 津坂昌利, 緒方良至, 小幡康範, 伴 秀一, 波戸芳仁
個人被ばく線量測定用蛍光ガラス線量計の放射光単色X線混合照射に対する特性について
医学物理 20 (suppl.4) : 156-159, 2000

加藤秀起, 中村光一, **津坂昌利**
CdZnTe半導体検出器のX線光子エネルギー吸収レスポンス特性
電気学会論文誌 C 120 : 1774-1780, 2000

[総説・解説・その他]

白石順二, 桂川茂彦, 土井邦雄, 池添潤平, 松本常男, 小林 健, 小松研一, 藤田広志, 松井美楯, **小寺吉衛**
標準デジタル画像データベース (胸部腫瘤陰影像) - 頒布開始1年後の再評価 -
日本放射線技術学会雑誌 56 : 370-375, 2000

小寺吉衛
画像評価の話
健康文化振興財団紀要 27 : 35-38, 2000

小山修司
診断領域X線の線量測定のキーポイント
日本放射線技術学会雑誌 56 : 909-918, 2000

島本佳寿広
体表領域におけるfusion 3Dの効果
メディカルレビュー 26 : 2-7, 2000

SHIMAMOTO Kazuhiro
Three-dimensional US examination of superficial tissues: impact of the "Fusion-3D" technique
Medical Review 72 : 6-22, 2000

島本佳寿広
超音波からみた肝腫瘤性病変の画像診断 スクリーニングから確定診断へ
臨床画像 16 : 1020-1027, 2000

石垣武男, **島本佳寿広**, 池田 充, 石原俊一, 加藤克彦
高輝度・高精細のCRTモニターの観察条件に関する研究 第1報
コニカX-レイ写真研究 51 : 98-100, 2000

池田 充, **島本佳寿広**, 石垣武男, 太田圭洋, 山内一信
特集 ここまで来たPACS PACS運用までの課題を検証する

月刊新医療 27(8) : 51-54, 2000

佐竹弘子, 石口恒男, 澤木明子, 高井勝文, 太田豊裕, **伊藤茂樹**, **島本佳寿広**, 石垣武男
最新X線CT診断の実際とそのポイント マルチスライスCT: 乳腺への応用
臨床画像 16 : 1012-1017, 2000

津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 江本 豊, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (46) : 北米放射線学会をささえるRSNAnet
臨床放射線 45 : 240-243, 2000

津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 江本 豊, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (47) : 無停電電源装置 臨床放射線 45 : 358-261, 2000

津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 江本 豊, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (48) : Webキャッシュ: 細い回線でもWebを快適に使う
臨床放射線 45 : 466-469, 2000

津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 江本 豊, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (49) : ハードディスクに関する最近の技術動向
臨床放射線 45 : 575-578, 2000

津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 江本 豊, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦
インターネット入門 (50) : CyberRad Net 2000の報告
臨床放射線 45 : 687-690, 2000

江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 古賀佑彦
インターネット入門 (51) : HTMLとXML (その1) : HTMLとブラウザ
臨床放射線 45 : 801-804, 2000

江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 古賀佑彦
インターネット入門 (52) : HTMLとXML (その2) : HTMLとwebサーバ
臨床放射線 45 : 911-914, 2000

江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 古賀佑彦
インターネット入門 (53) : HTMLとXML (その3) : XML
臨床放射線 45 : 1017-1020, 2000

江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 長嶋宏和, 古賀佑彦
インターネット入門 (54) : HTMLとXML (その4) : XMLの医療への応用
臨床放射線 45 : 1129-1132, 2000

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, **津坂昌利**, 古賀佑彦
インターネット入門 (55) : 無線LANで遠隔医療もみえてきた
臨床放射線 45 : 1239-1241, 2000

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (56): 遠隔通信 (2) 学会もインターネットに繋ごう
臨床放射線 45: 1599-1602, 2000

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦
インターネット入門 (57): 遠隔通信 (3) 学会も繋ごう
臨床放射線 45: 1695-1698, 2000

[科研費・班研究等]

青山隆彦, 小山修司

光ファイバーを用いた医用放射線計測の新手法

平成9年度～平成11年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書 1冊, 2000

田宮 正, 小幡康範, 田伏勝義, 津坂昌利, 小山修司, 成田憲彦, 緒方良至

放射光の単色X線による蛍光ガラス線量計のエネルギー依存性の検討

平成10～11年度科学研究補助金 (基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書 1冊, 2000

[その他の印刷物]

宮原 洋, 成田憲彦, 池田圭一, 加藤義親

2次元データ集積装置を用いる γ - γ 同時計測法による放射能絶対測定の見直し

JNC TN1400 2000-2003 pp 184-187, 2000

井口哲夫, 河原林順, 宮原 洋, 丹羽健夫, 鶴田隆雄, 橋本憲吾, 堀口哲男

近畿大学原子炉の炉特性の測定と利用

近畿大学原子炉等利用共同研究経過報告書 pp 8-13, 2000

MIYAHARA Hiroshi, NADA MARNADA, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, KATOH Yoshichika

Precise emission probability measurement of principal γ -rays for ^{76}As

KURRI Progress Report 1999 p 36, 2000

MIYAHARA Hiroshi, NADA MARNADA, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, KATOH Yoshichika, ICHIKAWA

Shin-ichi, TSUKADA Kazuaki, NISHINAKA Ichiro

Production of ^{111}In by proton irradiation and relative intensity determination of the 171 and 245 keV gamma-rays

JAERI-Review 2000-018 pp 53-54, 2000

[学会発表]

阿知波正剛, 野口由美子, 三宅良和, 石橋一都, 安部哲太郎, 山口 宏, 青山隆彦, 伊藤茂樹, 小山修司, 成田憲彦
マルチスライスCTの基礎的検討 (日本放射線技術学会第56回総会学術大会予稿集 p 205, 2000)

日本放射線技術学会第56回総会学術大会, 2000. 4 (横浜)

LEE Yongbum, HARA Takeshi, FUJITA Hiroshi, **ITOH Shigeki**, ISHIGAKI Takeo, **TSUZAKA Masatoshi**
Pulmonary nodule detection in helical X-ray CT images based on an improved template-matching technique.
(Radiology 217 (Suppl): 701, 2000)

86th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America (RSNA), 2000. 12 (Chicago, USA)

伊藤茂樹, 小山修司, 青山隆彦, 尾寄真浩, 佐竹弘子, 新畑昌滋, 太田豊裕, 石垣武男
肺癌検診に用いる高速螺旋CTにおける管電流可変方式の有用性
第7回胸部CT検診研究会, 2000. 1 (東京)

伊藤茂樹, 小山修司, 青山隆彦, 尾寄真浩, 池田 充, 佐竹弘子, 新畑昌滋, 太田豊裕, 石垣武男
肺癌検診に用いる高速螺旋CTにおける管電流可変方式の有用性
第127回日本医学放射線学会中部地方会, 2000. 2 (名古屋)

ITOH Shigeki, SATAKE Hiroko, SAWAKI Akiko, ARAHATA Shoji, OHTA Toyohiro, ASAI Hideaki, ISHIGUCHI Tsuneo, ISHIGAKI Takeo

Pitfall of dynamic CT diagnosis in pancreatic ductal adenocarcinoma: Correlation with histopathological findings.
(European Radiology 10 (supplement): 325, 2000)

12th European Congress of Radiology, 2000. 3 (Vienna Austria)

SATAKE Hiroko, **ITOH Shigeki**, IKEDA Mitsuru, ACHIWA Masataka, MORI Yoshine, ARAHATA Shoji, OHTA Toyohiro, ISHIGUCHI Tsuneo, ISHIGAKI Takeo

Effect of reducing contrast material by shortening the injection duration on triphasic enhancement CT of the liver.
(European Radiology 10 (supplement): 354, 2000)

12th European Congress of Radiology, 2000. 3 (Vienna Austria)

MORI Yoshine, **ITOH Shigeki**, IKEDA Mitsuru, SAWAKI Akiko, ASAI Hideaki, SATAKE Hiroko, ARAHATA Shoji, OHTA Toyohiro, ISHIGAKI Takeo

The application of subsecond helical CT to lung cancer screening. (European Radiology 10 (supplement): 346, 2000)

12th European Congress of Radiology, 2000. 3 (Vienna Austria)

伊藤茂樹, 佐竹弘子, 新畑昌滋, 太田豊裕, 石垣武男

肺癌検診に用いる高速螺旋CTにおける管電流可変方式の開発 (日本医学放射線学会雑誌 60: 93, 2000)

第59回日本医学放射線学会総会, 2000. 4 (横浜)

伊藤茂樹, 池田 充, 阿知波正剛, 奥田隆仁, 佐竹弘子, 高井勝文, 太田豊裕, 石垣武男

マルチスライスCTによる上腹部のdouble arterial scanの造影効果の検討: 造影剤の注入速度と5%糖液後押しの評価

第128回日本医学放射線学会中部地方会, 2000. 6 (岐阜)

伊藤茂樹, 太田豊裕, 奥田隆仁, 澤木明子, 佐竹弘子, 高井勝文, 石垣武男, 阿知波正剛

マルチスライスCTにおける膵胆管の描出能の検討: 動画によるMPR画像の評価

第11回医用デジタル動画像研究会，2000.10（札幌）

金澤寛明，吉江紀夫，藤田恒夫

味蕾直下の神経と血管その2（解剖学雑誌 75：86p, 2000）

第105回日本解剖学会総会・全国学術集会，2000.3（横浜）

児玉直樹，樋渡 圭，小林嘉雄，島田哲雄，日吉 功，渋谷 真，川瀬康裕，岡本浩一郎，福本一郎

アルツハイマー型痴呆客観的診断手法の基礎研究

日本放射線技術学会東北部会，2000.9（新潟県豊浦町）

小田嶋真由美，宍戸 健，上田昌宏，小寺吉衛，稲津 博，飯山清美

画像解析を用いた骨粗鬆症診断の試み

第126回医用画像情報学会平成11年度春季大会，2000.2（京都）

飯田裕香，浅野まり子，小寺吉衛

平面検出器に用いられているセレンの公害問題について

第127回医用画像情報学会平成12年度総会，2000.6（名古屋）

大塚昌彦，隅田博臣，小寺吉衛，丸橋一夫，角田 明，加藤 誠，西郷康正，大喜雅文

口腔領域におけるデジタルX線写真のピクセルサイズ最適化の検討－スキャナの特性－

第6回医用画像情報研究会サマースクール，2000.8（広島県御調町）

大塚昌彦，隅田博臣，小寺吉衛，丸橋一夫，角田 明，加藤 誠，西郷康正，大喜雅文

口腔領域におけるデジタルX線写真のピクセルサイズ最適化の検討－ROC評価－

第6回医用画像情報研究会サマースクール，2000.8（広島県御調町）

林 建佑，町田佳士，小寺吉衛，稲津 博，宮本秀幸，飯山清美

画像解析を用いた骨粗鬆症診断の研究

第128回医用画像情報学会平成12年度秋季大会，2000.10（松本）

大塚昌彦，隅田博臣，小寺吉衛，丸橋一夫，角田 明，加藤 誠，西郷康正，大喜雅文

口腔領域におけるデジタルX線写真のピクセルサイズ最適化の検討

第41回日本歯科放射線学会総会学術大会，2000.10（岐阜）

林 建佑，町田佳士，小寺吉衛，稲津 博，宮本秀幸，飯山清美

パワースペクトルを用いた骨粗鬆症診断の研究

第35回日本放射線技術学会中部部会，2000.10（金沢）

町田佳士，日比野幸子，小山修司，本間光彦，島本佳寿広，小寺吉衛，池田 充，石垣武男

シミュレーションによる輝度劣化モニタ上の結節陰影の検出能について

第35回日本放射線技術学会中部部会，2000.10（金沢）

多田昌代，飯田裕香，浅野まり子，小寺吉衛

平面検出器に用いられているセレンの公害問題について

第35回日本放射線技術学会中部部会, 2000. 10 (金沢)

隅田博臣, 大塚昌彦, 小寺吉衛, 丸橋一夫, 角田 明, 加藤 誠, 西郷康正, 大喜雅文
口腔領域におけるデジタルX線写真のピクセルサイズ最適化-第1報スキャナの特性について-
第28回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2000. 10 (千葉)

隅田博臣, 大塚昌彦, 小寺吉衛, 丸橋一夫, 角田 明, 加藤 誠, 西郷康正, 大喜雅文
口腔領域におけるデジタルX線写真のピクセルサイズ最適化-第2報ROC評価-
第28回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2000. 10 (千葉)

小山修司, 田宮 正, 津坂昌利, 成田憲彦, 西谷源展, 熊谷道朝, 前越 久
診断領域X線の線量計校正場の設定-QIの決定における諸問題について-(日本放射線技術学会中部部会誌 2:
82-83, 2000)
日本放射線技術学会中部部会平成12年度冬季研究発表会, 2000. 2 (名古屋)

小山修司, 青山隆彦, 伊藤茂樹, 阿知波正剛, 野口由美子, 山口 宏
マルチスライスX線CTの線量評価法について(日本放射線技術学会中部部会誌 2:124-125, 2000)
日本放射線技術学会中部部会平成12年度冬季研究発表会, 2000. 2 (名古屋)

野口由美子, 阿知波正剛, 石橋一都, 三宅良和, 河村美奈子, 安部哲太郎, 加藤茂生, 山口 宏, 小山修司
マルチスライスCTの基本的検討(日本放射線技術学会中部部会誌 2:126-127, 2000)
日本放射線技術学会中部部会平成12年度冬季研究発表会, 2000. 2 (名古屋)

服部真澄, 棚田信春, 酒井 功, 小山修司
magnitude image MTFによるblurring cancellationの評価(第56回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集 p 231,
2000)
日本放射線技術学会第56回総会学術大会, 2000. 4 (横浜)

服部真澄, 小山修司
Magnitude imageから求めるMTFの検討(第28回日本放射線技術学会秋季学術大会一般研究発表後抄録 p 116, 2000)
第28回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2000. 10 (千葉)

林 信夫, 藤木一雄, 宮原 洋, 竹内紀男, 岩本清吉, 石川 勇
¹³⁴Csのγ線放出率の精密測定(予稿集 p 219, 2000)
日本原子力学会2000年春の年回, 2000. 3 (松山)

NADA MARNADA, MIYAHARA Hiroshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo
Measurement of principal gamma-ray emission probabilities for ¹⁵²Os(予稿集 p 220, 2000)
日本原子力学会2000年春の年回, 2000. 3 (松山)

池田圭一, 宮原 洋, ナダ マルナダ, 林 信夫, 加藤義親
⁷⁰Gaのγ線放出率の測定(予稿集 p 221, 2000)
日本原子力学会2000年春の年回, 2000. 3 (松山)

藤木一雄, 林 信夫, 宮原 洋, 竹内紀男, 岩本清吉
精密相対 γ 線検出効率測定 of 低エネルギー側への拡大 (要旨集 p 58, 2000)
第37回理工学における同位元素研究発表会, 2000. 7 (東京)

加藤義親, 池田圭一, 宮原 洋, 成田憲彦, 百瀬琢磨, 田崎 隆, 林 直美
 γ - γ 同時計測法による体内摂取放射性物質の崩壊率測定 - ^{134}Cs について - (要旨集 p 59, 2000)
第37回理工学における同位元素研究発表会, 2000. 7 (東京)

藤木一雄, 林 信夫, 宮原 洋, 竹内紀男, 岩本清吉, 檜野良穂
 ^{152}Eu の γ 線放出率の精密測定 (要旨集 p 129, 2000)
日本原子力学会2000年秋の大会, 2000. 9 (青森)

NADA MARNADA, **MIYAHARA Hiroshi**, GATOT WURDIYANTO, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, KATO Yoshichika
Precise emission probability of 165.9 keV gamma-rays for ^{138}Ba (予稿集 p 130, 2000)
日本原子力学会2000年秋の大会, 2000. 9 (青森)

NADA MARNADA, **MIYAHARA Hiroshi**, GATOT WURDIYANTO, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, KATO Yoshichika
Precise determination of gamma-ray emission probabilities and beta-ray intensities for nuclides with relatively short half-lives
2000 Symposium on Nuclear Data, 2000. 11 (Tokai, Ibaraki)

池田豊義, 宮原 洋, ナダ マルナダ, 加藤義親, 藤木一雄, 加藤佳志
 ^{191}Ir の 328.5keV 及び 645.2keV γ 線の放出率精密測定 (要旨集 p 16, 2000)
日本原子力学会中部支部第32回研究発表会, 2000. 12 (名古屋)

成田憲彦, 小山修司, 津坂昌利, 田宮 正, 前田尚利, 小林嘉雄, 田伏勝義
HA-Mix-DP 複合体材料の有用性 (日本放射線学会中部部会雑誌 2 : 106-107, 2000)
日本放射線技術学会中部部会冬季研究発表会, 2000. 2 (名古屋)

成田憲彦, 小山修司, 津坂昌利, 田宮 正, 小林嘉雄, 田伏勝義, 前越 久
HA-Mix-DP tablet を骨等価材料とした骨密度評価用ファントムの骨密度測定 (抄録集 p 79, 2000)
第56回日本放射線技術学会総会学術大会, 2000. 4 (横浜)

廣田昌大, 佐瀬卓也, 緒方良至, 西沢邦秀
イメージングプレートを用いる甲状腺 ^{131}I in vivo モニタリング法の開発 (Proceedings. pp 89-96, 2000)
第1回環境放射能研究会, 2000. 3 (つくば)

LIU Weiqi, JIN Xiumu, YAMASHITA Hiroshi, SAZE Takuya, **OGATA Yoshimune**, NISHIZWA Kunihide
Measurement and evaluation of ^{14}C concentration in the collagen of Chinese teeth. (Proceedings, P-1a-15, 2000)
10th International Congress on Radiation Protection, 2000. 5 (Hiroshima),

SAKUMA Yoichi, NODA Mitsuyasu, **OGATA Yoshimune**, TSUJI Naruhito

Removal of impurities from environmental water samples for tritium measurement by means of liquid scintillation counter. (Proceedings, P-4a-248, 2000)

10th International Congress on Radiation Protection, 2000. 5 (Hiroshima),

佐久間洋一, 辻 成人, 緒方良至

液シンによるトリチウム測定のための電解操作の簡素化 (予稿集 p 96, 2000)

第37回理工学における同位元素研究発表会, 2000. 7 (東京)

緒方良至, 大谷暢夫, 佐久間洋一

電気分解による重水からのトリチウム分離 (予稿集 p 80, 2000)

2000日本放射化学会年会/第44回放射化学討論会, 2000. 9 (神戸)

佐久間洋一, 緒方良至, 辻 成人

液シン法による環境水中トリチウム濃度測定のための試料調製の簡素化 (予稿集 p 98, 2000)

2000日本放射化学会年会/第44回放射化学討論会, 2000. 9 (神戸)

佐久間洋一, 緒方良至, 大谷暢夫

電解法による重水中のトリチウム分離 (予稿集III p 551, 2000)

日本原子力学会2000年秋の大会, 2000. 9 (青森)

佐久間洋一, 緒方良至, 大谷暢夫

電気分解によるトリチウム分離係数の軽水と重水の比較 (予稿集 No.1, p 70, 2000)

第61回応用物理学会講演会, 2000. 9 (札幌)

島本佳寿広

パネルディスカッション「体表領域における超音波検査の新しい展開」三次元超音波診断

日本超音波医学会第14回中部地方会, 2000. 3 (名古屋)

島本佳寿広

ディベートセッション: 超音波誘導下穿刺は同一面法か交差法か

日本超音波医学会第73回学術発表会, 2000. 5 (横浜)

島本佳寿広

画像端末環境はどういう仕組みがいいのか

第2回Radinfo Nagoya, 2000. 12 (名古屋)

ISHIGAKI Takeo, SHIMAMOTO Kazuhiro, MORI Yoshine, ISHIHARA Shunichi, KATO Katushiko, IKEDA Mitsuru, KONO Michio, NAKATA Hajime, YOSHIDA Shoji, MATUMOTO Mitusomi, IKEZOE Junpei, MIYASAKA Kazuo, MURATA Kiyosi, NISHITANI Hiroshi, ANDO Yutaka, OTSUJI Hideaki, KUSUMOTO Masahiko, SASAKI Yasuo, INAMURA Kiyonari

Soft-copy images of pulmonary nodules and low contrast details: influence of monitor brightness and room illuminance on observer's performance

30th Annual Conference on Chest Disease of the Fleischner Society, 2000. 5 (Kobe)

ISHIGAKI Takeo, SHIMAMOTO Kazuhiro, IKEDA Mitsuru, KODERA Yoshie

Clinical test objects of diagnostic quality-guarantee CRT monitor based on the visual evaluation (Radiology 217 : 657 p, 2000)

Radiological Society of North America Scientific Affiliation, 2000. 11 (Chicago, USA)

田伏勝義, 田宮 正, 日比野幸子, 小山修司, 本間光彦, 下郷智弘, 成田憲彦, 小幡康範

C O-60線源を用いたチェレンコフ光の観察 (第80回日本医学物理学会学術大会報文集 pp 162-164, 2000)

第80回日本医学物理学会学術大会, 2000. 9 (東京)

日比野幸子, 田宮 正, 小山修司, 本間光彦, 田伏勝義, 小幡康範

治療用C O-60線源によるチェレンコフ光の観察 (日本放射線技術学会中部部会誌 pp 176-177, 2000)

第35回日本放射線技術学会中部部会, 2000. 10 (金沢)

田宮 正, 田伏勝義, 下郷智弘, 小山修司, 吉岡 撰, 小幡康範, 成田憲彦, 津坂昌利, 宇留賀朋哉, 伴 秀一, 波戸芳仁, 池上 徹

蛍光ガラス線量計による線量当量と光子エネルギーの関係の検討 (医学物理 20 (suppl. 2) : 33, 2000)

第79回日本医学物理学会, 2000. 4 (横浜)

田宮 正, 田伏勝義, 小山修司, 成田憲彦, 津坂昌利, 緒方良至, 小幡康範

蛍光ガラス線量計(GD-403)のX線線量指示値についての検討 (日本放射線技術学会中部部会誌 3 : 94-95, 2000)

第35回日本放射線技術学会中部部会, 2000. 10 (金沢)

津坂昌利, 小山修司, 成田憲彦, 小寺吉衛, 青山隆彦, 小幡康範

名古屋大学医学部保健学科における情報ネットワークシステムの構築 (日本放射線技術学会第56回総会学術大会予稿集 p 150, 2000)

第56回日本放射線技術学会総会学術大会, 2000. 4 (横浜)

津坂昌利, 長嶋宏和, 小山修司, 成田憲彦, 小寺吉衛, 青山隆彦, 小幡康範

インターネットとVPN技術を用いたDICOM画像通信システム (日本放射線技術学会総会第56回総会学術大会予稿集 p 245, 2000)

第56回日本放射線技術学会総会学術大会, 2000. 4 (横浜)

津坂昌利, 長嶋宏和, 島本桂寿広, 外山和男, 山口 宏

V P NによるDICOM画像通信について: 複雑な病院ネットワークへの対応 (MD X研究会第3回学術集会プログラム)

医療情報ネットワーク相互接続研究会 (MD X) 第3回学術集会, 2000. 11 (浜松)

[公開講座・講演会]

青山隆彦, 小山修司

第445回高校生のための放射線実習セミナー (日本原子力文化振興財団)

鹿児島県立国分高等学校, 2000. 3 (国分)

青山隆彦

原子力について（日本原子力文化振興財団）
一宮電気設備研究会，2000. 3（一宮）

青山隆彦，小山修司

第460回高校生のための放射線実習セミナー（日本原子力文化振興財団）
鹿児島県立錦江湾高等学校，2000. 7（鹿児島）

青山隆彦

放射線のあれこれ（日本原子力文化振興財団）
青森県原子力講座，2000. 11（青森）

青山隆彦

中学生のための放射線セミナー（日本原子力文化振興財団）
四日市市立大池中学校，2000. 11（四日市）

伊藤茂樹

放射線で体内を覗く（『放射線と人間－人に役立つ放射線』）
平成12年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2000. 9（名古屋）

KODERA Yoshie

Image quality evaluation and sensitivity of x-ray imaging system
Japan International Cooperation Agency Advanced Medical Radiological Technology Course，2000. 1（Suita）

KODERA Yoshie

Image quality evaluation
Japan International Cooperation Agency Advanced Medical Radiological Technology Course，2000. 10（Ibaraki）

小山修司

マンモグラフィにおける線量・線質について
平成11年度老人保健事業推進費等補助金「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する研究」マンモグラフィ講習会，2000. 3（京都）

ISHIGUCHI Tsuneo, NAKAMURA Hironobu, OKAZAKI Masatoshi, SAWADA Satoshi, TAKAYASU Yukio, HASHIMOTO Subaru, HAYASHI Nobushige, FURUI Shigeru, **KOYAMA Shuji**, MAEKOSHI Hisashi
Radiation exposure to patient and radiologist during transcatheter arterial embolization therapy for hepatocellular carcinoma: Multicenter study in Japan (Proceedings of the 10th International Congress of The International Radiation Protection Association P-7-27 pp 1-8, 2000)
10th International Congress of the International Radiation Protection Association, 2000. 5 (Hiroshima)

小山修司

「診断領域における線量標準測定法の確立」－標準測定法の確立－
日本放射線技術学会第16回計測・第11回放射線防護合同分科会，2000. 10（千葉）

小山修司

X線CT撮影時の被ばく線量評価の実際

日本放射線技術学会計測分科会医療被曝測定セミナー，2000.11（北九州）

小山修司

診断領域に於ける放射線測定的基础

愛知県放射線技師会平成12年度第3回研修会，2000.12（名古屋）

宮原 洋

γ 線検出効率曲線の超精密決定とその応用

原研講演会，2000.1（茨城県東海村）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会，2000.2（名古屋）

宮原 洋

放射線とRIの安全取扱の基礎

平成12年度放射線業務従事者教育訓練講習会，2000.5（名古屋）

宮原 洋

放射線と放射能

平成12年度エネルギー研究会，2000.6（名古屋）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会，2000.6（名古屋）

宮原 洋

放射線と放射能

CACエネルギー研究会・みえ，2000.10（津）

宮原 洋

放射線と放射能（『放射線と人間－人に役立つ放射線』pp 1-8）

平成12年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2000.9（名古屋）

成田憲彦

骨塩定量法の基礎と理論（『骨塩定量法の基礎と理論』20p, 2000）

日本放射線技師会 生涯教育研修：骨塩定量，2000.7（鈴鹿）

小幡康範

放射線で癌を治す（『放射線と人間－人に役立つ放射線』pp 27-36, 2000）

平成12年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2000.9（名古屋）

島本佳寿広

CRTモニターの輝度および読影環境の診断能に与える影響
第19回日本医用画像工学会大会ランチョンセミナー，2000. 8（大阪）

田宮 正

放射線による損害の認定について
日本放射線技術学会中部部会第7回放射線防護研究会，2000. 2（浜松）

田宮 正

放射線による損害の認定について
日本放射線技術学会中部部会第8回放射線防護研究会，2000. 10（名古屋）

田宮 正

医療法等について
第2回愛知県放射線技師会放射線関連機器管理責任者・放射線管理士認定制度における法令課程講習会，2000. 3（名古屋）

田宮 正

医療法等について
第3回愛知県放射線技師会放射線関連機器管理責任者・放射線管理士認定制度における法令課程，2000. 10（名古屋）

田宮 正

密封線源の安全取扱
中部原子力懇談会・放射線取扱主任者部会放射線業務従事者教育訓練講習会，2000. 5（名古屋）

田宮 正

放射線の利用と人体への影響（『放射線と人間－人に役立つ放射線』pp 17-25）
平成12年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2000. 9（名古屋）

田宮 正

エックス線安全取扱
名古屋大学アイソトープ総合センター（分館）X線の取扱講習会，2000. 10（名古屋）

検査技術科学専攻

〔著書〕

古池保雄

神経性調節とその障害

『コ・メディカルのための病態生理アトラス』（土屋 純，國井 鏡，菊池弘明編集）文光堂，2000. pp 68-71

古池保雄

筋萎縮症

『コ・メディカルのための病態生理アトラス』（土屋 純，國井 鏡，菊池弘明編集）文光堂，2000. pp 192-193

古池保雄，早河敏治

睡眠ポリグラフィー

『自律神経機能検査法』第3版 文光堂，2000. pp 258-263

小嶋哲人

14. 血液・造血器疾患，特発性血小板減少性紫病

『今日の治療指針』（日野原重明，阿部正和監修）医学書院，2000. pp 559-560

ADACHI Mitsuru, AGO Yukihiko, AKIYAMA Kazuo, BABA Minoru, EGASHIRA Yosuke, FUJIMURA Masaki, FUKUDA Takeshi, FURUSHO Kenshi, IKKURA Yoji, INOUE Hiroshi, ITO Koji, IWAMOTO Itsuo, KABE Junzaburo, KAMIKAWA Yuichiro, KAWAKAMI Yoshikazu, KIHARA Norio, KITAMURA Satoshi, KUDO Koichiro, MANO Kenji, MATSUI Takehiko, MIKAWA Haruki, MIYAGI Seishiro, MIYAMOTO Terumasa, MORITA Yutaka, NAGASAKA Yukio, NAKAGAWA Takemasa, NAKAJIMA Shigenori, NAKAZAWA Tsugio, NISHIMA Sankei, OKUBO Takao, OHTA Ken, SAKAKIBARA Hiroki, SANNO Yasuyuki, SHINOMIYA Keisuke, **TAKAGI Kenzo**, TAKAHASHI Kiyoshi, TAMURA Gen, TOMIOKA Hisao, TOYOSHIMA Kyoichiro, TSUKIOKA Kazuharu, UEDA Nobuo, YAMAKIDO Michio

Report of the Research Group for Asthma Prevention and Management Guidelines, supported by the Immunology & Allergy Research Study Project Ministry of Health and Welfare, Japan, MAKINO Sohei, FURUSHO Kenshi, MIYAMOTO Terumasa, OHTA Ken (eds): Asthma prevention and management Guidelines, 1998, Japan (JGL 1998), English version:

International Archives of Allergy and Immunology 121 (suppl. 1) S. Karger Medical and Scientific Publisher, 2000. 78p

横井豊治

呼吸器

『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 4 病理学』（梶原博毅編）医学書院，2000. pp120-132

〔原著論文〕

HOSSAIN Khaled, AKHAND A. Anwarul, KATTO Masashi, **DU Jun**, TAKEDA Kozue, WU Jianghong, TAKEUCHI Kei, LIU Wei, SUZUKI Haruhiko, NAKASHIMA Izumi

Arsenite induces apoptosis of murine T lymphocytes through membrane raft-linked signaling for activation of c-Jun amino-terminal kinase

J Immunol 165 : 4290-4297, 2000

DU Jun, SUZUKI Haruhiko, **NAGASE Fumihiko**, AKHAND A. Anwarul, YOKOYAMA Toshihiro, MIYATA Toshio, KUROKAWA Kiyoshi, NAKASHIMA Izumi

Methylglyoxal induces apoptosis in Jurkat leukemia T-cells by activating c-Jun N-terminal kinase

J Cell Biochem 77 : 333-344, 2000

DU Jun, SUZUKI Haruhiko, **NAGASE Fumihiko**, AKHAND A. Anwarul, YOKOYAMA Toshihiro, NAKASHIMA Izumi

Mercuric chloride stimulates distinct signal transduction pathway for DNA synthesis in a T Cell line, CTLL-2

J Cell Biochem 78 : 500-508, 2000

ITOH Akio, SHIOTANI Tadashi, NAKAYAMA Shinobu, MAMIYA Takayoshi, **HASEGAWA Takaaki**, NODA Yukihiro, NABESHIMA Toshitaka

Attenuation of the development of morphine dependence/tolerance by nefiracetam: involvement of adenosine 3',5'-cyclic monophosphate system

Behav Brain Res 115 : 65-74, 2000

NARUHASHI Kazumasa, NADAI Masayuki, NAKAO Makoto, SUZUKI Nagao, NABESHIMA Toshitaka,

HASEGAWA Takaaki

Changes in absorptive function of rat intestine injured by methotrexate

Clin Exp Pharmacol Physiol 27 : 980-986, 2000

ITO Hideo, NAITO Setsuko, KATO Nobuo

Disintegration of Mg²⁺-induced hexagonal assembly of an R-form lipopolysaccharide from *Klebsiella pneumoniae* by treatment with CaCl₂

Microbiol Immunol 44 : 193-196, 2000

KATO Nobuo, SUGIYAMA Tsuyoshi, NAITO Setsuko, ARAKAWA Yoshichika, **ITO Hideo**, KIDO Nobuo, OHTA Michio, SASAKI Kyoyu

Molecular structure of bacterial endotoxin (*Escherichia coli* Re lipopolysaccharide): implications for formation of a novel heterogeneous lattice structure

Molecul Microbiol 36 : 796-805, 2000

ITO Hideo, NAITO Setsuko, KATO Nobuo

Hexagonal assembly of the Magnesium salt of an R-form lipopolysaccharide from *Klebsiella pneumoniae*: its lowered stability compared with original non-electrodialyzed preparation

Microbiol Immunol 44 : 395-400, 2000

KIMURA Tomoki, **KITAICHI Kiyoyuki**, HIRAMATSU Kenji, YOSHIDA Mitsunobu, ITO Yasushi, KUME Hiroaki, YAMAKI Kenichi, SUZUKI Ryujiro, TAKAGI Kenzo

Intradermal application of nociceptin increases vascular permeability in rats: the possible involvement of histamine release from mast cells

Eur J Pharmacol 407 : 327-332, 2000

KISO Sei-ichi, HUI Cao Sai, **KITAICHI Kiyoyuki**, FURUI Naho, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, NABESHIMA Toshitaka, **HASEGAWA Takaaki**

Inhibitory effect of erythromycin on P-glycoprotein-mediated biliary excretion of doxorubicin in rats
Anticancer Res 20 : 2827-2834, 2000

KITAICHI Kiyoyuki, CHABOT Jean-Guy, MOEBIUS F. Fabien, FLANDORFER Astrid, GLOSSMANN Henry, QUIRION Remi

Expression of the purported sigma-1 receptor in the mammalian brain and its possible relevance in deficits induced by antagonism of the NMDA receptor complex as revealed using an antisense strategy
J Chem Neuroanat 20 : 375-387, 2000

KAMIYA Atsunori, IWASE Satoshi, MICHIKAMI Daisaku, FU Qi, MANO Tadaaki, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TAKAGI Kenji**

Increased vasomotor sympathetic nerve activity and decreased plasma nitric oxide release after head-down bed rest in humans: disappearance of correlation between vasoconstrictor and vasodilator
Neurosci Lett 281 : 21-24, 2000

HERSI Ali I, **KITAICHI Kiyoyuki**, SRIVASTAVA Lalit K, GAUDREAU Pierette, QUIRION Remi

Dopamine D-5 receptor modulates hippocampal acetylcholine release
Brain Res Mol Brain Res 76 : 336-340, 2000

WANG Li, **KITAICHI Kiyoyuki**, HUI Cao Sai, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, SAKAI Miyuki, YOKOGAWA Koichi, MIYAMOTO Ken-ichi, **HASEGAWA Takaaki**

Reversal of anticancer drug resistance by macrolide antibiotics in vitro and in vivo
Clin Exp Pharmacol Physiol 27 : 587-593, 2000

平山正昭, 伊藤宏樹, 家田俊明, **古池保雄**, 高橋 昭, 祖父江 元
起立性低血圧時の血液循環動態 - 組織Hbモニターによる検討 -
自律神経 37 : 76-79, 2000

長谷川康博, 白水重尚, **古池保雄**, 松岡幸彦, 高橋 昭
多系統萎縮症における心電図異常
自律神経 37 : 261-267, 2000

古池保雄, 西村 麗, 児玉佳久, 伊藤宏樹, 家田俊明, 平山正昭, 新美由紀, **野田明子**, 白水重尚, 長谷川康博
睡眠時の自律神経活動 - 効果器反応よりみた皮膚交感神経活動 -
自律神経 37 : 503-507, 2000

渡辺正樹, 新美由紀, **古池保雄**, 杉山由樹
Binswanger脳症における起立負荷時の心拍変動パワースペクトル解析
臨床神経学 40 : 551-555, 2000

平山正昭, 家田俊明, **古池保雄**, 高橋 昭, 祖父江 元
慢性自律神経不全症における食事性低血圧発現の病態 - 食事性低血圧にたいする β 1刺激薬と α 1刺激薬1ヶ月間の併

用療法－

臨床神経学 40 : 787-790, 2000

落合 淳, 若山忠士, 茂木禧昌, **古池保雄**

人工硬膜移植後11年で発症したCruetzfeldt-Jacob病の1症例

臨床脳波 42 : 551-554, 2000

落合 淳, 若山忠士, 茂木禧昌, **古池保雄**

ガドリニウム(Gd)造影により馬尾に造影効果を認めた慢性炎症性脱髄性神経炎の1例

神経内科 53 : 379-381, 2000

HISHIKAWA Nozomi, HASHIZUME Yoshio, HIRAYAMA, Masaaki, IMAMURA Kazuhiro, WASHIMI Yukihiro,
KOIKE Yasuo, MABUCHI Chiyuki, YOSHIDA Mari, SOBUE Gen

Brainsrem-type Lewy body disease presenting with progressive autonomic failure and lethargy

Clin Auton Res 10 : 139-143, 2000

HASEGAWA Yasuhiro, HAKUSUI Shigenao, IEDA Toshiaki, **KOIKE Yasuo**, MATSUOKA Yukihiro, TAKAHASHI
Akira

Clinical effects of elastic bandage on neuro-genic orthostatic hypotension

J Gravit Physiol 7 : 159-160, 2000

KOJIMA Tetsuhito

Molecular biology of ryudocan, an endothelial heparan sulfate proteoglycan

Semin Thromb Hemost 26 : 67-73, 2000

SUGIHARA Takuro, TAKAHASHI Isao, **KOJIMA Tetsuhito**, OKAMOTO Yoshihiro, YAMAMOTO Koji, KAMIYA
Tadashi, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko

Identification of plasma antibody epitopes and gene abnormalities in Japanese hemophilia A patients with factor
VIII inhibitor

Nagoya J Med Sci 63 : 25-39, 2000

KATSUMI Akira, MATSUSHITA Tadashi, YAMAZAKI Tomio, SUGIURA Isamu, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO
Hidehiko

Severe factor VII deficiency caused by a novel mutation His348 to Gln in the catalytic domain

Thromb Haemost 83 : 239-243, 2000

ISHIGURO Kazuhiro, KADOMATSU Kenji, **KOJIMA Tetsuhito**, MURAMATSU Hisako, TSUZUKI Shinobiu,
NAKAMURA Eishin, KUSUGAMI Kazuo, SAITO Hidehiko, MURAMATSU Takashi

Syndecan-4 deficiency impairs focal adhesion formation only under restricted conditions

J Biol Chem 275 : 5249-5252, 2000

IBA Kousuke, ALBRECHTSEN Reider, GILPIN Brent, FROHLICH Camilla, LOECHEL Frosty, ZOLKIEWSKA
Anna, ISHIGURO Kazuhiro, **KOJIMA Tetsuhito**, LIU Wei, LANGFORD Kevin J, SANDERSON Ralph D,
BRAKEBUSCH Cord, FASSLER Reihard, WEWER Ulla M

The cysteine-rich domain of human ADAM12 supports cell adhesion through syndecans and triggers signaling events that leads to β 1-dependent cell spreading
J Cell Biol 149 : 1143-1155, 2000

TAKAHASHI Isao, **KOJIMA Tetsuhito**, SANO Masayuki, WATANABE Takeshi, KAMIYA Tadashi, SAITO Hidehiko
Detailed characterization of an anti-factor IX monoclonal antibody that neutralizes the prolonged ox brain prothrombin time of hemophilia BM by synthetic peptides
Peptides 21 : 603-753, 2000

ISHIGURO Kazuhiro, **KOJIMA Tetsuhito**, KADOMATSU Kenji, NAKAYAMA Yukiko, TAKAGI Akira, SUZUKI Misao, TAKEDA Naoki, ITO Masafumi, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, KUSUGAMI Kazuo, MURAMATSU Takashi, SAITO Hidehiko
Complete antithrombin deficiency in mice results in embryonic lethality
J Clin Invest 106 : 873-878, 2000

NAKAYAMA Takayuki, MATSUSHITA Tadashi, HIDANO Hiroshi, SUZUKI Chizuko, HAMAGUCHI Motohiro, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO Hidehiko
Short report: a case of purpura fulminans is caused by homozygous delta8857 mutation (protein C-nagoya) and successfully treated with activated protein C concentrate
Br J Haematol 110 : 727-30, 2000

NAKAYAMA Yukiko, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAGI Akira, YAMNADA Masamitsu, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko
Cloning and characterization of the murine antithrombin gene
Thromb Res 100 : 179-183, 2000

SHIMOKAWA Takashi, YAMAMOTO Koji, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO Hidehiko
Down-regulation of murine tissue factor pathway inhibitor mRNA by endotoxin and tumor necrosis factor- α in vitro and in vivo
Thromb Res 100 : 211-221, 2000

倉科正徳

穿刺吸引細胞診における浸潤性乳管癌とくに硬癌の組織型判定とその意義
第19回日本臨床細胞学会東海連合会総会論文集 pp 14-16, 2000

KATO Hirokazu, WATANABE Kazuko, MURARI Manjura, ISOGAI Chiho, KINOSHITA Tomohiro, NAGAI Hirokazu, OHASHI Haruhiko, NAGASAKA Tetsuro, KADOMATSU Kenji, MURAMATSU Hisako, MURAMATSU Takashi, SAITO Hidehiko, MORI Naoyoshi, **MURATE Takashi**
Midkine expression in Reed-Sternberg cells of Hodgkin's disease
Leuk Lymphoma 37 : 415-424, 2000

AOKI Etsuko, UCHIDA Toshiki, OHASHI Haruhiko, NAGAI Hirokazu, MURASE Takuhei, ICHIKAWA Atsushi, YAMAOKA Kumi, HOTTA Tomomitsu, KINOSHITA Tomohiro, SAITO Hidehiko, **MURATE Takashi**

Methylation status of the p15 INK4B gene in hematopoietic progenitors and peripheral blood cell in myelodysplastic syndromes
Leukemia 14 : 586-593, 2000

UCHIDA Toshiki, OHASHI Haruhiko, AOKI Etsuko, NAKAHARA Yousuke, HOTTA Tomomitsu, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, KINOSHITA Tomohiro
Clonality analysis by methylation specific PCR for the human androgen-receptor gene
Leukemia 14 : 207-212, 2000

YUGE Masaaki, NAGAI Hirokazu, UCHIDA Toshiki, **MURATE Takashi**, HAYASHI Yasuhide, HOTTA Tomomitsu, SAITO Hidehiko, KINOSHITA Tomohiro
hSNF5/INI1 gene mutations in lymphoid malignancy
Cancer Genet Cytogenet 122 : 37-42, 2000

ZUO Ping, IZAWA Hideo, Ishiki Ryoji, **NODA Akiko**, NISHIZAWA Takao, SHIGEMURA Kazushige, NAGATA Kohzo, **IWASE Mitsunori**, YOKOTA Mitsuhiro
Differential beta-adrenergic regulation of myocardial contraction and relaxation between apical and non-obstructive hypertrophic cardiomyopathy
Am Heart J 140 : 329-337, 2000

NODA Akiko, YASUMA Fumihiko, OKADA Tamotsu, **KOIKE Yasuo**, NAKASHIMA Nobuo, YOKOTA Mitsuhiro
Age related differences in electroencephalographic and cardiac arousal at the termination of sleep apnea/hypopnea
Intern Med 39 : 375-380, 2000

NODA Akiko, YASUMA Fumihiko, OKADA Tamotsu, YOKOTA Mitsuhiro
Influence of movement arousal on circadian rhythm of blood pressure in obstructive sleep apnea syndrome
J Hypertens 18 : 539-544, 2000

野田明子, 横田充弘
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における覚醒反応と血圧概日リズム
血圧 7 : 856-857, 2000

KAMIJIMA Michihiro, **SHIBATA Eiji**, TANAKA Hisashi, ICHIHARA Gaku, TAKEUCHI Yasuhiro
Chronic occupational exposure to organic solvents and magnetic resonance signal changes in the brain white matter -a case report-
J Occup Health 42 : 47-49, 2000

SUGIURA Mariko, HAYAKAWA Ritsuko, KATO Yoshimi, SUGIURA Keiji, HASHIMOTO Rika, TAKEUCHI Yasuhiro, **SHIBATA Eiji**, YAMAKI Kenichi
Results of skin testing in the workers showing respiratory disorder
Environ Dermatol 7 : 6-10, 2000

HATTORI Yoji, ONO Yuichiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, **SHIBATA Eiji**, ANDO Shoko, HORI Fumiko, TAKEUCHI Yasuhiro

Effects of box weight, vertical location and symmetry on lifting capacities and ratings on category scale in Japanese female workers
Ergonomics 43 : 2031-2042, 2000

CHIHARA Gaku, YU Xiaozhong, KITO Junzo, ASAEDA Nobuyuki, KUMAZAWA Toshihiko, IWAI Hisakazu, **SHIBATA Eiji**, YAMADA Tetsuya, WANG Hailan, XIE Zhenlin, MAEDA Kei-ichiro, TSUKAMURA Hiroko, TAKEUCHI Yasuhiro

Reproductive toxicity of 1-bromopropane, a newly introduced alternative to ozone layer depleting solvents, in male rats
Toxicol Sci 54 : 416-423, 2000

ICHIHARA Gaku, KITO Junzo, YU Xiaozhong, ASAEDA Nobuyuki, IWAI Hisakazu, KUMAZAWA Toshihiko, **SHIBATA Eiji**, YAMADA Tetsuya, WANG Hailan, XIE Zhenlin, TAKEUCHI Yasuhiro

1-Bromopropane, an alternative to ozone layer depleting solvents, is dose-dependently neurotoxic to rats in long-term inhalation exposure
Toxicol Sci 55 : 116-123, 2000

ISAKATA Mariko, KOBAYASHI Hiroshi, SUN Guang W, MOCHIZUKI Osamu, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**
Ryudocan expression by luteinized granulosa cells is associated with the process of follicle atresia
Fertil Steril 74 : 1208-1214, 2000

島田 馨, 阿部庄作, 藤嶋卓哉, 本間昭彦, 白土邦男, 大野 勲, 高橋 誠, 石井宗彦, 前田真作, 坂本正寛, 小西一樹, 貫和敏博, 渡辺 彰, 長井弘策, 武 博明, 遅野井 健, 小林宏行, 河合 伸, 細谷龍男, 柴 孝也, 岡田和久, 工藤宏一郎, 小林信之, 佐野靖之, 中森祥隆, 小山 優, 堀内 正, 宍戸春美, 御手洗聡, 入交昭一郎, 松岡康夫, 小井戸則彦, 桜井 磐, 松本文夫, 小田切繁樹, 鈴木周雄, 綿貫祐司, 荒川正昭, 五十嵐謙一, 関根 理, 鈴木康稔, 青木信樹, 和田光一, 泉 三郎, 佐藤篤彦, 千田金吾, 早川啓史, 八木 健, 岩田政敏, 吉富 淳, 塚本克紀, 野田康信, **高木健三**, 谷口博之, 倉澤卓也, 三木文雄, 東田有智, 梅田文一, 西村尚志, 成田亘啓, 三笠桂一, 古西満, 松島敏春, 二木芳人, 沖本二郎, 狩野孝之, 副島林造, 六車 満, 河原 伸, 多田敦彦, 山木戸道郎, 保澤総一郎, 佐々木孝夫, 向野賢治, 大泉耕太郎, 木下正治, 川原正士, 河野 茂, 渡辺正実, 岡 六四, 堀 博之, 井上祐一, 藤野 了, 山本善裕, 石野 徹, 大野秀明, 奥野一裕, 福島喜代康, 永武 毅, 田尾 操, 安藤正幸, 菅 守隆, 佐藤圭創, 伊藤清隆, 土井俊徳, 坂田哲宣, 玉野井優水, 徳永勝正, 島津和泰, 岩越 一, 那須 勝, 河野 宏, 斎藤 厚, 健山正男, 大浜 篤, 久保田徹, 中島光好

細菌性肺炎に対する pazufloxacin 注射薬の臨床評価 Ceftazidime を対照薬とした臨床第III相比較試験
日本化学療法学会雑誌 48 : 433-463, 2000

島田 馨, 阿部庄作, 藤嶋卓哉, 白土邦男, 大野 勲, 坂本正寛, 小西一樹, 貫和敏博, 渡辺 彰, 新妻一直, 武田博明, 小林宏行, 河合 伸, 細谷龍男, 柴 孝也, 岡田和久, 工藤宏一郎, 小林信之, 佐野靖之, 中森祥隆, 小山 優, 堀内 正, 入交昭一郎, 松岡康夫, 小井戸則彦, 三井健司, 小田切繁樹, 鈴木周雄, 綿貫祐司, 関根 理, 青木信樹, 和田光一, 泉 三郎, 佐藤篤彦, 千田金吾, 早川啓史, 八木 健, 岩田政敏, 吉富 淳, 塚本克紀, 野田康信, **高木健三**, 谷口博之, 東田有智, 福原資郎, 津田信幸, 梅田文一, 西村尚志, 成田亘啓, 三笠桂一, 古西 満, 松島敏春, 二木芳人, 沖本二郎, 狩野孝之, 河原 伸, 多田敦彦, 山木戸道郎, 宮澤輝臣, 桑原正雄, 佐々木孝夫, 大泉耕太郎, 木下正治, 川原正士, 高本正祇, 石橋凡雄, 河野 茂, 岡 六四, 堀 博之, 井上祐一, 藤野 了, 石野徹, 東山康仁, 奥野一裕, 福島喜代康, 永武 毅, 田尾 操, 安藤正幸, 菅 守隆, 佐藤圭創, 伊藤清隆, 土井俊徳, 坂田哲宣, 徳永勝正, 福島一雄, 岩越 一, 那須 勝, 河野 宏, 斎藤 厚, 健山正男, 大浜 篤, 久保田 徹, 中

島光好

慢性気道感染症に対する pazufloxacin 注射薬の臨床評価 Ceftazidime を対照薬とした臨床第III相比較試験
日本化学療法学会雑誌 48 : 464-494, 2000

高木健三, 矢島洋一, 吉澤久雄

高齢者における pazufloxacin 注射薬の体内動態
日本化学療法学会雑誌 48 : 633-644, 2000

BABA Kenji, HATTORI Tsutomu, KOISHIKAWA Isao, YOSHIDA Kazuhito, KOBAYASHI Tadashi, **TAKAGI Kenzo**

Serum eosinophil cationic protein for predicting the prognosis of a step-down in inhaled corticosteroid therapy in adult chronic asthmatics
J Asthma 37 : 399-408, 2000

NISHIYAMA Osamu, TANIGUCHI Hiroyuki, KONDOH Yasuhiro, NISHIMURA Kouichi, SUZUKI Ryujiro, **TAKAGI Kenzo**, YAMAKI Kenichi

The effectiveness of the visual analogue scale 8 in measuring health-related quality of life for COPD patients
Respir Med 94 : 1192-1199, 2000

近藤康博, 谷口博之, **横井豊治**, 鈴木隆二郎, 鈴木 清, 野田康信, 小川賢二, 加藤 聡, 森 智弘, 金子路江, **高木健三**

外科的生検の組織学的分類に基づく膠原病随伴間質性肺炎疾患の臨床的特長と予後
日本呼吸器学会雑誌 38 : 259-266, 2000

村田哲也, 林 丘, 中山 剛, 都築豊徳, **横井豊治**, 白石泰三

肺の Langerhans cell histiocytosis の 1 例
病院病理 17 : 44, 2000

NISHIYAMA Osamu, KONDOH Yasuhiro, TANIGUCHI Hiroyuki, YAMAKI Kenichi, SUZUKI Ryujiro, **YOKOI Toyoharu**, **TAKAGI Kenzo**

Serial high resolution CT findings in nonspecific interstitial pneumonia/fibrosis
J Comput Assist Tomogr 24 : 41-46, 2000

NAKATANI Yukio, NAKAMURA Nobuo, SANO Jinyu, INAYAMA Yoshiaki, KAWANO Naomi, YAMANAKA Shoji, MIYAGI Yohei, NAGASHIMA Yoji, OHBAYASHI Chiho, MIZUSHIMA Mutsue, MANABE Toshiaki, KURODA Makoto, **YOKOI Toyoharu**, MATSUBARA Osamu

Interstitial pneumonia in Hermansky-Pudlak syndrome: significance of florid foamy swelling/degeneration (giant lamellar body degeneration) of type-2 pneumocytes
Virchows Arch 437 : 304-313, 2000

〔総説・解説・その他〕

北市清幸, 王 莉, 蔡 紹暉, 西尾祐紀, ZHAO Ying Lan, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明

マクロライド系抗生物質のP糖蛋白阻害作用：癌細胞の抗癌剤耐性およびP糖蛋白の基質となりうる薬剤の体内動態への影響

Jpn J Antibiotics 54 (Suppl. A) : 49-52, 2000

北市清幸, 王 莉, 高木健次, 高木健三, 灘井雅行, 吉住秀夫, 長谷川高明

エンドトキシンによる肝薬物代謝酵素P450活性の低下に対するNOの関与
エンドトキシン研究 3 : 157-163, 2000

清水敦哉, 小嶋哲人

遺伝子の導入「人工変異導入法（点変異、領域変異、欠失）」

血液・腫瘍科 40 (Suppl. 3) : 524-529, 2000

柳田正光, 小嶋哲人

DICと多臓器不全・治療「新しいDIC治療薬－開発の現状と展望－」

Medical Practice 17 : 297-299, 2000

小嶋哲人

MHAを来す疾患群-最近の進歩「TTPと脾臓血管内皮のアポトーシス」

血液・腫瘍科 40 : 107-110, 2000

小嶋哲人

DIC治療薬－ダナパロイドナトリウム

月刊・カレントセラピー 18(11) : 138-140, 2000

高木 明, 小嶋哲人

血友病の家系内診断

Modern Physician 20 : 837-842, 2000

高木 明, 小嶋哲人

血管内皮の機能

検査と技術 28 : 661-662, 2000

高木健三, 岩瀬三紀

肺高血圧症 最近の進歩 食事性肺高血圧症

血圧 7 : 589-593, 2000

横井豊治

肺の肉芽腫性疾患

病理と臨床 18 : 277-281, 2000

[科研費・班研究等]

長谷川高明, 高木健三, 柴田英治, 高木健次, 北市清幸

メタンフェタミン逆耐性動物モデルにおけるメタンフェタミン体内動態および脳内移行の解析

平成11年度厚生科学研究費補助金 医薬品安全総合研究事業分担報告書「規制薬物の依存メカニズムと慢性精神毒性に関する神経科学的研究」pp 32-39, 2000

古池保雄

高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班総括研究報告

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 1-3, 2000

長谷川康博, 古池保雄

食事性低血圧と老年者－文献レビュー

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 3-7, 2000

平山正昭, 伊藤宏樹, 小林(西村) 麗, 祖父江 元, 古池保雄

自律神経不全症における食事性低血圧発現の機序－特に静脈系の関与について－

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 8-12, 2000

小林(西村) 麗, 平山正昭, 伊藤宏樹, 祖父江 元, 古池保雄

睡眠時の自律神経活動－効果器反応よりみた皮膚交感神経活動－

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 13-16, 2000

伊藤宏樹, 家田俊明, 小林(西村) 麗, 祖父江 元, 平山正昭, 古池保雄

パーキンソン病の起立性低血圧－L-dopa静注の影響－

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 17-20, 2000

新美由紀, 錫村明生, 平山正昭, 家田俊明, 伊藤宏樹, 小林(西村) 麗, 浜田健介, 祖父江 元, 渡辺正樹, 真野和夫, 渡邊英夫, 古池保雄

パーキンソン病長期例の自律神経障害

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 30-33, 2000

渡辺正樹, 新美由紀, 古池保雄, 杉山由樹

立ちくらみ患者における心臓自律神経活動－心拍変動パワースペクトル解析による検討－

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 34-40, 2000

家田俊明, 平山正昭, 古池保雄, 祖父江 元

パーキンソン病を伴う自律神経不全症

平成12年度厚生科学研究費「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」班会議・公開シンポジウム報告書 pp 41-46, 2000

小嶋哲人, 門松健治, 山本晃士

Ryudocan欠失マウスの作成解析ならびにRyudocan血中濃度測定法の開発
平成10～11年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書 1冊, 2000

小嶋哲人, 山本晃士, 安部明弘

ヘパラン硫酸・Ryudocanの器官形成における機能ならびに発現制御解析
平成10～11年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 2000

小嶋哲人, 柳田正光, 中山享之, 竹下享典, 中山由紀子, 清水敦哉, 山本晃士, 松下 正, 齋藤英彦

血液流動性維持機構障害と特発性血栓症
平成11年度特定疾患調査研究費補助金(重点研究事業)研究報告書 pp 30-31, 2000

小嶋哲人, 国島伸治, 柳田正光, 中山享之, 竹下享典, 中山由紀子, 清水敦哉, 山本晃士, 松下 正, 齋藤英彦

血液流動性維持機構障害と特発性血栓症-ポジショナルクロニングによるMay-Hegglin Anomaly原因遺伝子の同定
平成11年度厚生省特定疾患血液凝固異常症調査研究報告書 pp 40-43, 2000

柴田英治

フロン代替有機溶剤の生物学的モニタリング
平成10～11年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 2000

[その他の印刷物]

長谷川高明, 竹内康浩, 高木健三, 柴田英治, 王 莉, 市原 学, 北市清幸

内分泌かく乱物質(環境ホルモン様物質)の毛髪内濃度測定確立とそのリスクアセスメントおよび疫学調査における有用性に関する研究-肝代謝薬物酵素活性に及ぼすビスフェノールAの影響について-
大和証券ヘルス財団の助成による研究業績集 第23集 pp 64-69, 2000

小嶋哲人

ヘパラン硫酸プロテオグリカン・Ryudocanノックアウトマウスの作製・解析
財団法人三共生命科学振興財団研究報告書 15: 69-74, 2000

[学会発表]

馬 秀揚, 杜 軍, 中島 泉, 長瀬文彦

活性酸素産生剤menadioneによるT細胞のLck非依存性ERKの活性化とアポトーシスの誘導(抄録集 p 263, 2000)
第30回日本免疫学会総会, 2000. 11(仙台)

吉原 基, 加藤昌志, 杜 軍, 伍 江紅, アカーンドアンワルルアジム, 中島 泉

N-methyl-N-nitrosoguanidinによるT細胞アポトーシス誘導のメカニズムの検討(抄録集 p 270, 2000)
第30回日本免疫学会総会, 2000. 11(仙台)

HOSAIN Khaled, AKHAND Anwarl A, KATO Masashi, DU Jun, TAKEDA Hozue, WU Jianghong, TSUBOI Hideo,

SUZUKI Haruhiko, NAKASHIMA Izumi

Arsemitic induces membrane raft-linked apoptic signals in murine thymic T lymphocytes (Abstract. p 272, 2000)
第30回日本免疫学会総会, 2000. 11 (仙台)

AKHAND Anwarl A, HOSAIN Khaled, KATO Masashi, **DU Jun**, TAKEDA Hozue, SUZUKI Haruhiko,
NAKASHIMA Izumi

Carbonyl compound-mediated signalin for MAP family kinases and caspase activation in human endothelial cells
(Abstract. p 275, 2000)

第30回日本免疫学会総会, 2000. 11 (仙台)

杜 軍, 鈴木治彦, **長瀬文彦**, 馬 秀楊, アカーンドアンワルルアジム, 中島 泉

Methylglyoxalによる活性酸素の産生及びASK1活性化とアポトーシスの誘導 (抄録集 p 268, 2000)

第30回日本免疫学会総会, 2000. 11 (仙台)

柴田尚宏, **伊藤秀郎**, 柴山恵吾, 黒川博史, 八木哲也, 荒川宜親

*Providencia rettgeri*におけるクラス1型インテグロンに担われるメタロ- β -ラクタマーゼ遺伝子の解析 (日本細菌学雑誌 55: 368, 2000)

第73回日本細菌学会総会, 2000. 5 (札幌)

岩瀬三紀, 西澤孝夫, 寺澤 求, 永田浩三, 曾村富士, 石木良治, 井澤英夫, **北市清幸**, **野田明子**, 長坂徹朗, 横田
充弘

カルモジュリン過剰発現マウスの心機能評価 (Jpn Circ J 64 (Suppl.III): 895, 2000)

第111回日本循環器学会東海地方会, 2000. 2 (名古屋)

西澤孝夫, **岩瀬三紀**, 石木良治, 曾村富士, 井澤英夫, 永田浩三, 寺澤 求, 長坂徹朗, **北市清幸**, **野田明子**, 横田
充弘

拡張型心筋症ハムスターの経時的な心機能評価 (Jpn Circ J 64 (Suppl.III): 895, 2000)

第111回日本循環器学会東海地方会, 2000. 2 (名古屋)

岩瀬三紀, **野田明子**, **北市清幸**, 西澤孝夫, 横田充弘, 長坂徹朗

エンドトキシンショックにより惹起される左室機能及び形態変化における血小板活性化因子 (PAF) の重要性 (Jpn
Circ J 64 (Suppl. I): 372, 2000)

第64回日本循環器学会学術集会, 2000. 4 (大阪)

永田浩三, 石木良治, 曾村富士, 井澤英夫, 平井真理, **岩瀬三紀**, 西澤孝夫, 横田充弘

心筋特異性カルモジュリン過剰発現マウスにおける左室機能評価の検討 (Jpn Circ J 64 (Suppl. I): 506, 2000)

第64回日本循環器学会学術集会, 2000. 4 (大阪)

IWASE Mitsunori, Wang Li, CS Hui, **KITAICHI Kiyoyuki**, **Takagi Kenji**, **HASEGAWA Takaaki**, **NODA Akiko**, Nishizawa
Takao, NAGASAKA Tetsuro, YOKOTA Mitsihiro

Platelet-activating factor plays a critical role in dynamic cardiac functional and structural alterations in the initial
phase of endotoxemia (J Heart Fail 6: 81, 2000)

7th World Congress on the Heart Failure: Mechanism and Management, 2000. 7 (Vancouver, Canada)

NISHIZAWA Takao, **IWASE Mitsunori**, SOMURA Fuji, ISHIKI Ryouji, NAGATA Kozo, TAKAGI Kenji, NAGASAKA Tetsuro, ONDA Takeshi, FUJITA Takayuki, ISHIKAWA Yoshihiro, YOKOTA Mitsuhiro
Altered β -adrenergic signaling at the onset of left ventricular dysfunction in cardiomyopathic hamster (Circulation 101 (Suppl. I) : 102-103, 2000)
74th Scientific Sessions. American Heart Association, 2000. 11 (New Orleans, USA)

SOMURA Fuji, ISHIKI Ryouji, IZAWA Hideo, TERASAWA Motomu, NAGATA Kozo, **IWASE Mitsunori**, YAMADA Yoshiji, KOIDE Masahumi, YOKOTA Mitsuhiro
Subcellular mechanisms of the biphasic force-frequency relation in patients with left ventricular hypertrophy (Circulation 101 (Suppl. I) : 625, 2000)
74th Scientific Sessions. American Heart Association, 2000. 11 (New Orleans, USA)

北市清幸, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明
メタンフェタミン逆耐性ラットにおけるメタンフェタミン体内動態および脳内移行の変化 (日本神経精神薬理学雑誌 20 : 291, 2000)
第30回日本神経精神薬理学会年会, 2000. 10 (仙台)

KITAICHI Kiyoyuki, HUI Cao Sai, NISHIO Yuki, NADAI Masayuki, **TAKAGI Kenji, SHIBATA Eiji, TAKAGI Kenzo**, ITO Masafumi, OHTA Michio, YOSHIZUMI Hideo, **HASEGAWA Takaaki**
The apoptosis induced by verotoxin-2 decreases antipyrine clearance in rats (Abstracts. p 165, 2000)
Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences, 2000. 4 (San Francisco, USA)

北市清幸, 土井悠子, Zhao Ying Lan, 岩瀬三紀, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明
K. pneumoniae LPSによって誘発される一酸化窒素過剰産生および肝薬物代謝酵素活性低下に及ぼすサイトカインの関与 (日本薬理学雑誌 117 : 33P, 2001)
第98回日本薬理学会近畿部会, 2000. 10 (岐阜)

北市清幸, 土井悠子, 王 莉, Zhao Ying Lan, 岩瀬三紀, 高木健次, 高木健三, 灘井雅行, 吉住秀夫, 長谷川高明
エンドトキシンによるNO過剰産生と肝薬物代謝酵素活性低下における各種サイトカインの関与 (要旨集 p 13, 2000)
第6回日本エンドトキシン研究会, 2000. 11 (宇都宮)

西尾祐紀, **北市清幸, 長谷川高明, 永井博式**
P糖蛋白の発現とその基質の排泄能に及ぼすエンドトキシンの影響 (要旨集 p 7, 2000)
平成12年度日本薬学会東海支部例会, 2000. 12 (岐阜)

北市清幸, 蔡 紹暉, 西尾祐紀, 灘井雅行, 伊藤雅文, 王 莉, 柴田英治, 高木健次, 高木健三, 吉住秀夫, 長谷川高明
ベロトキシン-2による肝細胞アポトーシスは顕著な肝薬物代謝酵素P450活性低下を引き起こす (要旨集4 p 41, 2000)
第120回日本薬学会年会, 2000. 3 (岐阜)

灘井雅行, 古居奈歩, **北市清幸, 宮本謙一, 太田美智男, 長谷川高明, 吉住秀夫**
腸管出血性大腸菌O-157感染症モデルラットにおけるセファレキシムとセファゾリンの吸収挙動の変化 (要旨集4 p 41, 2000)
第120回日本薬学会年会, 2000. 3 (岐阜)

杉浦龍也, 山本智美, 灘井雅行, 武田直仁, **北市清幸**, **長谷川高明**, 吉住秀夫
ビスフェノールAの体内動態とテオフィリンの血漿中濃度推移に及ぼす影響 (要旨集4 p 87, 2000)
第120回日本薬学会年会, 2000. 3 (岐阜)

NADAI Masayuki, FURUI Naho, MIYAMOTO Kenichi, **KITAICHI Kiyoyuki**, OHTA Michio, HASEGAWA Takaaki,
YOSHIZUMI Hideo
Verotoxin 2 of Escherichia coli O157 changes intestinal absorptive functions of drugs in rats (Abstracts. pp 165-166,
2000)
Millennial World Congress of Pharmaceutical Sciences, 2000. 4 (San Francisco, USA)

北市清幸, **高木健次**, **柴田英治**, **長谷川高明**, **高木健三**
マクロライド系抗生物質のP糖蛋白阻害効果による抗癌剤耐性克服作用と抗癌剤体内動態への影響
第7回マクロライド新作用研究会, 2000. 7 (東京)

OHMIYA Makoto, NITTA Atsumi, **KITAICHI Kiyoyuki**, FURUKAWA Shoei
Abnormal location and protein expression of large pyramidal neurons in the mouse cerebral cortex after
intraventricular administration of fibroblast growth factor-2 in utero (Soc Neurosci Abstr 26 : 1344, 2000)
30th Annual Meeting. The Society for Neuroscience, 2000. 11 (New Orleans, USA)

国島伸治, 井上知加子, 神谷 忠, 小澤和郎, **小嶋哲人**, 齋藤英彦, 田中敏博, 中村祐輔
連鎖解析によるMay-Hgglin Anomaly責任遺伝子座の同定 (Inter J Hematol 71 (Suppl. 1) : 52, 2000)
第62回日本血液学会, 2000. 3 (福岡)

石黒和博, 柳田正光, 中山享之, 中山由紀子, 下川高賢, 山本晃士, 松下 正, **小嶋哲人**, 齋藤英彦
ジーンターゲティングを用いたフォーカルアディージョンにおけるリュウドカンの機能解析 (Inter J Hematol 71
(Suppl. 1) : 230, 2000)
第62回日本血液学会, 2000. 3 (福岡)

ISHIGURO Kazuhiro, **KOJIMA Tetsuhito**
Syndecan-4 (Ryudocan) is a transmembrane protein with heparansulfate glycosaminoglycans. (Abstract, 2000)
15th International Congress on Fibrinolysis and Proteolysis, 2000. 6 (Hamamatsu)

山田貴之, **小嶋哲人**, **高木 明**, **村手 隆**
Long PCR法を用いた血液凝固第VIII因子遺伝子の逆位 (Inversion) 解析 (抄録集, 2000)
第23回中部検査医学会, 2000. 10 (四日市)

石黒和博, **小嶋哲人**, 松下 正, 山本晃士, 中山享之, 柳田正光, 齋藤英彦
シンデカン4 (リュウドカン) 欠損による胎盤胎児血管の障害 (日本血栓止血学会誌 11 : 475, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

小嶋哲人, **高木 明**, 山田貴之, **村手 隆**, 柳田正光, 中山享之, 山本晃士, 松下 正, 高松純樹, 齋藤英彦
Long PCR法を用いた血液凝固第VIII因子遺伝子の逆位 (Inversion) 解析 (日本血栓止血学会誌 11 : 509, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

山本晃士, 下川高賢, 柳田正光, 中山享之, 中山由紀子, 松下 正, **小嶋哲人**, 齋藤英彦
LPS投与老齡マウスにおけるPAI-1、TF発現変化と血栓傾向 (日本血栓止血学会誌 11: 478, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

竹下享典, 山本晃士, 柳田正光, 中山享之, 松下 正, **小嶋哲人**, 齋藤英彦
早期老化モデル「klotho遺伝子欠損マウス」における線溶系因子の発現と病理学的検討 (日本血栓止血学会誌 11: 479, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

清水敦哉, 柳田正光, 中山享之, 竹下享典, 中山由紀子, 山本晃士, 松下 正, **小嶋哲人**, 平井真理, 齋藤英彦
アラニンスキャニング法を用いた血小板膜蛋白GP Ib α 鎖のVWFへの結合機序の解明 (日本血栓止血学会誌 11: 443, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

清水敦哉, 柳田正光, 中山享之, 竹下享典, 中山由紀子, 山本晃士, 松下 正, **小嶋哲人**, 平井真理, 齋藤英彦
抗GP Ib α 鎖抗体を用いたGP Ib α 鎖のVWFへの結合機序の解明 (日本血栓止血学会誌 11: 443, 2000)
第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

石黒和博, 門松健治, **小嶋哲人**, 村松寿子, **岩瀬三紀**, 齋藤英彦, 村松 喬
ジーンターゲットングにより解明されたシンデカン4 (リュウドカン) の生体における機能と疾患における役割 (抄録集 p , 2000)
第23回日本分子生物学会, 2000. 12 (神戸)

倉科正徳

穿刺吸引細胞診における浸潤性乳管癌とくに硬癌の組織型判定とその意義 (抄録集 p 7, 2000)
第19回日本臨床細胞学会東海連合会総会, 2000. 3 (名古屋)

小泉恵子, **村手 隆**, 服部正嗣, 鈴木 元, 吉田松年
細胞の分化における核内レセプター、RAR α 特異的酸性スフィンゴミエリナーゼの誘導 (抄録集 p 746, 2000)
第73回日本生化学会大会, 2000. 10 (横浜)

小泉恵子, **村手 隆**, 鈴木 元, 吉田松年
全トランス-レチノイン酸による細胞の分化過程における酸性スフィンゴミエリナーゼの誘導とその意義 (抄録集 p 464, 2000)
第59回日本癌学会総会, 2000. 10 (横浜)

野田明子, 古池保雄, **岩瀬三紀**, **高木健三**, 下方 薫, 宮尾悦子, 本多久美子, 岡田 保, 横田充弘
閉塞性睡眠時無呼吸症候群治療におけるマウステープの有効性
第24回睡眠呼吸障害研究会, 2000. 2 (東京)

野田明子, 安間文彦, **高木健三**, 下方 薫, 岡田 保
中年と老年睡眠時無呼吸症候群におけるMovement arousalとEEG arousal (日本呼吸器学会誌 38: 239, 2000)
第40回日本呼吸器学会, 2000. 3 (広島)

石木良治, 曾村富士, 河村大誠, 梅田久視, 武市康志, 稲垣将文, 井澤英夫, 永田浩三, 祖父江俊和, 平井真理, 横田充弘, 西澤孝夫, **野田明子**, **岩瀬三紀**

高血圧性肥大心の非代償性過程への移行を示唆する生理学的マーカーに関する検討 (Jpn Circ J 64 (Suppl.I) : 220, 2000)

第64回日本循環器学会学術集会, 2000. 4 (大阪)

河村大誠, 井澤英夫, 曾村富士, 石木良治, 永田浩三, 祖父江俊和, 平井真理, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘
特発性拡張型心筋症の収縮性と心筋酸素消費量の検討 (Jpn Circ J 64 (Suppl.I) : 638, 2000)

第64回日本循環器学会学術集会, 2000. 4 (大阪)

野田明子, **古池保雄**, 本多久美子, 宮尾悦子, 下方 薫, 安間文彦, 岡田 保, **高木健三**, **岩瀬三紀**, 横田充弘
閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるnasal CPAP継続使用困難例について (第25回日本睡眠学会抄録集 p 140, 2000)

第25回日本睡眠学会, 2000. 6 (横浜)

武市康志, 井澤英夫, 石木良治, 磯部 智, 西澤孝夫, 曾村富士, 重村一成, 梅田久視, 河村大誠, 永田浩三, 寺澤求, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘

肥大型心筋症における運動時左室拡張末期圧二相性変化

第50回負荷研究会, 2000. 8 (東京)

井澤英夫, 武市康志, 石木良治, 磯部 智, 西澤孝夫, 曾村富士, 重村一成, 梅田久視, 河村大誠, 永田浩三, 寺澤求, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘

肥大型心筋症における運動時左室拡張末期圧二相性変化

第7回関西心不全研究会, 2000. 9 (大阪)

岩山範久, 前田憲志, **野田明子**, **高木健三**, **古池保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるBilevel positive airway pressureの有用性 (日本内科学会東海地方会抄録集 p 48, 2000)

第182回日本内科学会東海地方会, 2000. 10 (名古屋)

宮田聖子, 伊藤菜美, **野田明子**, 糸山良子, **岩瀬三紀**, 横田充弘, 本多久美子, **古池保雄**

アルコールの睡眠への影響 (日本臨床生理学会誌 30 : 93, 2000)

第37回日本臨床生理学会, 2000. 11 (奈良)

糸山良子, 本多久美子, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘, **古池保雄**

睡眠時の皮膚交感神経活動 (日本臨床生理学会誌 30 : 93, 2000)

第37回日本臨床生理学会, 2000. 11 (奈良)

TAKEUCHI Yasuhiro, ICHIHARA Gaku, KITOH Junzo, YU Xiaozhong, ASAEDA Nobuyuki, IWAI Hisakazu, KUMAZAWA Toshihiko, **SHIBATA Eiji**, YAMADA Tetsuya, WANG Hailan, XIE Zhenlin

1-Bromopropane is dose-dependently neurotoxic to rats in long-term inhalation exposure

39th Annual Meeting of Society of Toxicology, 2000. 3 (Philadelphia, USA)

市原 学, 丁 訓誠, 彭 四盟, 兪 小忠, **柴田英治**, 山田哲也, 糸原誠一朗, 王 海蘭, 菅野誠一郎, 竹内康浩

1-ブロモプロパン製造工場労働者の曝露量と健康影響に関する調査研究 (産業衛生学雑誌 42 : 489, 2000)

第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (北九州)

久保田均, 久永直見, 中村國臣, **柴田英治**, 孫 健, 上島通浩, 竹内康浩
建築業従事者における石綿含有建材の使用状況 (2) (産業衛生学雑誌 42: 499, 2000)

第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (北九州)

酒井 潔, 久永直見, **柴田英治**, 岩田全充, 今津守隆, 上島通浩, 竹内康浩
ヒト悪性中皮腫発生と肺内無機繊維の濃度およびサイズとの関係の多変量解析による検討 (産業衛生学雑誌 42: 322, 2000)

第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (北九州)

王 海蘭, 市原 学, 伊東秀記, 加藤兼房, 山田哲也, 兪 小忠, 坂谷理絵, **柴田英治**, 竹内康浩
1-ブロモプロパン亜急性曝露による中枢神経のグルタチオン、スルフヒドリル基、クレアチンキナーゼへの影響 (産業衛生学雑誌 42: 355, 2000)

第73回日本産業衛生学会, 2000. 4 (北九州)

王 海蘭, 市原 学, 伊東秀記, 加藤兼房, 兪 小忠, **柴田英治**, 竹内康浩
1-ブロモプロパン慢性曝露による中枢神経のバイオマーカーへの影響 (平成12年度日本産業衛生学会東海地方会学会講演集 pp 50-51, 2000)

平成12年度日本産業衛生学会東海地方会学会, 2000. 11 (岐阜)

ICHIHARA Gaku, YU Xiaozhong, KUMAZAWA Toshihiko, KITO Junzo, IWAI Hisakazu, **SHIBATA Eiji**,
YAMADA Tetsuya, WANG Hailan, XIE Zhenlin, MAEDA Kei-ichiro, TSUKAMURA Hiroko, TAKEUCHI Yasuhiro
Reproductive toxicity of 1-bromopropane, a newly introduced alternative to ozone-layer depleting solvents, in male rats

39th Annual Meeting of Society of Toxicology, 2000. 3 (Philadelphia, USA)

高木 明, 緒方完治, **小嶋哲人**, **村手 隆**

凝固第XIII因子活性2段測定法の開発 - インヒビターの作用機序解析に向けて - (日本検査血液学会雑誌 1: 70, 2000)

第1回日本検査血液学会, 2000. 7 (東京)

山田貴之, **高木 明**, **小嶋哲人**, **村手 隆**

GC rich 領域のLong PCR について (抄録集 p 93, 2000)

第39回中部医学検査学会, 2000. 9 (四日市)

高木 明, **小嶋哲人**, 山田貴之, **村手 隆**, 高松順樹, 齋藤英彦

血液凝固第XIII因子の遺伝子多型解析 (日本血栓止血学会誌 11: 510, 2000)

第23回日本血栓止血学会学術集会, 2000. 11 (名古屋)

佐野哲也, 平野幸伸, 長谷川祐一, 柴山 靖, 柳田光輝, 銭田良博, 張本浩平, 鈴木重行, **高木健次**, 池野倫弘
カラゲニンによる急性足部炎症に対する4℃冷刺激の影響

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

鈴木重行, 高木健次, 平野幸伸, 長谷川祐一, 佐野哲也, 柴山 靖, 柳田光輝, 銭田良博, 張本浩平, 池野倫弘
ラットを用いた外傷性急性炎症に対する中周波通電の効果判定
第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

高木健三

成人における喘息救急について

第18回救急医療シンポジウム シンポジウム「気管支喘息について」, 2000. 3 (名古屋)

谷口博之, 近藤康博, 高木健三, 鈴木隆二郎, 横井豊治

NSIPの臨床

第40回日本呼吸器学会総会 ワークショップ「NSIP」, 2000. 3 (広島)

近藤康博, 谷口博之, 高木健三, 鈴木隆二郎

ワークショップ「肺生検の問題点」

第40回日本呼吸器学会総会, 2000. 3 (広島)

谷口博之, 近藤康博, 三河健一郎, 高木健三

当院における市中肺炎入院例の評価と治療－ATSガイドラインを中心に

第40回日本呼吸器学会総会 サテライトシンポジウム「ガイドラインに沿った市中肺炎の治療－実地臨床医に聞く」,
2000. 3 (広島)

高木健三

喘息予防・管理ガイドライン概説

第29回大気汚染公害認定研究会 シンポジウム「喘息予防・管理ガイドラインについて」, 2000. 2 (名古屋)

BABA Kenji, SAKAKIBARA Ayako, NIWA Sayaka, YAGI Takeo, KOBAYASHI Tadashi, **TAKAGI Kenzo**

Long-term observation of clinical courses after the step down of inhaled corticosteroid therapy in adult chronic
asthmatics

18th International Congress of Allergology and Clinical Immunology, 2000. 10 (Sydney, Australia)

横井豊治

非腫瘍性肺疾患の病理 (抄録集 p 5-12, 2000)

第19回日本臨床細胞学会東海連合会, 2000. 3 (名古屋)

横井豊治, 近藤康博, 谷口博之, びまん性肺疾患研究会

NSIPの病理 (抄録集 p 39, 2000)

第40回日本呼吸器学会総会 ワークショップ4「NSIP」, 2000. 4 (広島)

横井豊治

間質性肺炎の病理学的検討

第77回日本呼吸器学会東海地方学会, 2000. 6 (名古屋)

YOKOI Toyoharu

Pulmonary hypertension associated with systemic lupus erythematosus.

23th International Congress of the International Academy of Pathology, 2000. 10 (Nagoya)

[公開講座・講演会]

岩瀬三紀

高血圧の治療 最近の話題： α 遮断薬を考慮して
瑞穂区医師会若手循環器研究会，2000. 3（名古屋）

岩瀬三紀

心不全における β アドレナリン作動性交感神経情報伝達
第41回名古屋循環器研究会，2000. 9（名古屋）

岩瀬三紀

高血圧の治療：最近の話題
生活習慣病講演会，2000. 10（知立）

IWASE Mitsunori

Alterations of β -adrenergic pathway in the initial development of LV dysfunction in cardiomyopathic hamster
6th Taipei-Nagoya Cardiovascular Joint Conference, 2000. 12（Taipei, Taiwan）

柴田英治

育児と環境－労働衛生の立場から－
愛知県助産婦会研修会 2000. 11（名古屋）

柴田英治

欧州における労働衛生事情とわが国の職業病について
愛知県陶磁器工業協同組合労働災害防止研修大会，2000. 11（瀬戸）

横井豊治

間質性肺炎の病理
東海胸部疾患研究会2月例会，2000. 2（名古屋）

横井豊治

呼吸器系病理組織像の読み方
愛知県臨床衛生検査技師会病理検査・細胞検査研究班合同講演会，2000. 2（名古屋）

理学療法学専攻

[著書]

猪田邦雄

外傷

『リハビリテーション医学テキスト』（三上真弘，石田 暉編集）南江堂，2000. pp 231-246

猪田邦雄，松本芳樹

骨折

『新編装具治療マニュアルー疾患別・症例別適応ー』第3版（加倉井周一，初山泰弘，渡辺英夫編集）医歯薬出版，2000. pp 191-216

石田和人，西野仁雄

神経移植による運動機能の再建

『運動の神経科学 基礎から応用まで』（西野仁雄，柳原 大編集）ナッブ，2000. pp 188-198

石村和敬，**小林邦彦**，大谷 修，門井千春，矢嶋俊彦，篠原治道，坂井建雄，齋藤紘昭，堀口正治，宮内亮輔，田口勇仁，児玉公道共訳（大谷 修監訳）

『カラー版人体解剖学ハンドブック 1』（原書 FRICK Hans, LEONHARDT Helmut, and STARCK Dietrich: Human anatomy 1, Stuttgart, Georg Thieme Verlag, 1991）西村書店，2000. 744p

島田達生，**小林邦彦**，渡辺 皓監訳

『ロス&ウィルソン健康と病気のしくみがわかる解剖生理学』（原書 WILSON Kathleen J.W. and WAUGH Anne: Anatomy and physiology in health and illness, 8th ed, New York, Churchill Livingstone, 1996）西村書店，2000. 512p

鈴木重行

痛み

『理学療法ハンドブック 第1巻 理学療法の基礎と評価』改訂第3版（細田多穂，柳澤 健編集）協同医書出版社，2000. pp 435-461

鈴木重行

小児装具ー筋萎縮症の下肢装具

『義肢装具学』第2版（川村次郎，竹内孝仁編集）医学書院，2000. pp 220-224

辻井洋一郎（監訳）丸山千晴，辻井敬子，竹下美紀翻訳

『マッスルエナジー・テクニック』（原書 CHAITOW Leon and LIEBENSON Craig: Muscle energy techniques, London, Churchill Livingstone, 1997）医道の日本社，2000. 195p

辻井洋一郎

マイオセラピー

『理学療法ハンドブック 第2巻 治療アプローチ』改訂第3版（細田多穂，柳澤 健編集）協同医書出版社，2000. pp 147-190

辻井洋一郎

マイオセラピーによる腰痛治療

『疾患別治療大百科シリーズ1 腰痛』医道の日本社, 2000. pp 151-160

辻井洋一郎

マイオセラピーによる膝痛治療

『疾患別治療大百科シリーズ2 膝関節痛』医道の日本社, 2000. pp 151-156

辻井洋一郎

マイオセラピーによる頸肩腕痛治療

『疾患別治療大百科シリーズ3 頸肩腕痛』医道の日本社, 2000. pp 181-185

[原著論文]

三嶋真爾, 高橋成夫, 杉浦博基, 長谷川幸治, 清水卓也, 近藤精司, 猪田邦雄

鏡視下前・後十字靭帯同時再建術の経験

東京膝関節学会誌 20 : 48-51, 2000

FUKUTA Hiroji, TAKAHASHI Shigeo, HASEGAWA Yukiharu, **IDA Kunio**, IWATA Hisashi

Passive terminal extension causes anterior tibial translation in some anterior cruciate ligament-deficient knees

J Orthop Sci 5 : 192-197, 2000

高橋成夫, 杉浦博基, 三嶋真爾, 清水卓也, 近藤精司, 猪田邦雄

ハムストリングを利用した鏡視下後十字靭帯再建術の成績

関節鏡 4 : 227-232, 2000

KITAKOJI Takahiko, HATTORI Tadashi, **IDA Kunio**, IWATA Hisashi

Arthrodiatasis for chondrolysis with hinge abduction: a case report

J Pediatr Orthop Part B 9 : 198-200, 2000

KAWAMURA Kikumi, YANO Katsuaki, TAKAMA Hiromichi, MATSUMOTO Yoshinari, **IDA Kunio**

Nodular lesion on the sacrococcygeal area in a bicycle rider

Br J Dermatol 143 : 1124-1126, 2000

HATAMOCHI Atsushi, NAGAYAMA Hirotohi, KURODA Kei, SHINKAI Hiroshi, ISHIKIRIYAMA Satoshi,

KOBAYASHI Miya, **KOBAYASHI Kunihiko**

Costello syndrome with decreased gene expression of elastin in cultured dermal fibroblasts

Dermatology 201 : 366-369, 2000

MIYAGAWA Atsuko, KOBAYASHI Miya, FUJITA Yoshikazu, NAKAMURA Makoto, HIRANO Koji, **KOBAYASHI**

Kunihiko, MIYAKE Yozo

Surface topology of collagen fibrils associated with proteoglycans in mouse cornea and sclera

Jpn J Ophthalmol 44 : 591-595, 2000

KOZAKI Yasuko, TADAKI Eiko, **KOEDA Tomoko**, KUMAZAWA Takao

Effects of pre-stimulus respiratory levels on the inhibitory respiratory response by nociceptive muscular afferents
Jpn J Physiol 50 : 605-613, 2000

[総説・解説・その他]

曾我部正博, 成瀬恵治, **河上敬介**, 辰巳仁史

機械刺激による細胞のリモデリング：SAチャンネルと接着斑蛋白質チロシン磷酸化
生体の科学 51 : 549-555, 2000

鈴木重行

疼痛の理学療法における課題と今後の展望

理学療法 17 : 102-106, 2000

鈴木重行

筋・筋膜機能障害に対する徒手のアプローチの理論的背景

理学療法 17 : 212-218, 2000

鈴木重行

IDストレッチングの理論と実際

理療 30 : 37-46, 2000

鈴木重行

疼痛コントロールとタッチ

理学療法 17 : 930-936, 2000

辻井洋一郎

疼痛に対する徒手のアプローチの理論的背景

理学療法 17 : 188-192, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピーの理論と基本治療

季刊マニピュレーション 15(2) : 21-28, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ① - その対象筋傷害について

医道の日本 59(6) : 83-88, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ② - 筋硬結研究の歴史的背景

医道の日本 59(7) : 69-75, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ③ - 治療原理と理論的背景 ①
医道の日本 59(8) : 79-87, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ④ - 治療原理と理論的背景 ②
医道の日本 59(9) : 114-154, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ⑤ - 検査法と治療テクニック -
医道の日本 59(10) : 83-89, 2000

辻井洋一郎

マイオセラピー ⑥ - 治療テクニック -
医道の日本 59(11) : 97-102, 2000

[科研費・班研究等]

猪田邦雄, 小林邦彦, 鈴木重行, 肥田朋子, 河村守雄, 講武芳英

関節拘縮における関節周囲組織の超微構造学的検討
平成11年度科学研究費補助金 基盤研究 (C-2) 実績報告書 1冊, 2000

河村守雄, 猪田邦雄

関節運動および不動化が実験的異所性骨化におよぼす影響
平成10年度～平成11年度文部省科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究成果報告書 1冊, 2000

[その他の印刷物]

石田和人

第20回人体解剖トレーニングセミナーに参加して
第20回人体解剖トレーニングセミナー報告書 p 21, 2000

小林邦彦

あらためて医療人 (コ・メディカル) 養成における人体解剖の必要性について
第20回人体解剖トレーニングセミナー (2000) 報告書 pp 51-52, 2000

間野忠明, 岩瀬 敏, 新美由紀, 神谷厚範, 谷島一嘉, 平柳 要, 砂川賢二, 白井支朗, 中山 淑, 伊藤隆之, 渡邊
順子, 鈴木重行, 高木健次, 北市清幸, 篠原 孝
長期微小重力暴露によるヒトの心循環系デコンディショニングの対策と評価法の確立
平成9年度選定宇宙Forum地上公募研究報告書 一冊, 2000

[学会発表]

原田 敦, 水野雅士, 竹村真理枝, 奥泉宏泰, 井上喜久男, **猪田邦雄**

ヒッププロテクターによる大腿骨頸部骨折予防試験 (抄録集 p 868, 2000)

第73回日本整形外科学会, 2000. 4 (神戸)

近藤精司, 崔 虎林, 三嶋真爾, 齋藤伸一郎, 辛島 寛, **猪田邦雄**, 清水卓也, 岩田 久

麻酔前投与で生じた三角筋麻痺の一例 (抄録集 p 106, 2000)

第27回日本肩関節学会, 2000. 11 (熊本)

石田和人, 飛田秀樹, 西野仁雄

海馬へのイボテン酸投与により出現するArgyrophil陽性ニューロンとその経過 (予稿集 p 114, 2000)

第77回日本生理学会大会, 2000. 3 (横浜)

横尾三二, 奥田峰司, 鬼武義幹, **石田和人**

骨密度と筋力について (抄録集 p 66, 2000)

第49回日本理学療法学会, 2000. 5 (名古屋)

石田和人, 飛田秀樹, 西野仁雄

海馬へのイボテン酸投与によるdark neuronの出現とその経過 (理学療法学 27 (学会特別号 2) : 93, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

石田和人, 飛田秀樹, 西野仁雄

Dark neuronは非可逆的に細胞死に至る (海馬へのイボテン酸投与による検討) (抄録集 p 251, 2000)

第23回日本神経科学大会・第10回日本神経回路学会大会合同大会, 2000. 9 (横浜)

河上敬介, 辰巳仁史, 曾我部正博

マルチイメージング顕微鏡によるインテグリン動態のライブ観察 (予稿集 p 159, 2000)

第77回日本生理学会大会, 2000. 3 (横浜)

TATSUMI Hitoshi, **KAWAKAMI Keisuke**, SOKABE Masahiro

Clustering of integrins at adhesion contact in endothelial cells studied by multimode imaging microscopy (Abstract. p 173, 2000)

3rd East Asian Biophysics Symposium, 2000. 5 (Kyongju, Korea)

河上敬介, 辰巳仁史, 曾我部正博

マルチモード顕微鏡を用いた接着斑形成過程におけるインテグリンのライブ観察 (理学療法の医学的基礎 4 : 10, 2000)

第5回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2000. 5 (鹿児島)

岩井 歩, **河上敬介**, 木山喬博, **猪田邦雄**

超音波画像診断装置による筋の定量的評価のための留意点 (予稿集 p 111, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

長谷川仁郎, 尾関真妃, 疋田桂子, **河上敬介**, **小林邦彦**
大殿筋と大腿四頭筋の筋連結 (予稿集 p 119, 2000)
第16回東海北陸理学療法士学会, 2000.11 (名古屋)

池野倫弘, 片岡幸恵, 鶴田 猛, **河村守雄**
ラットを用いた膝関節拘縮モデルの作成と定量的評価
第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

小林邦彦

解剖学教育における模型作成実習 (解剖学雑誌 75 : 160, 2000)
第105回日本解剖学会全国学術集会, 2000. 3 (横浜)

校條由紀, 小林身哉, 林 厚宏, 中山裕章, **小林邦彦**
施灸による温熱刺激の真皮細胞外マトリックスに及ぼす影響 (解剖学雑誌 75 : 146, 2000)
第105回日本解剖学会全国学術集会, 2000. 3 (横浜)

藤井徹也, **小林邦彦**

看護に必要な解剖学教育に関する研究 (解剖学雑誌 75 : 103, 2000)
第105回日本解剖学会全国学術集会, 2000. 3 (横浜)

小林身哉, 鈴木和代, 白石洋介, **小林邦彦**, 杉浦康夫
組織保護膜としての羊膜の細胞外マトリックスの微細構造と機能 (解剖学雑誌 75 : 146, 2000)
第105回日本解剖学会全国学術集会, 2000. 3 (横浜)

藤田芳和, 田中 稔, 小林身哉, **小林邦彦**

原子間力顕微鏡および電子顕微鏡による・型コラーゲン分子集合体の観察 (電子顕微鏡 35(suppl. 1) : 459, 2000)
第56回日本電子顕微鏡学会学術講演会, 2000. 5 (東京都)

鈴木和代, 小林身哉, 杉浦康夫, **小林邦彦**, 後藤節子
胎齢による卵膜の微細構造変化について—ヒトとマウスの比較 (抄録集 p 41, 2000 : Placenta 21 : A3, 2000)
第8回日本胎盤学会・第18回絨毛性疾患研究会合同シンポジウム「胎盤・卵膜の加齢」, 2000. 8 (札幌)

服部宇, 小林身哉, **小林邦彦**, FERTALA Andrzej, SIERON Aleksander L., 水谷英樹, 上田 実, PROCKOP Darwin J.

I型コラーゲン (アルファ1鎖) リコンビナント遺伝子産物の電子顕微鏡的確認
第45回日本電子顕微鏡学会シンポジウム, 2000. 11 (岡崎)

肥田朋子, 佐藤 純, 水村和枝

アジュバント関節炎動物における皮膚血流の異常と $\alpha 2$ 受容体の関与 (抄録集 p 46, 1999)
第10回日本病態生理学会, 2000. 1 (福島)

菊 一香, **肥田朋子**

患者の体力を把握することにより歩行距離が増加した慢性閉塞性肺疾患患者の一症例
第9回飛騨在宅酸素療法研究会, 2000. 2 (高山)

肥田朋子, 水村和枝

アジュバント関節炎ラットの腰部交感神経刺激による皮膚血流増加へのアドレナリン受容体の関与 (予稿集 p 118, 2000, Jpn J Physiol 50(Suppl) : S61, 2000)

第77回日本生理学会, 2000. 3 (横浜)

鈴木重行, 高木健次, 平野幸伸, 長谷川祐一, 佐野哲也, 柴山 靖, 柳田光輝, 銭田良博, 張本浩平, 池野倫弘

ラットを用いた外傷性急性炎症に対する中周波通電の効果判定 (理学療法学 27(学会特別号 2) : 10, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

浅井友詞, 内藤令子, 田中千陽, 神谷昌孝, **鈴木重行**, 松田 輝, **猪田邦雄**

6度ヘッドダウンベッドレストによる身体的変化の検討ー呼吸代謝・筋力・筋萎縮も判定よりー (理学療法学 27(学会特別号 2) : 86, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

佐野哲也, **鈴木重行**, 高木健次, 池野倫弘, 平野幸伸, 長谷川祐一, 柴山 靖, 銭田良博, 張本浩平, 柳田光輝

カラゲニンによる急性足部炎症に対する4℃冷刺激の影響 (理学療法学 27(学会特別号 2) : 168, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

松田 輝, **鈴木重行**, 池野倫弘, 張本浩平, 浅井友詞, 興紹英二

膝伸展の運動負荷に対する個別的筋ストレッチングの効果 (体力科学 49 : 914, 2000)

第55回日本体力医学会, 2000. 9 (富山)

松田 輝, 山口貴博, 伊藤範子, **鈴木重行**, 藤原孝之

肘伸展の運動負荷に対する個別的筋ストレッチングの効果 (予稿集 p 44, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

青木直子, 岩井 歩, 小竹恵理子, **鈴木重行**, 吉川羊子, 後藤百万, 大島伸一

腹圧性尿失禁患者に対するEMGバイオフィードバックの施行 (予稿集 p 44, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

西山知佐, 成瀬早苗, 有馬征宏, 岡本夏子, 渡辺智仁, **鈴木重行**

便秘教室での運動指導を振り返って (予稿集 p 77, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

張本浩平, 長谷川隆史, 有馬征宏, 日比野文昭, **鈴木重行**, 藤原孝之

Flex足部とSACH足部との比較検討 (予稿集 p 101, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

柴山 靖, 柳田光輝, 銭田良博, 佐野哲也, 長谷川祐一, 平野幸伸, 高木健次, **鈴木重行**, 池野倫弘, 張本浩平, 岩田全広

カラゲニン足部炎症における浸出液中のNO濃度変化 (予稿集 p 118, 2000)

第16回東海北陸理学療法士学会, 2000. 11 (名古屋)

[公開講座・講演会]

猪田邦雄

機能解剖からみた肩関節腱板損傷のリハビリテーション

日本リハビリテーション医学会北陸ブロック認定臨床医生涯教育研修会，2000. 2（金沢）

猪田邦雄

関節はいかに動き，壊れるか

名古屋大学総合保健体育科学センター・医学部保健学科平成12年度公開講座，2000. 7（名古屋）

猪田邦雄

骨は生きている―骨折とその治療―

河合塾主催「名古屋大学サマーフェスタ」，2000. 8（名古屋）

猪田邦雄

骨や関節の機能と障害

沼津東高校主催「大学出張講義」，2000. 9（沼津）

石田和人

理学療法の科学性・研究

愛知県理学療法士会新人教育プログラム，2000. 7（名古屋）

石田和人

筋電図による神経・筋機能の評価

社団法人日本理学療法士協会第473回短期現職者講習会，2000. 10（愛知県長久手町）

河上敬介

運動器を三次元で捉えるための解剖観察

社団法人大分県理学療法士協会研修会，2000. 2（名古屋）

河上敬介

筋解剖と触察法

社団法人岩手県理学療法士会研修会，2000. 5（岩手県雫石町）

河上敬介

骨格筋の形と触察法

平成12年度盲学校理療科担当教員講習会，2000. 7（東京）

河上敬介，磯貝 香

肩の機能解剖と運動療法

社団法人滋賀県理学療法士会研修会，2000. 7（滋賀県愛東町）

河上敬介

骨格筋の形とストレッチング

社団法人奈良県理学療法士会研修会，2000. 9（橿原）

河村守雄

意見書を書く立場から

名古屋大学医学部保健学科介護保険シンポジウム，2000. 1（名古屋）

小林邦彦

バイオテクノロジーの過去・現在・未来

長野県南安曇郡穂高町穂高区学習会，2000. 1（長野県穂高町）

小林邦彦

皮コラーゲンの組織と化学

兵庫県立工業技術センター皮革工業指導所講習会「皮革副産物の利用について」，2000. 2（姫路）

鈴木重行

世界の理学療法の動向

愛知県理学療法士会新人教育プログラム，2000. 1（名古屋）

鈴木重行

IDストレッチ

第45回名整技友会研修会，2000. 4（名古屋）

鈴木重行

IDストレッチングの理論と実際

第49回日本理学療法学会分科会，2000. 5（名古屋）

鈴木重行

IDストレッチング（個別的筋ストレッチング）

第16回静岡接骨学会特別講演，2000. 9（静岡）

鈴木重行

変形性膝関節症の最新の評価と治療－関節可動域の改善－

（社）日本理学療法士協会第35回全国研修会分科会，2000. 10（高松）

鈴木重行

IDストレッチング・上肢

第20回近畿理学療法研修会特別講演，2000. 11（大阪）

鈴木重行

拘縮の病態

平成12年度現職者講習会，2000. 11（相生）

鈴木重行

拘縮の病態と個別的（ID）ストレッチングの実際

第7回骨・関節系専門理学療法研究部会, 2000.11 (那覇)

作業療法学専攻

〔著書〕

原 和子

介助犬への作業療法的アプローチ

『介助犬トレーナーを志す人々のために』（日本介助犬アカデミー編集）日本介助犬アカデミー出版，2000. p 15

原 和子

身体障害者の作業遂行過程における介助犬の役割と課題

『介助犬トレーナーを志す人々のために』（日本介助犬アカデミー編集）日本介助犬アカデミー出版，2000. pp. 41-50

杉村公也

1. 脳・脊髄 1. 脳卒中

『コ・メディカルのための病態生理アトラス』（土屋 純，國井 鏡，菊池弘明編集）文光堂，2000. pp 80-83

杉村公也

1. 脳・脊髄 5. 多発神経炎

『コ・メディカルのための病態生理アトラス』（土屋 純，國井 鏡，菊池弘明編集）文光堂，2000. pp 92-93

杉村公也

I-1 身体障害疾患とその治療

『社会リハビリテーションの課題』（井神隆憲，杉村公也，福本安甫，鈴木國文編集）中央法規，2000. pp 2-15

杉村公也

IV-1 老化に伴う疾患と治療

『社会リハビリテーションの課題』（井神隆憲，杉村公也，福本安甫，鈴木國文編集）中央法規，2000. pp 144-156

杉村公也

IV-2 援助の現場から 1 高齢者の医療と福祉

『社会リハビリテーションの課題』（井神隆憲，杉村公也，福本安甫，鈴木國文編集）中央法規，2000. pp 157-159

杉村公也

IV-2 援助の現場から 2 高齢者医療と介護の基本的考え方

『社会リハビリテーションの課題』（井神隆憲，杉村公也，福本安甫，鈴木國文編集）中央法規，2000. pp 159-160

鈴木國文

『社会リハビリテーションの課題』（井神隆憲，杉村公也，福本安甫，鈴木國文編集）中央法規，2000. p 247

小出浩之，新宮一成，鈴木國文，小川豊昭訳

『精神分析の四基本概念』（原書 LACAN Jacques: Le seminaire de Jacques Lacan Livre 11, les quatre concepts fondamentaux de la psychanalyse, Paris, Seuil, 1973)

岩波書店，2000

〔原著論文〕

原 和子, 高柳友子, 齋藤さわ子, 土田隆政, 杉村公也
身体障害者の作業遂行過程における介助犬の役割と課題
作業療法 19 : 229-236, 2000

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke

After effect of transcutaneous electrical nerve stimulation (TENS) on somatosensory evoked magnetic fields (SEF)
Clinical Neurophysiol 111 : 717-724, 2000

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke

Vibratory stimulation of proximal muscles does not affect cortical components of somatosensory evoked potential following distal nerve stimulation
Clinical Neurophysiol 111 : 1607-1610, 2000

YAMASAKI Hiroshi, KAKIGI Ryusuke, WATANABE Shoko, **HOSHIYAMA Minoru**

Effects of distraction on pain-related somatosensory evoked magnetic fields and potentials following painful electrical stimulation
Brain Res Cogn Brain Res 9 : 165-175, 2000

ITOMI Kazuya, KAKIGI Ryusuke, MAEDA Kazuaki, **HOSHIYAMA Minoru**

Dermatome versus homunculus: detailed topography of the primary sensory cortex following trunk stimulation
Clin Neurophysiol 111 : 405-412, 2000

GUNJI Atsuko, KAKIGI Ryusuke, **HOSHIYAMA Minoru**

Spatiotemporal source analysis of vocalization associated magnetic fields
Brain Res Cogn Brain Res 9 : 157-163, 2000

GUNJI Atsuko, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke

Identification of auditory evoked potentials of one's own voice
Clin Neurophysiol 111 : 214-9, 2000

NAKAMURA Miho, KAKIGI Ryusuke, OKUSA Tomohiro, **HOSHIYAMA Minoru**, WATANABA Shoko

Effects of check size on pattern reversal visual evoked magnetic field and potential
Brain Res 872 : 77-86, 2000

伊藤恵美

地域作業療法に関する記述的研究－デンマークのローカルセンターから－
愛知作業療法 8 : 18-21, 2000

加賀谷 一

東京市療養所における作業療法成立の背景とその意義
作業療法 19 : 445-453, 2000

MIWA Chihiro, SUGIYAMA Yoshiki, MANO Tadaaki, MATSUKAWA Toshiyoshi, IWASE Satoshi, WATANABE Takemasa, KOBAYASHI Fumio
Effects of aging on cardiovascular responses to gravity-related fluid shift in humans
J Gerontol Med Sci 50A : M329-335, 2000

IWASE Satoshi, SUGIYAMA Yoshiki, **MIWA Chihiro**, KAMIYA Atsunori, MANO Tadaaki, OHIRA Yoshinobu, SHENKMAN Boris, EGOROV Anatoly I, KOZLOVSKAYA Inessa B
Effects of three days of dry immersion on muscle sympathetic nerve activity and arterial blood pressure in humans
J Auton Nerv Syst 79 : 156-164, 2000

IWASE Satoshi, YAMAMOTO Kiyohito, **MIWA Chihiro**, KAMIYA Atsunori, NIIMI Yuki, QI Fu, MANO Tadaaki
Skin sympathetic neuroeffector response is attenuated dose-dependently by sympathetic prostaglandin E1 injection in humans
Neurosci Lett 292 : 191-194, 2000

EGAWA Ken'ichi, OIDA Yukio, KITABATAKE Yoshinori, MAIE Hidetoshi, MANO Tadaaki, IWASE Satoshi, **MIWA Chihiro**
Postural modulation of soleus H-reflex under simulated hypogravity by head-out water immersion in humans
Environ Med 44 : 117-120, 2000

南 美奈子, 西岡和郎, **鈴木國文**
長いシュープの間に離人症状や行動化の見られた分裂病症例
精神科治療学 15 : 97-102, 2000

所 達也, 西岡和郎, **鈴木國文**
分裂型人格障害の1例 - 「異界」の夢と自殺企図 -
精神科治療学 15 : 329-335, 2000

鈴木國文
非定型精神病 - 意識の病という視点から -
精神科治療学 15 : 497-503, 2000

八木 深, 西岡和郎, **鈴木國文**
「カミダーリ」と抑うつ持続する症例
精神科治療学 15 : 771-777, 2000

鈴木國文
性差と神経症
精神科治療学 15 : 1045-1050, 2000

植田 恵, 笹沼澄子, 杉原素子, **田川義勝**, 荻原喜茂, 下田信明, 三井速雄
老人保健施設入所痴呆高齢者の高次脳機能ADLの特徴に関する調査研究
国際医療福祉大学紀要 4 : 79-105, 2000

山田恭子, 仮谷妃呂子, 柴田澄江, 杉村公也

自閉症児の感覚入力反応

作業療法ジャーナル 34 : 703-709, 2000

〔総説・解説・その他〕

原 和子

小説の中の作業療法、「ピグマリオン」にみる作業の意味－花を売る－

作業療法ジャーナル 34 : 52-53, 2000

真野行生, 高柳泰世, 原 和子

リハビリテーション医療におけるサービス・ドッグの役割と今後の発展性

季刊リラティオ 5 : 40-46, 2000

杉村公也

地域リハビリテーション支援センターの概念と条件

健康文化振興財団紀要 26 : 23-27, 2000

杉村公也

リハビリテーションと介護 地域リハビリテーション支援センター

現代医学 48 : 393-403, 2000

牛島定信, 鈴木國文, 林 直樹, 奥村雄介, 神庭重信

座談会, 人格障害概念をめぐる諸問題－症例を中心に－

臨床精神医学 28 : 1313-1338, 2000

鈴木國文

分裂病患者治療の基本－精神療法の留意点－

精神科治療学 15増刊号 : 51-55, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (3) シュルレアリズムと精神病

こころの科学 89 : 108-117, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (4) フロイトのウィーン

こころの科学 90 : 152-161, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (5) 表現主義という幻覚

こころの科学 91 : 132-141, 2000

LINDENMEYER Cristina, SOUSA Edson, PEREIRA Mário, SUZUKI Kunifumi

A letra e o outro no Japão
Rev Latinoam Psicopat Fund III 3 : 103-112, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (6) 抽象の誕生と「文明の反転」
こころの科学 92 : 122-139, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (7) 大正時代とモデルニテ
こころの科学 93 : 110-119, 2000

鈴木國文

時代が病むということ (8) 集団心理学と形象
こころの科学 94 : 124-134, 2000

山田恭子, 伊藤恵美

介護保険とその周辺
作業療法ジャーナル 34 : 781-785, 2000

[科研費・班研究等]

原 和子

介助犬の作業療法的有用性に関する検討－介助犬使用後の作業行動変化－
平成12年度厚生科学研究 障害保健福祉総合研究事業 介助犬の基礎的調査研究報告「介助犬の実態と身体障害者への応用に関する研究」 pp 92-94, 2000

原 和子, 村井篤史, 加藤清子, 真野行生, 土田隆政, 高柳友子, 高柳哲也

介助犬希望者に対するリハビリテーション医学的適応についての検討
平成12年度厚生科学研究 障害保健福祉総合研究事業, 介助犬の基礎的調査研究報告－介助犬の実態と身体障害者への応用に関する研究－ pp 92-94, 2000

杉村公也, 伊藤恵美, 寶珠山 稔, 清水英樹

若年で発症したスモン患者さんの生活実態調査
平成11年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業)「スモンに関する調査研究班」研究報告書 1冊, 2000

杉村公也, 寶珠山 稔, 伊藤恵美, 清水英樹

スモン患者の療養, 介護状況および在宅療養破綻因子について
平成11年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業)「スモンに関する調査研究班」研究報告書 1冊, 2000

[その他の印刷物]

杉村公也

スモン患者の基本動作時間と下肢関節運動時間
愛知県特定疾患研究協議会平成12年度研究報告書（印刷中），2000

〔学会発表〕

原 和子，亀山清子，真野行生，高柳友子，高柳哲也
脊髄損傷者における介助犬希望者の適応評価に関する検討（作業療法 19：p 303, 2000）
第34回日本作業療法学会，2000. 5（横浜）

原 和子，清水英樹，田原美智子，齋藤さわ子
名古屋大学医療技術短期大学部におけるADL実習内容の変遷と課題（作業療法 19：p 489, 2000）
第34回日本作業療法学会，2000. 5（横浜）

原 和子，伊端敦子
作業遂行のらせんモデルと欲求の階層について－青年期身体障害者の作業遂行に関する一考察－（抄録集 p 4, 2000）
第10回日本作業行動研究会総会，2000. 5（横浜）

原 和子，清水英樹，田原美智子，齋藤さわ子
名古屋大学医療技術短期大学部におけるADL実習内容の変遷と作業療法理論（抄録集 pp 3-4, 2000）
第5回日本作業療法教育研究大会，2000. 10（京都）

原 和子，上田将白
手関節装具による固定肢位がIADL動作に与える影響（日本義肢装具学会誌 16：p 326, 2000）
第16回日本義肢装具学会，2000. 10（札幌）

寶珠山 稔，柿木隆介
Transcutaneous electrical nerve stimulation (TENS) による痛覚関連誘発脳磁場の変化
第41回日本神経学会総会，2000. 5（東京）

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke
The new smallest multi-channel gradiometer : application for peripheral conduction
Pan-pacific Congress of Clinical Neurophysiology, 2000. 12 (Manila, Philippine)

寶珠山 稔，柿木隆介
正中神経刺激による短潜時体性感覚誘発脳磁界（SEF）と脳電位（SEP）の対応
第30回日本臨床神経生理学会，2000. 12（京都）

寶珠山 稔，柿木隆介
Transcutaneous electrical nerve stimulation (TENS) 後の痛覚関連脳反応の変化
第22回日本疼痛学会，2000. 12（京都）

寶珠山 稔，柿木隆介
脳磁図による体性感覚野マッピング

第2回脳機能マッピング研究会シンポジウム, 2000. 12 (武蔵野)

伊藤恵美, 柴田澄江, 山田恭子, 清水英樹

保健学科における自主的体験型学習の導入 (作業療法 19(特別号): 479, 2000)

第34回日本作業療法学会, 2000. 5 (横浜)

西島直城, 増田敏行, 山口 晶, 伊藤恵美

肩伸展テストと三角筋後部繊維の役割 - 腋窩神経損傷の予後および鑑別診断への応用 - (リハビリテーション医学 37: 769-770, 2000)

第37回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2000. 6 (東京)

西島直城, 増田敏行, 山口 晶, 伊藤恵美

手の拘縮に対する手袋装具の応用 (リハビリテーション医学 37: 799, 2000)

第37回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2000. 6 (東京)

加賀谷 一

外気小屋から「実生活復帰準備」へ (抄録集 p 154, 2000)

第48回日本社会福祉学会全国大会, 2000. 11 (川崎)

水谷智恵美, 白石成明, 美和千尋, 出口 晃, 杉村公也, 川村陽一

入浴が高齢者の循環動態に及ぼす影響 (理学療法学 第27巻 (学会特別号演題抄録集): p 288, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

白石成明, 水谷智恵美, 出口 晃, 川上 治, 美和千尋, 杉村公也, 川村陽一

入浴時間帯の違いが高齢者の自律神経系に及ぼす影響 (第一報) (理学療法学 第27巻 (学会特別号演題抄録集): p 346, 2000)

第35回日本理学療法士学会, 2000. 5 (鹿児島)

清水英樹

抑うつ気分が自己関連刺激の自動的処理に及ぼす影響 - 事象関連電位 (P300) からの検討 - (作業療法 19(特別号) p 95, 2000)

第34回日本作業療法学会, 2000. 5 (神奈川)

清水英樹, 柳瀬吉伸, 齋藤洋典

形容詞を用いた人物特性についての好感度と自己適合評定 (発表論文集 p 636, 2000)

第64回日本心理学会大会, 2000. 11 (京都)

杉村公也

老年痴呆における言語崩壊過程 (リハビリテーション医学 37: 843p, 2000)

第37回日本リハビリテーション医学会, 2000. 6 (東京)

SUZUKI Kunifumi

Cultural difference and neurotic depression in Japan

Conférence Internationales de la Psychanalyse Lacanienne, 1st-4th 2000. 4 (Seoul, Korea)

SUZUKI Kunifumi

Le sujet, l'objet et la causalite – dans son rapport a l'histoire au Japon
International Jubilee Congress, World Psychiatric Association, 2000. 6 (Paris, France)

遠藤浩之, 柴田澄江, 山田恭子, 伊藤恵美, 渡辺章由, 坂口光晴
「地域作業療法」を学生はどうとらえているのか – 「地域作業療法学」の構築に向けて – (作業療法 19(特別号): 481, 2000)
第34回日本作業療法学会, 2000. 5 (横浜)

山田恭子, 柴田澄江, 伊藤恵美, 渡辺雅行, 来島修志, 遠藤浩之
「地域作業療法」の構築に向けて – 何をどのように教えるか – 第2報 (作業療法 19(特別号): 491, 2000)
第34回日本作業療法学会, 2000. 5 (横浜)

来島修志, 石本 馨, 柴田澄江, 山田恭子, 伊藤恵美, 渡辺章由
地域で求められる作業療法士の役割に関する考察 – 「地域作業療法学」の構築に向けて (作業療法 19(特別号): 484, 2000)
第34回日本作業療法学会, 2000. 5 (横浜)

[公開講座・講演会]

原 和子

高齢者・障害者の心身の特性と在宅生活 – 特に転倒と引きこもりについて – (『高齢者・障害者の心身の特性と在宅生活』 pp 1-4, 2000)
日本アビリティーズ協会認定「住宅改善士」養成特別講座, 2000. 1 (名古屋)

原 和子

リハビリテーション医療の基礎知識
特定非営利活動法人大府市地域福祉を考える会ネットワーク大府ホームヘルパー養成研修2級課程, 2000. 4 (大府)

原 和子

福祉用具開発の視点から – 中間ユーザーを代表して – (『福祉用具開発の視点から – 高齢者・障害者の福祉用具適応評価について』 pp 1-5, 2000)
科学技術交流財団第1回福祉用具開発研究会, 2000. 5 (刈谷)

原 和子

リハビリテーション医療の基礎知識
特定非営利活動法人大府市地域福祉を考える会ネットワーク大府ホームヘルパー養成研修2級課程, 2000. 7 (大府)

原 和子

介護における福祉用具の積極的利用に向けて (『介護における福祉用具の積極的利用にむけて』 pp 1-4, 2000)
介護支援ネットワークひだまりねっと第1回オープン講座, 2000. 8 (名古屋)

原 和子

リハビリテーション医療の基礎知識

特定非営利活動法人大府市地域福祉を考える会ネットワーク大府ホームヘルパー養成研修2級課程, 2000. 9 (大府)

原 和子

利用者中心のADL評価

介護支援ネットワークひだまりねっとヘルパーミーティング, 2000. 10 (名古屋)

原 和子

動物介在療法を考える

ペット研究会「互」10周年記念セミナー, 2000. 11 (東京)

原 和子

介助犬への作業療法的アプローチと作業療法士・理学療法士になるには (『介助犬トレーナーを志す人々のために』
p 15, 2000)

日本介助犬アカデミー講座, 2000. 11 (東京)

伊藤恵美

住宅・福祉用具に関する知識

尾張旭市ホームヘルパー養成講座 (2級課程), 2000. 8 (尾張旭)

伊藤恵美

住宅・福祉用具に関する知識

豊田市社会福祉協議会, 2000. 9 (豊田)

伊藤恵美

住宅・福祉用具に関する知識

愛知県シルバー人材センター連合会・日進市シルバー人材センター, 2000. 10 (名古屋)

向 文緒

精神分裂病の1症例～多職種によるチームアプローチ～

第3回精神障害者リハビリテーション研究会, 2000. 6 (名古屋)

向 文緒

臨床の作業療法士が求めている情報について

第1回東海精神科作業療法研究会, 2000. 8 (名古屋)

向 文緒

東海地区精神科作業療法実態調査第1報-組織図とプログラムを中心に-

第2回東海精神科作業療法研究会, 2000. 10 (名古屋)

杉村公也

特別講演「新しい高齢者施設ケア形態とリハビリテーション」

第1回小山田リハビリテーション学会, 2000. 5 (四日市)

杉村公也

手・足のしびれ，冷え，痛みについて
愛知県糖尿病リウマチ痛風財団 医療講演会，2000. 5（名古屋）

杉村公也

教育講演「老健リハビリテーションのチームアプローチシステム」
第11回全国介護老人保健施設大会，2000. 3（四日市）

杉村公也

アルツハイマー病の早期発見と早期治療
第1回北勢地区「看護・介護者のための痴呆症ベーシックセミナー，2000. 11（四日市）

田川義勝

作業療法における評価再考
福島県作業療法士会研修会，2000. 3（福島）

田川義勝

障害からの自立・作業療法からの提案
財団法人仁泉会医学研究所講演会，2000. 7（福島県保原町）

田川義勝

介護保険とリハビリテーション
栃木県社会福祉協議会定期総会講演会，2000. 8（栃木県塩原町）

田川義勝

介護老人保健施設におけるリハビリテーションのあり方
栃木県河内町講演会，2000. 8（栃木県河内町）

田川義勝

介護方法各論（嚥下障害と摂食の自立）
医療法人宇都宮定期講演会，2000. 9（宇都宮）

田川義勝

痴呆のリハビリテーション
三重県老人保健施設協会PT.OT.ST等研修会，2000. 12（四日市）

編集後記

名古屋大学医学部保健学科が発足して4年目を迎え、ここに名古屋大学医学部保健学科「教育・研究年報」第4巻を発行するはこびになりました。第4巻には昨年度（2000年度）の各専攻の教育・研究活動の報告と昨年度の保健学科の公開講座、2000年の1月から12月までの1年間に発表した各専攻教官の教育・研究業績リストを収録し、掲載しました。

各巻の収録業績数は下記の通りです。

	第1巻 (1997年)	第2巻 (1998年)	第3巻 (1999年)	第4巻 (2000年)
A 著書	17	36	55	56
B1 原著論文	58	124	143	164
B2 総説	64	61	93	107
C1 科研報告書	5	12	10	26
C2 その他の出版物	10	16	27	18
D1 学会発表	115	178	252	268
D2 講演	45	69	97	102
計	314	496	677	741

第4巻を発行するにあたって、編集委員会では、年報のはたす役割について議論を重ねましたが、掲載内容については第3巻と同じ項目になりました。その中でも、各専攻の教育・研究活動の報告を充実させることを方針として、原稿を依頼しました。

年報が保健学科の自己点検・外部評価の一つの大きな柱であることは明らかです。保健学科の完成後に行われるであろう自己点検・外部評価のために、年度（年）ごとの資料を作っておくことです。また年報の発行は、何年後かの評価の材料にとどまらず、現在の保健学科の研究と教育の交流を活発にするための役割もあります。専攻を越えた研究・教育の共同を行うために役に立つもの、あるいは卒業研究や大学院学生のテーマ選択などの参考になるもの、さらに対外的には各専攻の教育・研究活動をアピールし、就職活動や実習依頼の際にも使えるものとしての役割です。これらのことを期待して、第3巻では各専攻の教育・研究活動の報告を充実させました。

年報作成のために収集したデータをホームページに掲載することの可否、年報を冊子体に代えて電子媒体で発行する可能性などについて議論しましたが、結論は出ませんでしたので来年度に引き継ぎます。

保健学科広報委員会により、インターネットの保健学科ホームページの刷新・充実も進んでいますので、それらと有機的につながることを期待します。

第4巻は第3巻より1ヶ月早く10月に発行することができそうです。大幸医療センターの改築に伴い、図書室が新装移転することになりました。その作業と重なり、保健学情報掛の方々には貴重な時間を割いてデータの整理をしていただきました。第1巻発行の準備以来お世話になっていた樋口由紀恵さんが退職され、花田明美さんにバトンタッチされました。

「教育・研究年報」第4巻が、保健学科のメンバーにとっては今後の教育・研究の活性化に役立つことを、また、学外の方には、私たち名古屋大学医学部保健学科のことを知っていただき、共同の機会ができるきっかけになることを期待します。ご批判ご意見をお寄せください。

(文責：小林 邦彦)

教育・研究年報編集委員会（2001年度）

前川 厚子（看護学専攻）

青山 隆彦（放射線技術科学専攻）

野田 明子（検査技術科学専攻）

小林 邦彦（委員長 理学療法学専攻）

加賀谷 一（作業療法学専攻）

八田 和子（保健学情報掛長）

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第4巻

2001年10月15日 発行

発 行 名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL (052)719-1504

印 刷 (株)荒川印刷

〒460-0012 名古屋市中区千代田2丁目16番38号

TEL (052)262-1006 (代表)
